

大阪市国民健康保険
保健事業に関するアンケート調査
報告書

令和8年3月
大阪市国民健康保険

目 次

第1章 調査の概要	1
1-1. 調査目的	1
1-2. 調査方法	1
1-3. 調査内容	1
1-4. 配付・回収結果	2
1-5. 報告書を読む際の留意点	2
第2章 アンケート調査結果	4
■調査結果の概要	4
2-1. I. 属性	6
問1 性別	6
問2 年齢	6
2-2. II. 健康意識について	7
問3 健康への関心度	7
問4 健康状態への不安・心配の有無	8
問5 健康状態の管理方法	11
問6 健診の必要性に関する考え方	14
問7 かかりつけ医から健診を勧められた場合の受診意向	17
問8 健康・暮らしに関する情報源の利用頻度	21
問9 利用しているSNS・動画サービスの種類	27
2-3. III. 特定健診について	30
問10 健診受診が医療費削減・保険料軽減につながることの認知度	30
問11 大阪市の健診に関する取り組みの認知状況	32
問12 令和6年度の国保健診の受診の有無	43
問13 健診を受けなかった理由	45
問13-1 最も当てはまる理由	57
問14 大阪市からの健診案内の閲覧有無	61
問15 令和7年4月以降の健診受診状況・受診予定	63
問16 受診する(した)健診の種類	67
問17 健診を受けようと思った理由	70
問18 健診に関する満足度	74
問19 健診が生活習慣見直しのきっかけになったか	81
問20 健診後に実際に生活習慣を見直したか	83
問21 健診受診を促進するための条件への賛否	87
2-4. IV. 特定保健指導について	97
問22 特定保健指導の案内を受け取ったことがあるか	97
問23 特定保健指導を受けたことがあるか	98

問24	保健指導の満足度	101
問25	特定保健指導を受けなかった理由	104
問26	特定保健指導を受けやすくなる条件への賛否.....	108
問27	大阪市の国保保健事業に関する自由意見・感想.....	114
	(参考) アンケート調査票	115

第1章 調査の概要

1-1. 調査目的

大阪市国民健康保険では、令和6年3月に「保健事業実施計画・特定健康診査等実施計画」（2024年度～2029年度）を策定し、被保険者の生活習慣改善やヘルスリテラシー向上をめざしながら、PDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業を推進しており、当該計画にかかる中間評価の参考とするため、アンケートにより市民の意見やニーズを広く収集し、今後の施策・事業の実施・検討等に活用することを目的としています。

1-2. 調査方法

調査期間：令和7年12月15日～31日

調査対象：40歳から74歳の大阪市国民健康保険被保険者10,000人を属性ごとに無作為抽出
（※対象者は、年度末時点で40歳から74歳とし、回答時点で39歳を含みます）

調査方法：郵送による配付、郵送もしくはWEBによる回収

1-3. 調査内容

I. 属性 問1 性別 問2 年齢	問14 大阪市からの健診案内の閲覧有無 問15 令和7年4月以降の健診受診状況・受診予定 問16 受診する（した）健診の種類 問17 健診を受けようと思った理由 問18 健診に関する満足度 問19 健診が生活習慣見直しのきっかけになったか 問20 健診後に実際に生活習慣を見直したか 問21 健診受診を促進するための条件への賛否
II. 健康意識について 問3 健康への関心度 問4 健康状態への不安・心配の有無 問5 健康状態の管理方法 問6 健診の必要性に関する考え方 問7 かかりつけ医から健診を勧められた場合の受診意向 問8 健康・暮らしに関する情報源の利用頻度 問9 利用しているSNS・動画サービスの種類	IV. 特定保健指導について 問22 特定保健指導の案内を受け取ったことがあるか 問23 特定保健指導を受けたことがあるか 問24 保健指導の満足度 問25 特定保健指導を受けなかった理由 問26 特定保健指導を受けやすくなる条件への賛否 問27 大阪市の国保保健事業に関する自由意見・感想
III. 特定健診について 問10 健診受診が医療費削減・保険料軽減につながることの認知度 問11 大阪市の健診に関する取り組みの認知状況 問12 令和6年度の国保健診の受診有無 問13 健診を受けなかった理由 問13-1 最も当てはまる理由	

1－4. 配付・回収結果

配付・回収結果を示したものが下表です。

健診受診状況	配付数 (A)	有効回収数 (B)	有効回収数 内訳		無効 調査票数	有効回収率 (B/A)
			紙	WEB		
特定健診受診 特定保健指導対象外	1,500	923	646	277	－	61.5
特定健診受診 特定保健指導対象（利用）	300	201	143	58	－	67.0
特定健診受診 特定保健指導対象（未利用）	1,200	530	353	177	1	44.2
特定健診未受診	7,000	1,953	1,432	521	36	27.9
不明	－	3	3	－	－	－
総数	10,000	3,610	2,577	1,033	37	36.1

1－5. 報告書を読む際の留意点

(1) 質問文・選択肢等

本文中の質問文及び選択肢などについて、長い文章については簡略化して用いる場合があります。

(2) 数値結果

数値(%)は、各実数をもとに比率表示し、少数第2位を四捨五入しています。したがって、内訳の合計が100%にならないことがあります。また、複数回答の質問については、該当者数を母数に比率表示しています。

(3) 表記の説明

各設問の調査結果において、表記された内容の説明は次のとおり。

- ・nは、回答者数を表します。
- ・SAは単数回答、MAは複数回答を表します。
- ・クロス集計表の上段は回答数、下段は比率を表します。
- ・「無回答」とは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- ・自由回答の集計において、「特になし」「なし」等の回答および空白回答は集計から除外しています。(問9除く)
- ・自由回答において複数の内容が含まれる回答は、該当するカテゴリに重複して計上していません。

(4)標本誤差について

無作為抽出による統計調査においては、母集団を推定する際に誤差が生じるとされています。

(いわゆる「標本誤差」や「信頼区間」と呼ばれるもの。計算式は下記のとおり)。

標本誤差とは、調査対象者（サンプル）の回答から母集団全体の傾向を推測するとき、どの程度母集団とのずれが生じるかを表す指標です。このずれが少なくなればなるほど、母集団の回答に近づくため、代表性があると言えます。

社会調査においては、一般にその誤差が±5%以内であれば問題ないと言われています。

通常、標本誤差を±5%以内に抑えるためには、400名程度の回収サンプルを得ることが標本誤差の計算上必要とされています。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\left(\frac{N-n}{N-1}\right) \frac{P(1-P)}{n}} \pm 1.96$$

調査対象の母集団が大きい
場合は1として考えてよい。

N=母集団の大きさ
n=サンプルの大きさ
P=回答率
±1.96=95%という信頼度に
対応する統計上の定数

	n \ P(%)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
		95%	90%	85%	80%	75%	70%	65%	60%	55%	50%
全体	3610	0.7	1.0	1.2	1.3	1.4	1.5	1.6	1.6	1.7	1.7
男性	1770	1.0	1.4	1.7	1.9	2.1	2.2	2.3	2.3	2.4	2.4
女性	1786	1.0	1.4	1.7	1.9	2.0	2.2	2.3	2.3	2.4	2.4
その他	3	25.2	34.6	41.2	46.2	50.0	52.9	55.1	56.6	57.4	57.7
回答しない	28	8.2	11.3	13.5	15.1	16.4	17.3	18.0	18.5	18.8	18.9
30・40歳代	352	2.3	3.2	3.8	4.3	4.6	4.9	5.1	5.2	5.3	5.3
50歳代	659	1.7	2.3	2.8	3.1	3.4	3.6	3.7	3.8	3.9	3.9
60歳代	1431	1.2	1.6	1.9	2.1	2.3	2.4	2.5	2.6	2.6	2.6
70歳代	1148	1.3	1.8	2.1	2.4	2.6	2.7	2.8	2.9	2.9	3.0

※サンプル数が少ない属性は誤差が大きいため、分析からは除外します。

・この表の見方(例示)

問3の『健康への関心度』の関心度結果を見ると、「2.どちらかといえば関心がある」と回答する方は33.3%で、これは表にある最も近い値(35%)の“全体”の標準誤差の数値は「1.6」であることがわかります。

つまり、母集団を対象にこの調査を行えば、「2.どちらかといえば関心がある」と回答する方が33.3%の前後1.6%の区間内、すなわち31.7%～34.9%の区間内にあると推測できます。

第2章 アンケート調査結果

■調査結果の概要

(1) 健康意識について

- ・健康への関心が「ある」層は93.9%にのぼり、大多数の住民が健康に関心を持っています。(問3)
- ・何らかの健康不安を抱えている住民は約9割に達しており、健康支援の必要性が示されました。(問4)
- ・健康管理の方法は定期通院や受診が上位を占めるものの、健診受診はやや低く、受診促進の余地があります。(問5)
- ・健診の必要性は67.1%が認識している一方、実際の受診率とのギャップが課題です。(問6)
- ・かかりつけ医から勧められた場合の受診意向は76.8%と高く、医療機関との連携が有効と考えられます。(問7)
- ・健康や暮らしに関する情報源の利用頻度は、「テレビ」が69.8%と最も高く、次いで「インターネットのサイト」が57.7%、「新聞・雑誌・本」が45.5%の順となっています。一方、「広報紙」が32.9%、「地域の回覧板・掲示板」が25.8%と、相対的に低い結果となりました。(問8)
- ・SNS・動画共有サービスの中では「YouTube」が81.1%と最も高く、次いで「LINE」が50.4%、「Instagram」が39.6%となっており、健康情報の発信には「YouTube」と「LINE」の活用が特に有効と考えられます。(問9)

(2) 特定健診について

- ・定期健診が医療費削減につながることの認知率は77.7%と高い一方、21.3%は認知しておらず、引き続き周知・啓発が求められます。(問10)
- ・大阪市の健診に関する取り組みの認知は、「区の広報紙の健診案内」が63.8%と最も高く、健診案内の周知手段として広報紙が特に有効に機能していることがうかがえます。(問11)
- ・令和6年度の国保健診について、本アンケート回答者の受診率は45.8%と半数を下回っており、受診率向上に向けた取り組みの強化が課題です。(問12)
- ・健診を受けなかった理由は、「定期通院中だから必要がない」が28.0%と最も高く、次いで「健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒」が22.4%と続いており、受診の必要性への理解促進と手続きの簡便化が求められます。(問13)
- ・健診を受けなかった最も大きな理由としては、「定期通院中だから必要がない」が19.6%で最多となっており、定期通院者に対して特定健診の意義を丁寧に伝えていくことが重要といえます。(問13-1)
- ・大阪市からの健診案内を「見た」割合は87.9%と非常に高く、郵送による案内が効果的な周知手段として機能しています。(問14)
- ・令和7年4月以降の受診済みまたは受診予定の割合は52.1%と過半数を占める一方、「分からない・決めていない」や「都合がいたら受診したい」を合わせた35.0%の潜在的な受診候補者への働きかけが受診率向上の鍵となります。(問15)
- ・受診した健診の種類は「特定健診（無料）」が61.5%と最多で、無料または低額の健診が選択の中心となっており、費用面のメリットが受診行動に大きく影響しています。(問16)

- ・健診を受けようと思った理由は「病気の早期発見、予防、健康管理のため」が82.5%と圧倒的に多く、次いで「無料または低額で受けられる」が42.5%と高く、健康意識と費用面のメリットが主な受診動機となっています。(問17)
- ・健診の満足度は全体的に高く、特に「受診した医療機関の対応・スムーズさ」への評価が高い結果となりました。(問18)
- ・健診が生活習慣を見直すきっかけになったと感じた人は85.0%と非常に高く、健診が意識変容に高い効果をもたらしています。(問19)
- ・「実際に生活習慣を改善した人」は46.3%と、見直しのきっかけになったと感じた85.0%との間に大きなギャップがあり、意識の変化を行動につなげるための継続的なフォローアップが課題です。(問20)
- ・受診促進に効果的な条件として「健診の必要性・メリットが分かる」が66.3%、「検査項目を増やす」が60.8%、「予約なしで受診できる」が60.3%と上位を占めており、健診の意義の周知、検査項目の充実、予約の簡便化が優先的な取り組みとして示されました。(問21)

(3) 特定保健指導について

- ・特定保健指導の案内を受け取ったことが「ある」人は28.4%でした。(問22)
- ・特定保健指導の案内を受け取った本アンケート回答者のうち、実際に利用した割合は47.2%と半数を下回っており、案内から利用へつなげる働きかけが課題です。(問23)
- ・保健指導の満足度は「生活習慣を見直すきっかけになった」が69.2%と最も高く、意識づけへの効果が示されました。一方、身体的な変化の実感はやや低く、継続的なフォローアップが求められます。(問24)
- ・利用しなかった理由は「自分で生活習慣の改善に取り組んでいる」が36.9%、「定期通院中だから必要ない」が34.0%と上位を占めており、保健指導の意義の周知が重要です。(問25)
- ・利用しやすくなる条件として「近くの医療機関等で受けられる」が71.4%と最も高く、アクセスのしやすさが利用促進の鍵となっています。(問26)

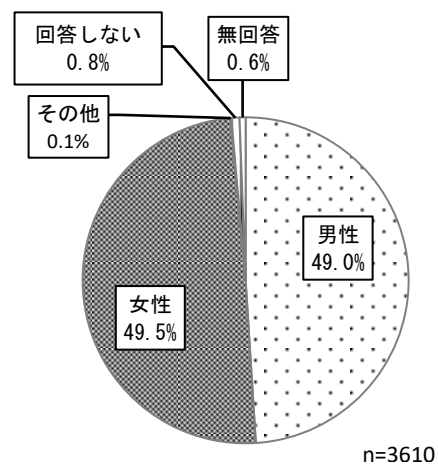
2-1. I. 属性

問1 性別

問1. あなたの性別を教えてください。(1つに○)

性別についてみると、「男性」が49.0%、「女性」が49.5%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	男性	1770	49.0
2	女性	1786	49.5
3	その他	3	0.1
4	回答しない	28	0.8
	無回答	23	0.6
	N (%ベース)	3610	100

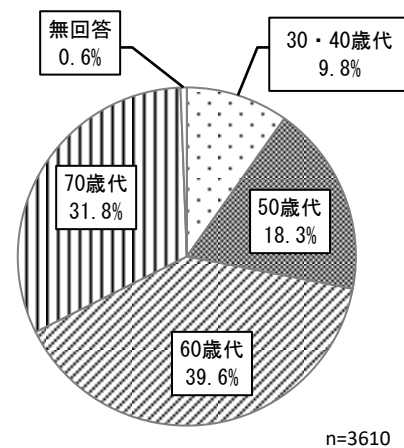


問2 年齢

問2. あなたの回答日時点の年齢を教えてください。(1つに○)

年齢についてみると、「60歳代」が39.6%と最も多く、次いで「70歳代」が31.8%、「50歳代」が18.3%、「30・40歳代」が9.8%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	30・40歳代	352	9.8
2	50歳代	659	18.3
3	60歳代	1431	39.6
4	70歳代	1148	31.8
	無回答	20	0.6
	N (%ベース)	3610	100



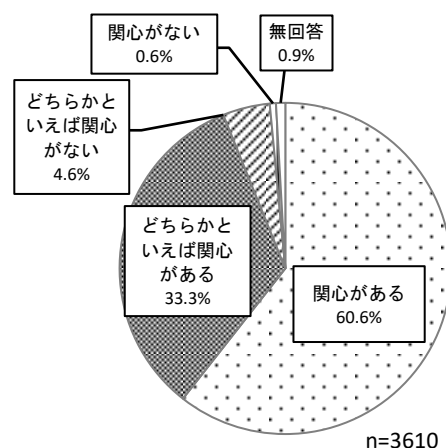
2-2. II. 健康意識について

問3 健康への関心度

問3. あなたは、健康に関心がありますか。(1つに○)

「関心がある」が60.6%と最も多く、「どちらかといえば関心がある」の33.3%と合わせると、健康に関心を持つ回答者は全体の約9割を占めています。

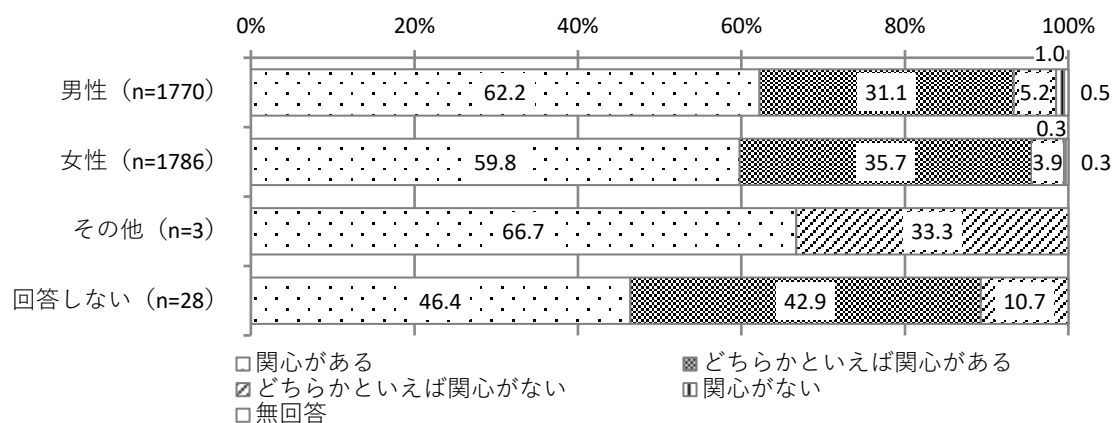
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	関心がある	2187	60.6
2	どちらかといえば関心がある	1201	33.3
3	どちらかといえば関心がない	166	4.6
4	関心がない	23	0.6
	無回答	33	0.9
	N (%ベース)	3610	100



■ 性別

性別にみると、「関心がある」が男性は62.2%、女性は59.8%と、男女ともに6割前後で大きな差はみられませんでした。「どちらかといえば関心がある」まで含めると男性93.3%・女性95.5%といずれも9割を超えています。

上段:度数 下段:%	合計	関心がある	どちらか といえば関心 がある	どちらか といえば関心 がない	関心がない	無回答
男性	1770 100.0	1101 62.2	551 31.1	92 5.2	17 1.0	9 0.5
女性	1786 100.0	1068 59.8	638 35.7	69 3.9	6 0.3	5 0.3
その他	3 100.0	2 66.7	-	1 33.3	-	-
回答しない	28 100.0	13 46.4	12 42.9	3 10.7	-	-

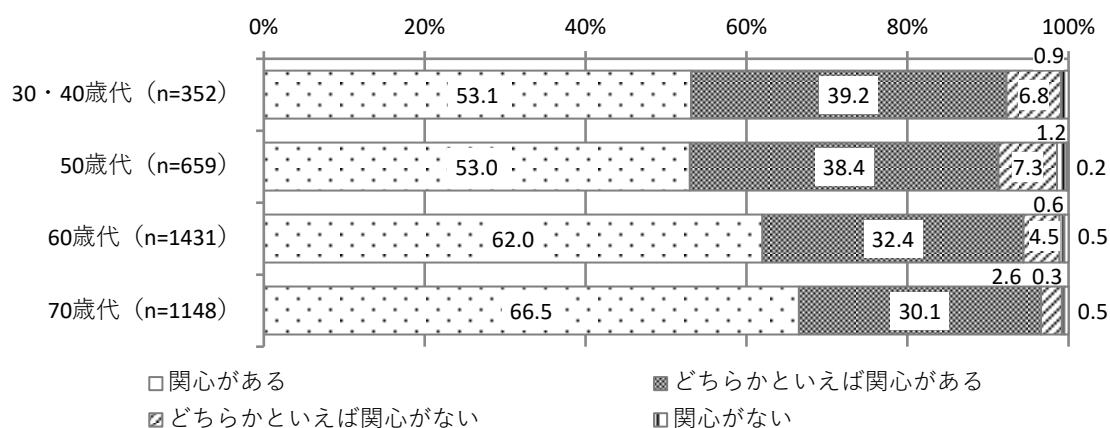


■ 年代別

年代別についてみると、全年代で「関心がある」「どちらかといえば関心がある」の合計が9割を超えており、健康への関心は概ね高い結果となっています。「関心がある」の割合は年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、30・40歳代が53.1%、50歳代が53.0%に対し、60歳代が62.0%、70歳代が66.5%と、高齢層ほど健康への関心が強くなっています。

一方、「どちらかといえば関心がない」「関心がない」の合計は50歳代が8.5%と最も高く、次いで30・40歳代が7.7%となっており、若・中年層で健康への関心がやや低い傾向があります。これらの年代に対して、健診の意義や必要性を伝える働きかけが特に重要といえます。

上段:度数 下段:%	合計	関心がある	どちらかとい えば関心 がある	どちらかとい えば関心 がない	関心がない	無回答
30・40歳代	352 100.0	187 53.1	138 39.2	24 6.8	3 0.9	—
50歳代	659 100.0	349 53.0	253 38.4	48 7.3	8 1.2	1 0.2
60歳代	1431 100.0	887 62.0	464 32.4	64 4.5	9 0.6	7 0.5
70歳代	1148 100.0	763 66.5	346 30.1	30 2.6	3 0.3	6 0.5

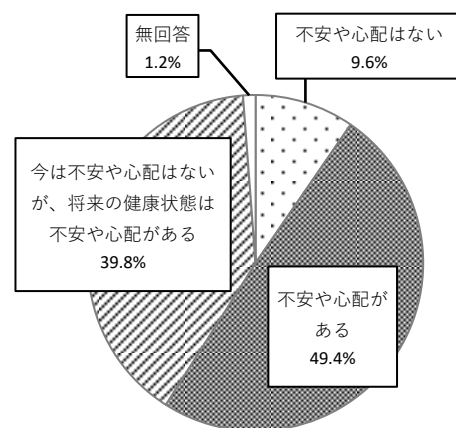


問4 健康状態への不安・心配の有無

問4. あなたは、健康状態に関して不安や心配はありますか。(1つに○)

「不安や心配がある」が49.4%と約半数を占めており、「今は不安や心配はないが、将来の健康状態は不安や心配がある」の39.8%を合わせると、何らかの健康不安を抱えている人が全体の89.2%に達しています。「不安や心配はない」はわずか9.6%にとどまっており、大多数の人が現在または将来の健康状態に不安を感じている実態がうかがえます。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	不安や心配はない	346	9.6
2	不安や心配がある	1784	49.4
3	今は不安や心配はないが、将来の健康状態は不安や心配がある	1436	39.8
	無回答	44	1.2
	N (%へ入)	3610	100

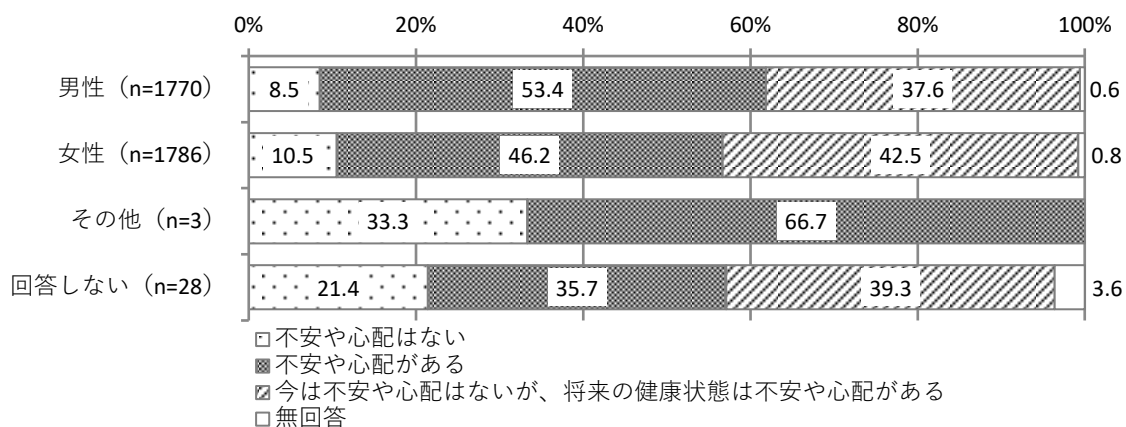


■性別

性別にみると、男女ともに「不安や心配がある」が最多で、男性53.4%、女性46.2%となっています。「今は不安や心配はないが、将来の健康状態は不安や心配がある」を合わせると、男性では91.0%、女性では88.7%が何らかの健康への不安を抱えており、性別による大きな差異は見られません。

一方、「不安や心配はない」は男性8.5%、女性10.5%にとどまり、大多数が健康に対して何らかの懸念を持っていることがわかります。

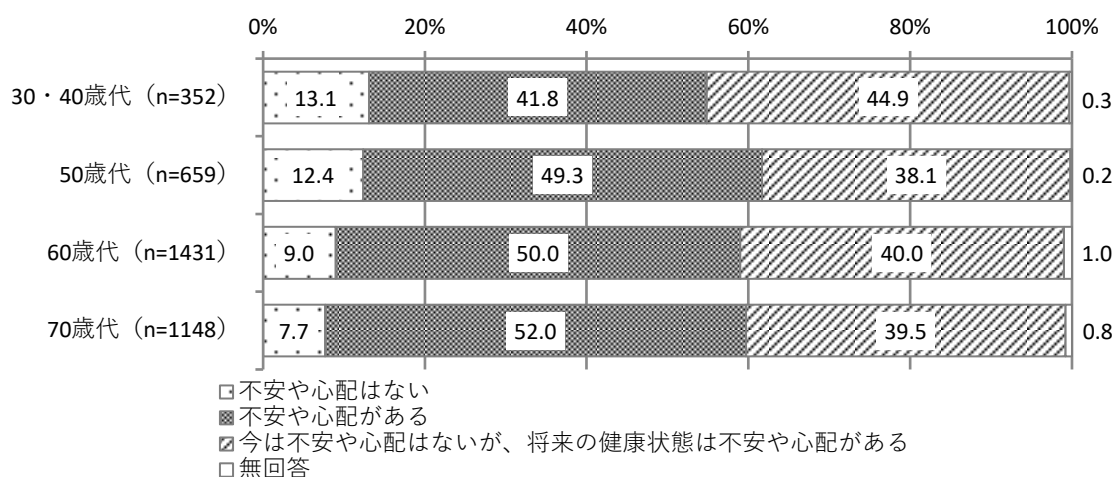
上段:度数 下段:%	合計	不安や心配 はない	不安や心配 がある	今は不安や 心配はない が、将来の 健康状態は 不安や心配 がある	無回答
男性	1770 100.0	150 8.5	945 53.4	665 37.6	10 0.6
女性	1786 100.0	187 10.5	826 46.2	759 42.5	14 0.8
その他	3 100.0	1 33.3	2 66.7	— —	— —
回答しない	28 100.0	6 21.4	10 35.7	11 39.3	1 3.6



■ 年代別

年代別にみると、「不安や心配がある」は年代が上がるにつれて増加する傾向があり、30・40歳代の41.8%に対し、70歳代では52.0%となっています。一方、「今は不安や心配はないが、将来の健康状態は不安や心配がある」は30・40歳代で44.9%と最も高く、若い世代ほど将来への不安を強く感じていることがうかがえます。「不安や心配はない」は30・40歳代13.1%に対し70歳代7.7%と、年代が上がるほど低下しており、加齢とともに現在の健康への不安が高まる傾向が読み取れます。

上段:度数 下段:%	合計	不安や心配 はない	不安や心配 がある	今は不安や 心配はない が、将来の 健康状態は 不安や心配 がある	無回答
30・40歳代	352 100.0	46 13.1	147 41.8	158 44.9	1 0.3
50歳代	659 100.0	82 12.4	325 49.3	251 38.1	1 0.2
60歳代	1431 100.0	129 9.0	715 50.0	573 40.0	14 1.0
70歳代	1148 100.0	88 7.7	597 52.0	454 39.5	9 0.8

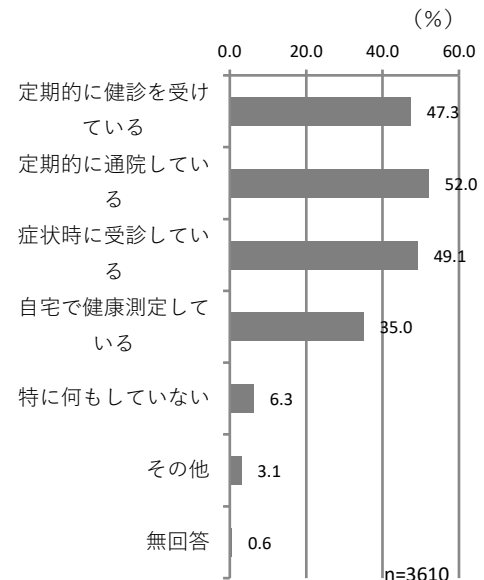


問5 健康状態の管理方法

問5. あなたは、健康状態をどのように管理していますか。(あてはまるものすべてに○)

「医療機関に定期的に通院している」が52.0%と最も高く、次いで「必要な時に医療機関を受診している」が49.1%、「健診を定期的に受けている」が47.3%となっており、多くの住民が複数の方法を組み合わせて健康管理に取り組んでいることがうかがえます。予防的な取り組みである健診受診は、通院・受診に比べてやや低く、健診受診のさらなる促進が求められます。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	健診（国保の健診・職場の健診など）を定期的に受けている	1707	47.3
2	医療機関に定期的に通院している	1878	52.0
3	必要な時に（症状があったときに）医療機関を受診している	1772	49.1
4	自宅等で血圧や体重を定期的に測っている	1262	35.0
5	特に何もしていない	228	6.3
6	その他	112	3.1
	無回答	21	0.6
	N（％ベース）	3610	100



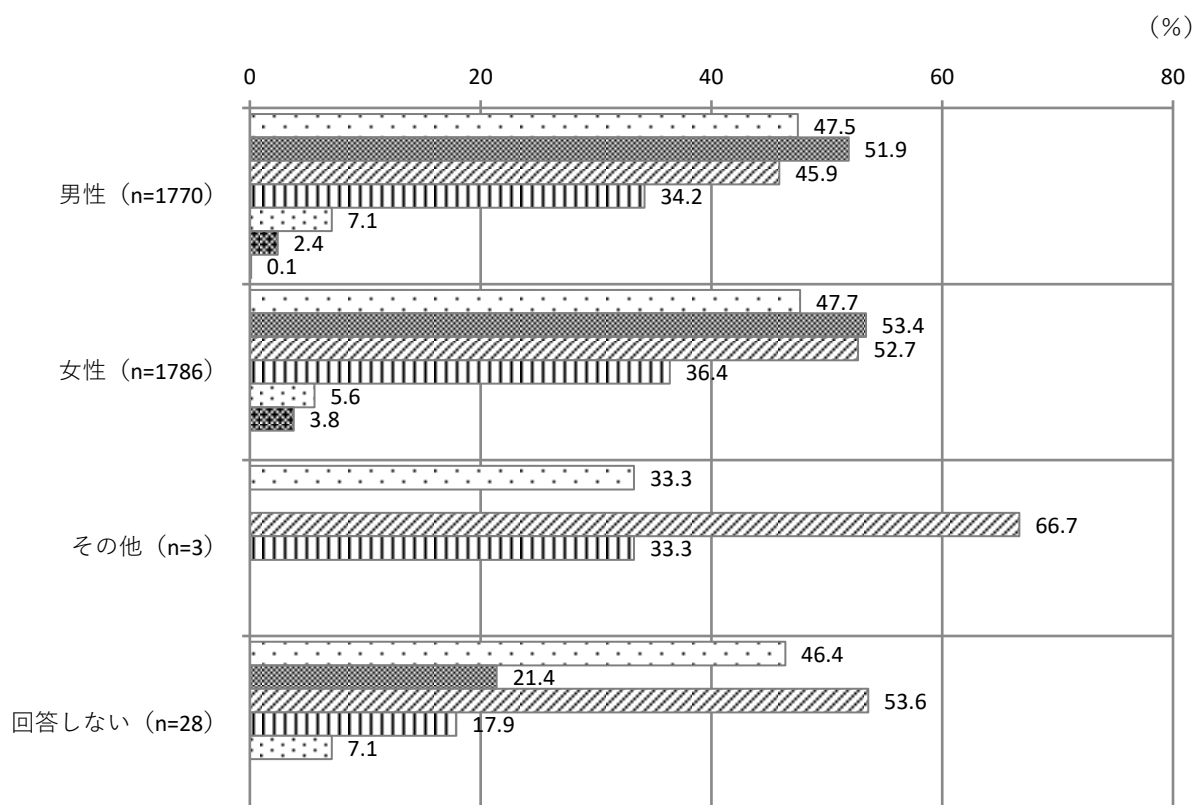
●「その他」自由回答

カテゴリ	件数	主な内容
運動・身体活動	35 件	ウォーキング・ジョギング、ストレッチ/体操（ラジオ体操・テレビ体操・自宅体操）、筋トレ、ヨガ・エアロビ等の運動、ジム/スポーツセンター/プール利用、移動で歩く・日課として継続
医療機関受診・治療継続	20 件	定期通院・投薬、定期検査（血液検査等）、慢性疾患/難病/透析/がん治療と経過観察、入院、施設での診療（施設往診）、訪問診療・訪問看護、かかりつけ医や歯科の定期受診と助言活用、受診の待ち時間や受診控え等の事情
食事・栄養管理	19 件	野菜中心や栄養バランスに配慮、減塩、油物を控える、飲酒量の調整、健康によいものを摂る、便通（排便状態）への配慮など
情報収集・意識/生活背景	11 件	本・TV・ラジオ・健康番組/コラム等で情報収集、自分なりに考えて管理、早寝早起き等の生活習慣、障害や住環境、経済的理由で受診を控える等
セルフモニタリング	10 件	体重測定、血圧測定、体温測定、体力測定、食事記録、定期的な献血など
サプリ・健康食品/市販薬	10 件	サプリ/ビタミン、健康食品（にんにくしじみ等）、ドラッグストア等で市販薬を購入
代替療法・施術	5 件	お灸、整体・整骨・マッサージ、鍼、オステオパシー、体をほぐす
健診・ドック	4 件	特定健診、職場健診、人間ドック、過去の健診受診
その他	1 件	かかりつけ医にいつも行くが、薬の処方箋だけで、約1時間待ちでは、健診を頼めない

■ 性別

性別にみると、男女ともに「医療機関に定期的に通院している」が最も高く、男性51.9%、女性53.4%となっています。「必要な時に医療機関を受診している」も男性45.9%、女性52.7%と高い割合を示しています。「健診を定期的に受けている」は男性47.5%、女性47.7%とほぼ同水準である一方、「特に何もしていない」は男性7.1%、女性5.6%と低く、大多数が何らかの健康管理を実践していることがわかります。

上段:度数 下段:%	合計	健診（国保の健診・職場の健診など）を定期的に受けている	医療機関に定期的に通院している	必要な時に（症状があったときに）医療機関を受診している	自宅等で血圧や体重を定期的に測っている	特に何もしていない	その他	無回答
男性	1770 100.0	841 47.5	918 51.9	813 45.9	606 34.2	125 7.1	43 2.4	2 0.1
女性	1786 100.0	852 47.7	953 53.4	941 52.7	650 36.4	100 5.6	68 3.8	-
その他	3 100.0	1 33.3	-	2 66.7	1 33.3	-	-	-
回答しない	28 100.0	13 46.4	6 21.4	15 53.6	5 17.9	2 7.1	-	-

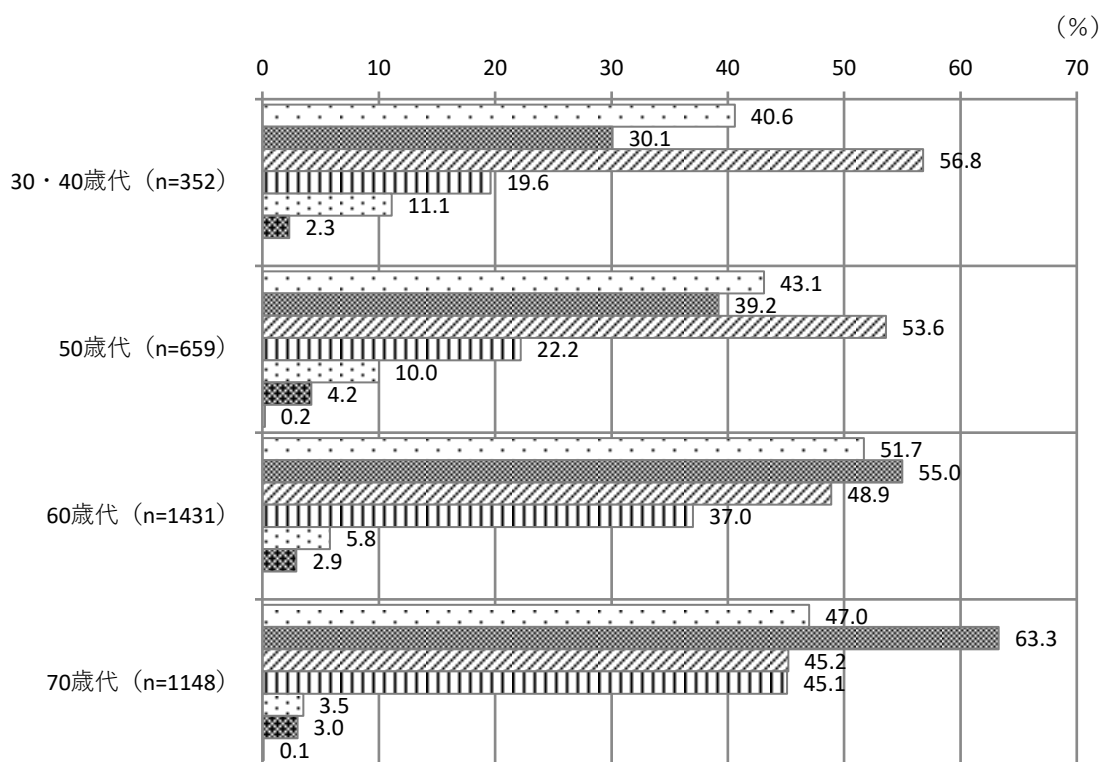


- ☐ 健診（国保の健診・職場の健診など）を定期的に受けている
- ☒ 医療機関に定期的に通院している
- ☒ 必要な時に（症状があったときに）医療機関を受診している
- ☐ 自宅等で血圧や体重を定期的に測っている
- ☐ 特に何もしていない
- ☒ その他
- ☐ 無回答

■ 年代別

年代別にみると、「医療機関に定期的に通院している」は年代が上がるにつれて増加し、30・40歳代30.1%に対し70歳代では63.3%と倍以上の差があります。一方、「健診を定期的に受けている」は30・40歳代40.6%、60歳代51.7%、70歳代47.0%と、60歳代をピークにやや低下しています。「必要な時に医療機関を受診している」は30・40歳代で56.8%と最も高く、若い世代ほど症状が出た際に受診するというスタイルが多いことがうかがえます。

上段：度数 下段：%	合計	健診（国保の健診・職場の健診など）を定期的に受けている	医療機関に定期的に通院している	必要な時に（症状があったときに）医療機関を受診している	自宅等で血圧や体重を定期的に測っている	特に何もしていない	その他	無回答
30・40歳代	352 100.0	143 40.6	106 30.1	200 56.8	69 19.6	39 11.1	8 2.3	—
50歳代	659 100.0	284 43.1	258 39.2	353 53.6	146 22.2	66 10.0	28 4.2	1 0.2
60歳代	1431 100.0	740 51.7	787 55.0	700 48.9	529 37.0	83 5.8	41 2.9	—
70歳代	1148 100.0	540 47.0	727 63.3	519 45.2	518 45.1	40 3.5	34 3.0	1 0.1



- 健診（国保の健診・職場の健診など）を定期的に受けている
- ▨ 医療機関に定期的に通院している
- ▩ 必要な時に（症状があったときに）医療機関を受診している
- ▤ 自宅等で血圧や体重を定期的に測っている
- ░ 特に何もしていない
- ▦ その他
- 無回答

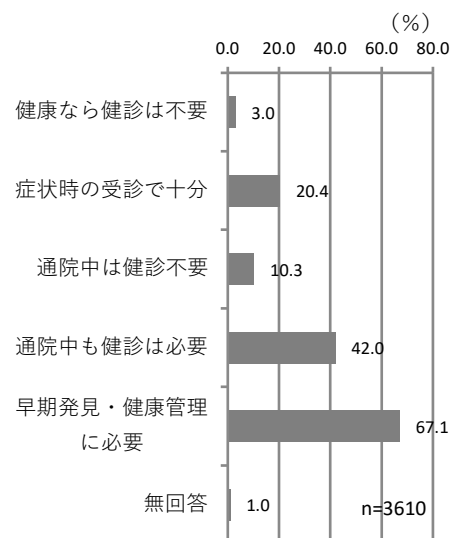
問6 健診の必要性に関する考え方

問6. 健診の必要性についてあなたの考えを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「病気の早期発見や健康管理のため健診は必要だ」が67.1%と最も高く、約3分の2の人が健診の必要性を積極的に認識しています。次いで「定期通院していても健診は必要だ(受けたい)」が42.0%と高く、この2項目を合わせると健診を肯定的に捉えている人が多数を占めています。

一方、「症状があるときに病院に行けばよい」が20.4%、「定期通院していれば健診は必要ない」が10.3%、「健康な人は定期健診を受けなくてよい」が3.0%と、受診に消極的な考えを持つ人も一定数いることがわかります。特に「症状があるときに病院に行けばよい」は2割を占めており、予防的な健診の意義が十分に伝わっていない層への働きかけが課題といえます。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	健康な人は定期健診を受けなくてよい	109	3.0
2	症状があるときに病院に行けばよい	737	20.4
3	定期通院していれば健診は必要ない	373	10.3
4	定期通院していても健診は必要だ(受けたい)	1516	42.0
5	病気の早期発見や健康管理のため健診は必要だ	2421	67.1
	無回答	37	1.0
	N (%ベース)	3610	100

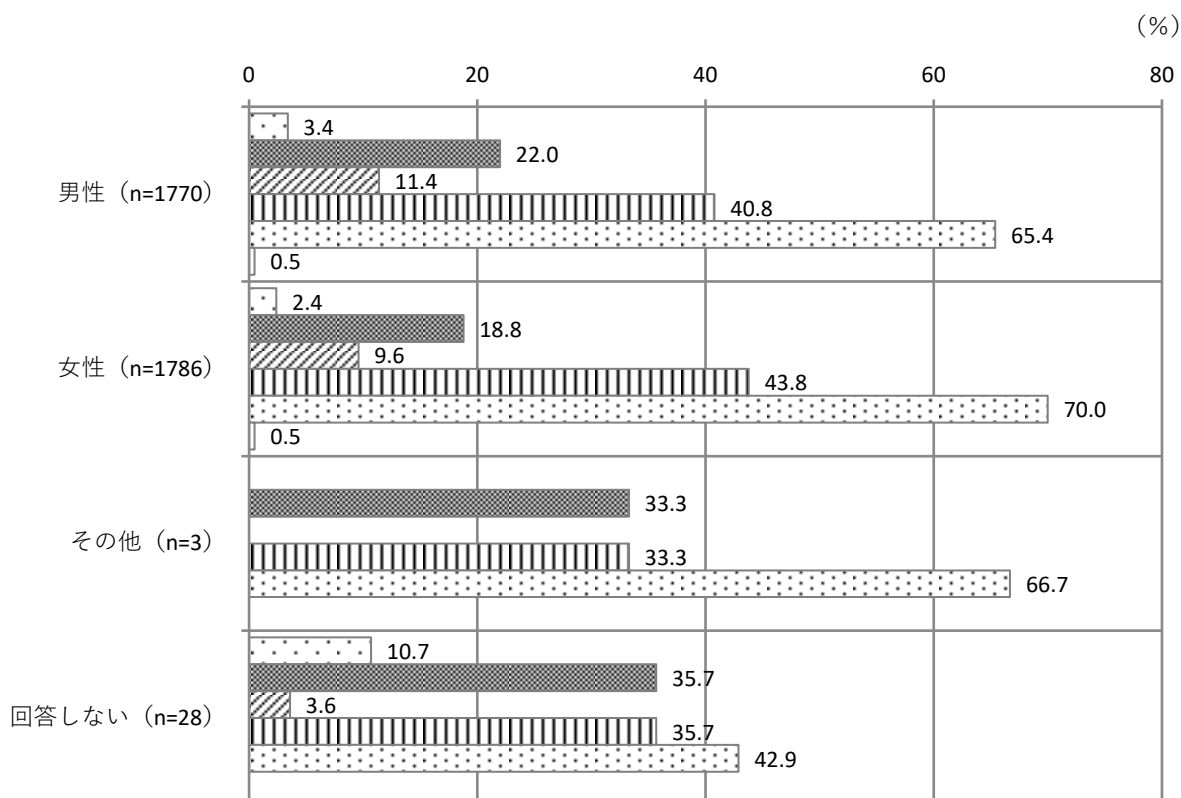


■ 性別

性別にみると、男女ともに「病気の早期発見や健康管理のため健診は必要だ」が最も高く、男性が65.4%、女性が70.0%と女性がやや高くなっています。「定期通院していても健診は必要だ(受けたい)」も男性が40.8%、女性が43.8%と、女性がやや高く、健診の必要性に対する積極的な認識は女性の方がより強い傾向があります。

一方、「症状があるときに病院に行けばよい」は男性が22.0%、女性が18.8%、「定期通院していれば健診は必要ない」は男性が11.4%、女性が9.6%と、受診に消極的な考えを持つ人は男性でやや高くなっています。健診の必要性についての意識向上は男女ともに重要ですが、特に男性への働きかけが有効と考えられます。

上段:度数 下段:%	合計	健康な人は 定期健診を 受けなくて よい	症状がある ときに病院 に行けばよ い	定期通院し ていれば健 診は必要な い	定期通院し ていても健 診は必要だ (受けたい)	病気の早期 発見や健康 管理のため 健診は必要 だ	無回答
男性	1770 100.0	61 3.4	389 22.0	201 11.4	722 40.8	1157 65.4	9 0.5
女性	1786 100.0	43 2.4	335 18.8	171 9.6	783 43.8	1250 70.0	9 0.5
その他	3 100.0	- -	1 33.3	- -	1 33.3	2 66.7	- -
回答しない	28 100.0	3 10.7	10 35.7	1 3.6	10 35.7	12 42.9	- -

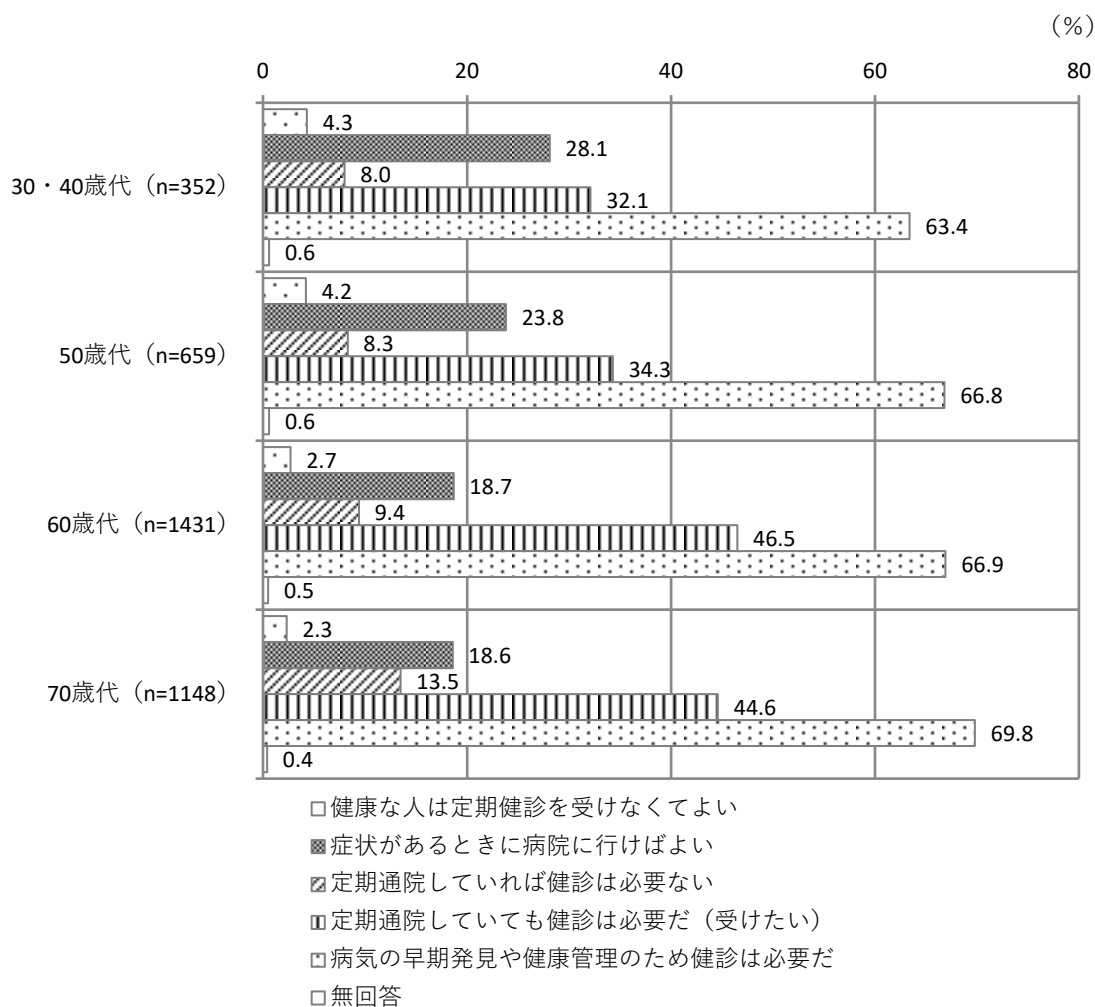


- 健康な人は定期健診を受けなくてよい
- 症状があるときに病院に行けばよい
- ▨ 定期通院していれば健診は必要ない
- ▤ 定期通院していても健診は必要だ(受けたい)
- ▧ 病気の早期発見や健康管理のため健診は必要だ
- 無回答

■ 年代別

年代別にみると、「病気の早期発見や健康管理のため健診は必要だ」はすべての年代で最多となっており、30・40歳代63.4%から70歳代69.8%まで、年代が上がるほど高まる傾向があります。「定期通院していても健診は必要だ（受けたい）」も60歳代46.5%、70歳代44.6%と高齢層で高く、通院中であっても健診の必要性を感じている方が多いことがわかります。「症状があるときに病院に行けばよい」は30・40歳代28.1%と若い世代で比較的高く、年代が上がるにつれて低下する傾向があります。

上段:度数 下段:%	合計	健康な人は 定期健診を 受けなくて よい	症状がある ときに病院 に行けばよ い	定期通院し ていれば健 診は必要な い	定期通院し ていても健 診は必要だ (受けた い)	病気の早期 発見や健康 管理のため 健診は必要 だ	無回答
30・40歳代	352 100.0	15 4.3	99 28.1	28 8.0	113 32.1	223 63.4	2 0.6
50歳代	659 100.0	28 4.2	157 23.8	55 8.3	226 34.3	440 66.8	4 0.6
60歳代	1431 100.0	39 2.7	267 18.7	135 9.4	665 46.5	957 66.9	7 0.5
70歳代	1148 100.0	26 2.3	214 18.6	155 13.5	512 44.6	801 69.8	5 0.4

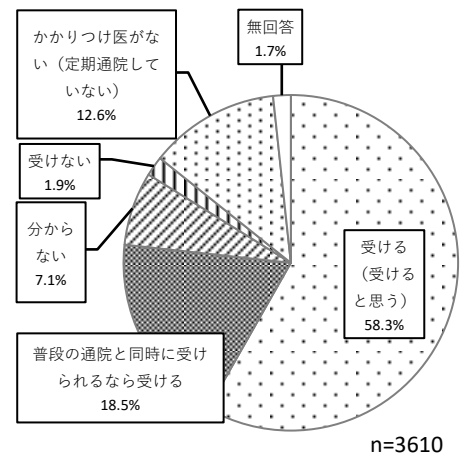


問7 かかりつけ医から健診を勧められた場合の受診意向

問7. 国は定期通院していても健診を受けることを勧めています。あなたは、かかりつけ医から健診を勧められたら受けますか。(1つに○)

「受ける(受けると思う)」が58.3%と過半数を占め、「普段の通院と同時に受けられるなら受ける」が18.5%と続きました。この2つを合わせると76.8%の住民が受診意向を示しており、かかりつけ医からの勧めが受診行動につながる可能性が高いことがわかります。医療機関との連携による健診促進が有効な手段といえます。一方、「かかりつけ医がない(定期通院していない)」が12.6%おり、こうした住民への別途アプローチが課題です。

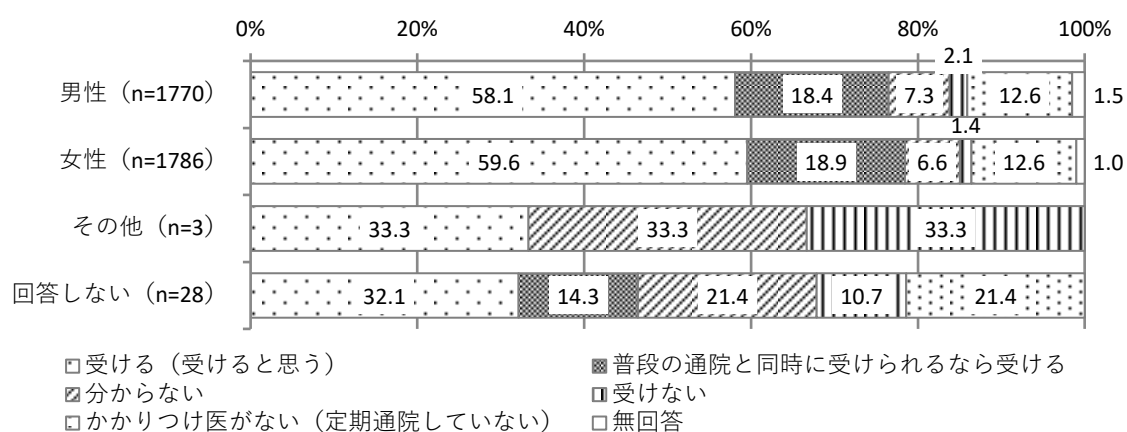
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受ける(受けると思う)	2103	58.3
2	普段の通院と同時に受けられるなら受ける	668	18.5
3	分からない	255	7.1
4	受けない	68	1.9
5	かかりつけ医がない(定期通院していない)	454	12.6
	無回答	62	1.7
	N (%への)	3610	100



■ 性別

性別にみると、「受ける（受けると思う）」が男性58.1%、女性59.6%と最も高く、半数以上が受診意向を示しています。「普段の通院と同時に受けられるなら受ける」を合わせると、男性76.5%、女性78.5%が受診に前向きであることがわかります。一方、「受けない」は男性2.1%、女性1.4%にとどまっており、健診受診への拒否感は少数派となっています。

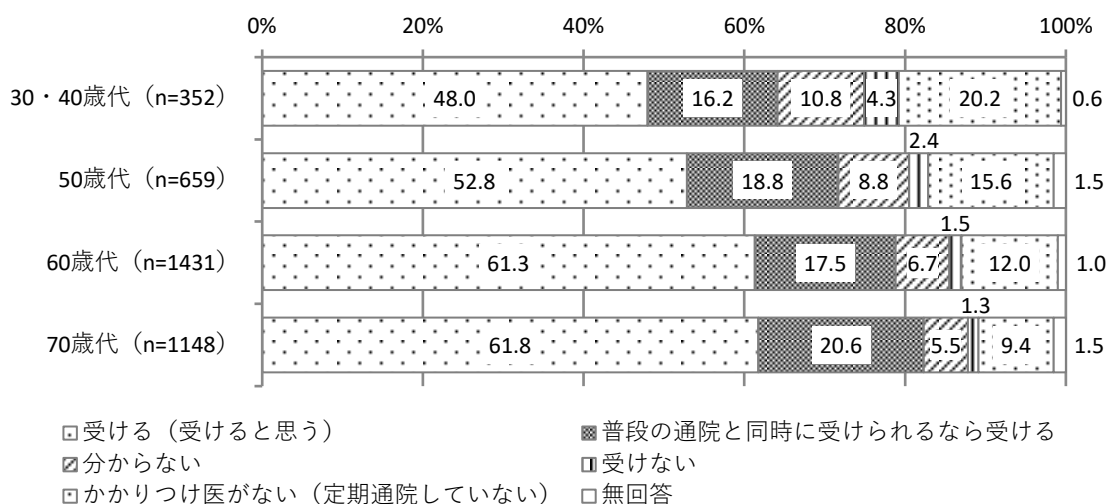
上段:度数 下段:%	合計	受ける（受けると思う）	普段の通院と同時に受けられるなら受ける	分らない	受けない	かかりつけ医がない（定期通院していない）	無回答
男性	1770 100.0	1028 58.1	326 18.4	130 7.3	37 2.1	223 12.6	26 1.5
女性	1786 100.0	1064 59.6	337 18.9	118 6.6	25 1.4	225 12.6	17 1.0
その他	3 100.0	1 33.3	— —	1 33.3	1 33.3	— —	— —
回答しない	28 100.0	9 32.1	4 14.3	6 21.4	3 10.7	6 21.4	— —



■ 年代別

年代別にみると、「受ける（受けると思う）」は年代が上がるにつれて増加し、30・40歳代48.0%から60歳代61.3%、70歳代61.8%と、60歳代以上で6割を超えています。「かかりつけ医がない（定期通院していない）」は30・40歳代で20.2%と最も高く、若い世代ほどかかりつけ医を持たない傾向が見られます。「普段の通院と同時に受けられるなら受ける」を含めた受診に対する前向きな層は、すべての年代で7割前後に達しており、かかりつけ医による健診への潜在的なニーズの高さが示されています。

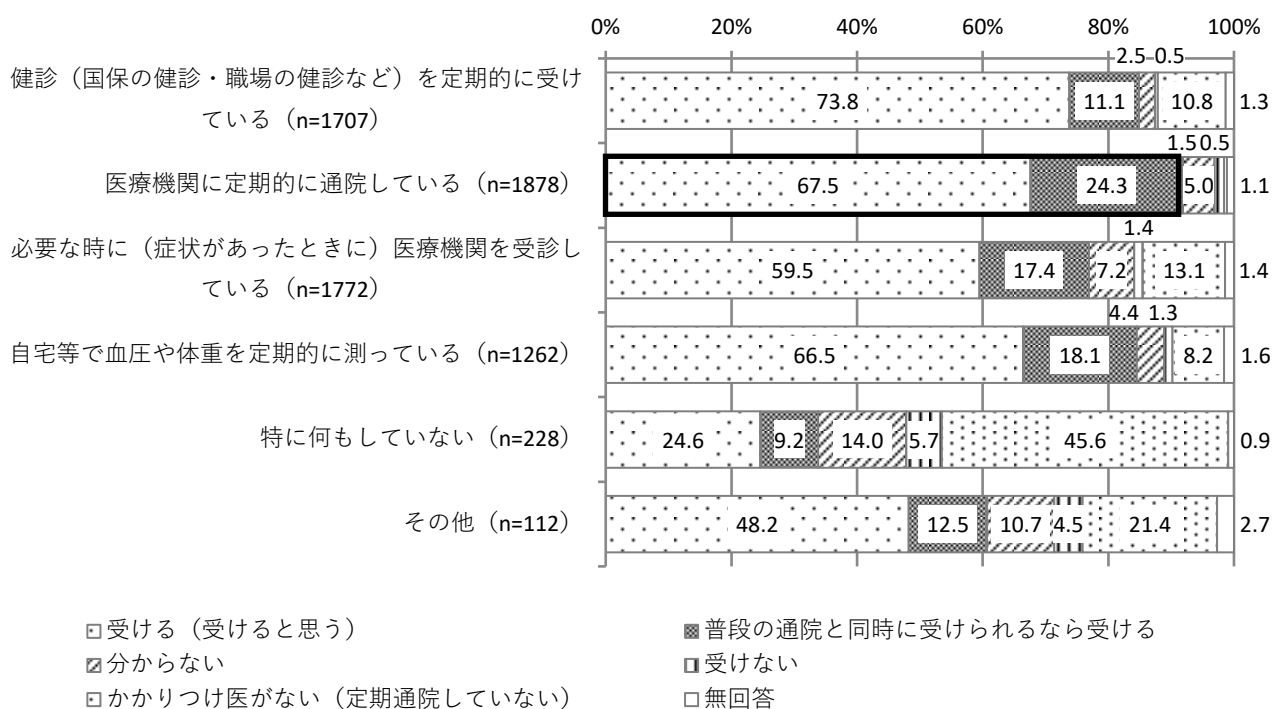
上段：度数 下段：%	合計	受ける（受けると思う）	普段の通院と同時に受けられるなら受ける	分らない	受けない	かかりつけ医がない（定期通院していない）	無回答
30・40歳代	352 100.0	169 48.0	57 16.2	38 10.8	15 4.3	71 20.2	2 0.6
50歳代	659 100.0	348 52.8	124 18.8	58 8.8	16 2.4	103 15.6	10 1.5
60歳代	1431 100.0	877 61.3	251 17.5	96 6.7	21 1.5	172 12.0	14 1.0
70歳代	1148 100.0	709 61.8	236 20.6	63 5.5	15 1.3	108 9.4	17 1.5



■ 定期通院者におけるかかりつけ医からの健診勧奨による受診意向別

『医療機関に定期的に通院している人』のうち、かかりつけ医から健診を勧められた場合の受診意向をみると、「受ける（受けると思う）」が67.5%、「普段の通院と同時に受けられるなら受ける」が24.3%となっており、両者を合わせると91.8%にのぼります。定期通院者の約9割がかかりつけ医からの勧奨によって健診受診に前向きであることから、かかりつけ医による健診勧奨は、未受診者の受診促進において特に有効な手段であると考えられます。定期通院の機会を活かした積極的な勧奨が、健診受診率の向上につながることを期待されます。

上段：度数 下段：%	合計	受ける（受けると思う）	普段の通院と同時に受けられるなら受ける	分らない	受けない	かかりつけ医がない（定期通院していない）	無回答
健診（国保の健診・職場の健診など）を定期的に受けている	1707 100.0	1260 73.8	189 11.1	42 2.5	9 0.5	185 10.8	22 1.3
医療機関に定期的に通院している	1878 100.0	1268 67.5	457 24.3	94 5.0	29 1.5	9 0.5	21 1.1
必要な時に（症状があったときに）医療機関を受診している	1772 100.0	1055 59.5	308 17.4	128 7.2	25 1.4	232 13.1	24 1.4
自宅等で血圧や体重を定期的に測っている	1262 100.0	839 66.5	228 18.1	55 4.4	17 1.3	103 8.2	20 1.6
特に何もしていない	228 100.0	56 24.6	21 9.2	32 14.0	13 5.7	104 45.6	2 0.9
その他	112 100.0	54 48.2	14 12.5	12 10.7	5 4.5	24 21.4	3 2.7

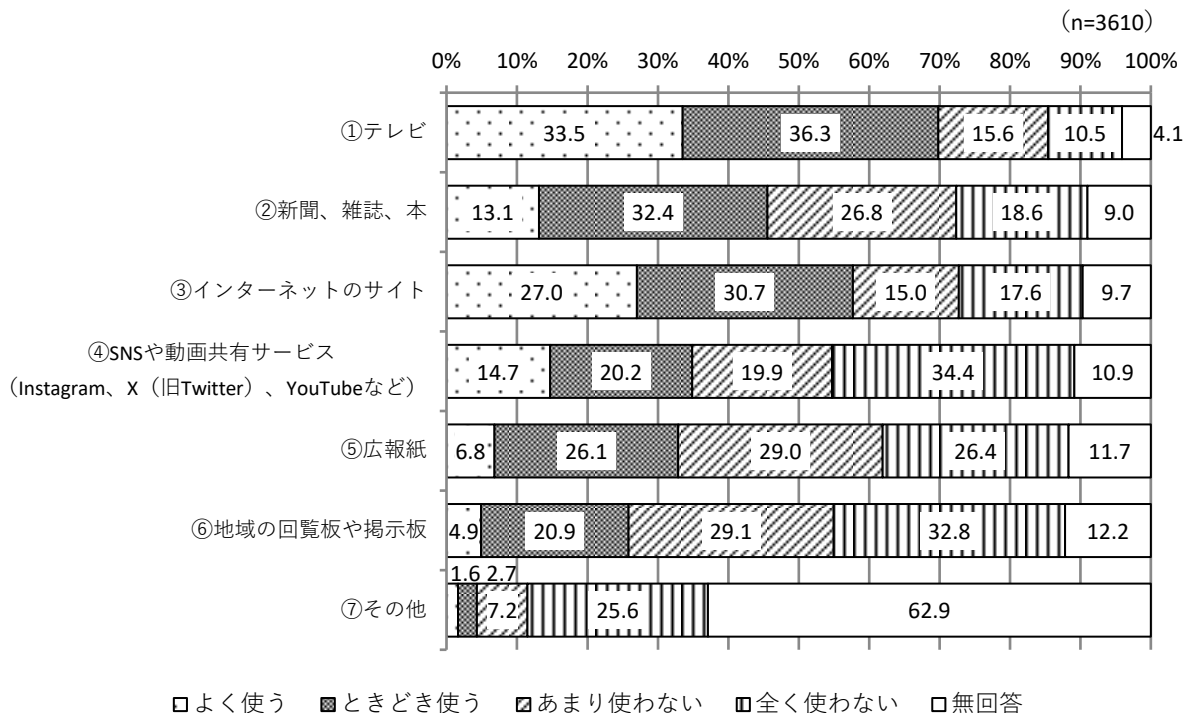


問8 健康・暮らしに関する情報源の利用頻度

問8. あなたは、健康や暮らしに関する情報を入手するために次の情報源をどの程度使っていますか。あてはまるものに○をつけてください。(それぞれ1つだけに○)

「よく使う」「ときどき使う」の合計が最も高いのは『①テレビ』で69.8%と約7割を占めており、健康や暮らしに関する情報源として最も広く利用されています。次いで『③インターネットのサイト』が57.7%、『②新聞・雑誌・本』が45.5%と続いています。一方、『⑤広報紙』は32.9%、『⑥地域の回覧板や掲示板』は25.8%と低めで、「全く使わない」がそれぞれ26.4%、32.8%と高くなっています。『④SNS・動画共有サービス』は利用する人と利用しない人に二極化しており、「よく使う」「ときどき使う」の合計が34.9%に対し、「全く使わない」が34.4%となっています。健診情報の周知にあたっては、テレビやインターネットを中心としつつ、広報紙や回覧板など地域に根ざした媒体も組み合わせた多層的なアプローチが効果的といえます。

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	全く使わない	無回答
①テレビ	3610 100.0	1208 33.5	1311 36.3	564 15.6	378 10.5	149 4.1
②新聞・雑誌・本	3610 100.0	473 13.1	1171 32.4	969 26.8	672 18.6	325 9.0
③インターネットのサイト	3610 100.0	974 27.0	1110 30.7	542 15.0	634 17.6	350 9.7
④SNSや動画共有サービス（Instagram、X（旧Twitter）、YouTubeなど）	3610 100.0	530 14.7	729 20.2	718 19.9	1241 34.4	392 10.9
⑤広報紙	3610 100.0	246 6.8	942 26.1	1047 29.0	954 26.4	421 11.7
⑥地域の回覧板や掲示板	3610 100.0	178 4.9	756 20.9	1051 29.1	1184 32.8	441 12.2
⑦その他	3610 100.0	58 1.6	97 2.7	260 7.2	925 25.6	2270 62.9



●「その他」自由回答

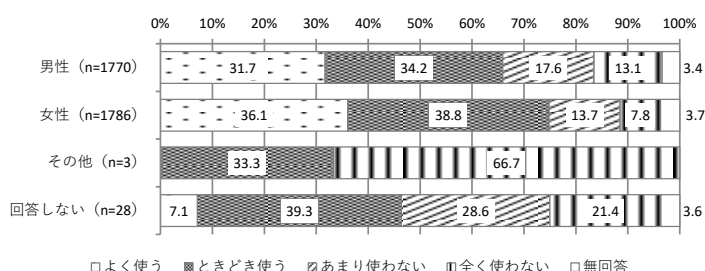
カテゴリ	件数	主な内容
家族・友人・知人	64 件	友人との会話、口コミ、コミュニティ内共有
医療者・医療機関	33 件	医師等への相談、通院時助言、院内掲示・チラシ、医療機関からの案内
SNS・動画/マス媒体・広告	15 件	YouTube・インスタ、ラジオ、TV（CM）、交通広告、ポスティング広告
行政・公的機関	8 件	区役所・保健所等、広報紙、健診通知・健診結果
アプリ	6 件	アスマイル等の健康アプリ
企業・業者	5 件	サプリー会社・販売業者の情報、購入時案内、生協、業務経験由来の情報
AI	5 件	ChatGPT 等生成 AI、症状検索 AI（ユビー等）
ネット検索・Web	4 件	検索サイト（Google 等）、インターネット検索、おすすり表示
書籍・図書館・専門資料	3 件	図書館、一般書、専門書で調べる
セミナー/学習機関	2 件	セミナー、学習センター
その他	6 件	使い方不明、文章で伝えてほしい、使わない

■ 性別

性別にみると、男女ともに『①テレビ』が最も活用されており、「よく使う」と「ときどき使う」の合計は男性65.9%、女性74.9%と、女性の方が高い傾向にあります。『③インターネットのサイト』は男性60.0%、女性55.9%と男性がやや高く、『④SNS・動画共有サービス』は男性34.8%、女性35.3%とほぼ同水準です。一方、『②新聞・雑誌・本』は男性41.5%、女性50.6%と女性が高く、『⑤広報紙』も男性27.8%、女性38.7%と女性の利用率が上回っています。『⑥地域の回覧板や掲示板』についても男性23.2%、女性29.1%と女性の方が高く、紙媒体や地域情報ツールの活用において女性がより積極的であることがわかります。全体的に、女性はテレビ・紙媒体・地域媒体をバランスよく活用しているのに対し、男性はインターネット系への依存がやや高い傾向が見られます。

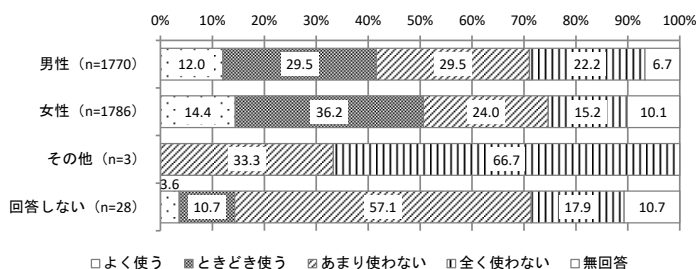
①テレビ

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	全く使わない	無回答
男性	1770	561	605	312	231	61
	100.0	31.7	34.2	17.6	13.1	3.4
女性	1786	644	693	244	139	66
	100.0	36.1	38.8	13.7	7.8	3.7
その他	3	-	1	-	2	-
	100.0	-	33.3	-	66.7	-
回答しない	28	2	11	8	6	1
	100.0	7.1	39.3	28.6	21.4	3.6



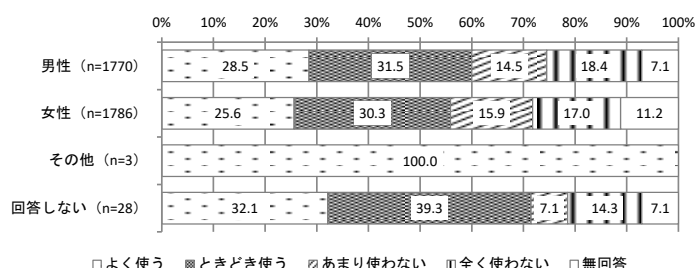
②新聞、雑誌、本

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	全く使わない	無回答
男性	1770	213	522	523	393	119
	100.0	12.0	29.5	29.5	22.2	6.7
女性	1786	258	646	429	272	181
	100.0	14.4	36.2	24.0	15.2	10.1
その他	3	-	-	1	2	-
	100.0	-	-	33.3	66.7	-
回答しない	28	1	3	16	5	3
	100.0	3.6	10.7	57.1	17.9	10.7



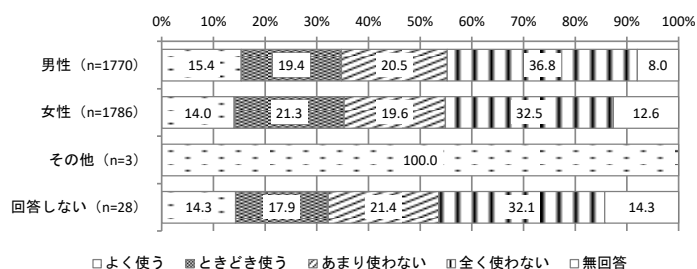
③インターネットのサイト

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	全く使わない	無回答
男性	1770	504	558	256	326	126
	100.0	28.5	31.5	14.5	18.4	7.1
女性	1786	457	541	284	304	200
	100.0	25.6	30.3	15.9	17.0	11.2
その他	3	3	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
回答しない	28	9	11	2	4	2
	100.0	32.1	39.3	7.1	14.3	7.1



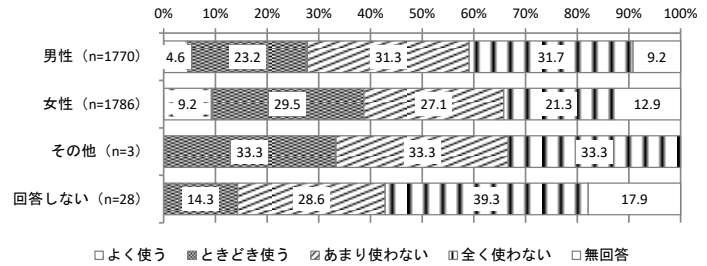
④SNSや動画共有サービス (Instagram、X (旧Twitter)、YouTubeなど)

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	全く使わない	無回答
男性	1770	272	343	362	652	141
	100.0	15.4	19.4	20.5	36.8	8.0
女性	1786	250	381	350	580	225
	100.0	14.0	21.3	19.6	32.5	12.6
その他	3	3	-	-	-	-
	100.0	100.0	-	-	-	-
回答しない	28	4	5	6	9	4
	100.0	14.3	17.9	21.4	32.1	14.3



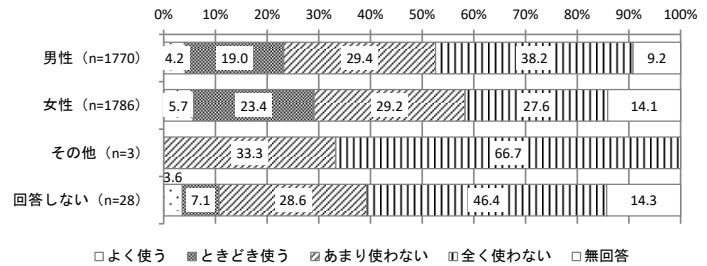
⑤広報紙

上段:度数 下段:%	合計	よく使う	ときどき 使う	あまり 使わない	全く 使わない	無回答
男性	1770 100.0	81 4.6	411 23.2	554 31.3	561 31.7	163 9.2
女性	1786 100.0	165 9.2	526 29.5	484 27.1	381 21.3	230 12.9
その他	3 100.0	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-
回答しない	28 100.0	-	4 14.3	8 28.6	11 39.3	5 17.9



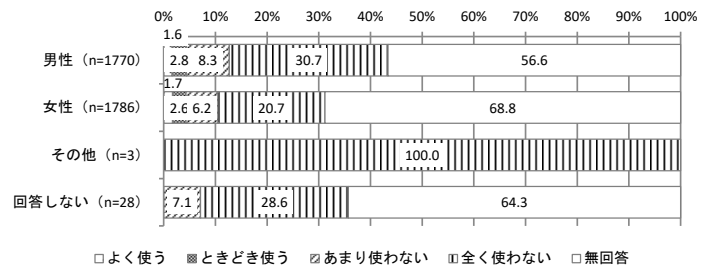
⑥地域の回覧板や掲示板

上段:度数 下段:%	合計	よく使う	ときどき 使う	あまり 使わない	全く 使わない	無回答
男性	1770 100.0	75 4.2	336 19.0	521 29.4	676 38.2	162 9.2
女性	1786 100.0	102 5.7	418 23.4	521 29.2	493 27.6	252 14.1
その他	3 100.0	-	-	1 33.3	2 66.7	-
回答しない	28 100.0	1 3.6	2 7.1	8 28.6	13 46.4	4 14.3



⑦その他

上段:度数 下段:%	合計	よく使う	ときどき 使う	あまり 使わない	全く 使わない	無回答
男性	1770 100.0	28 1.6	50 2.8	147 8.3	544 30.7	1001 56.6
女性	1786 100.0	30 1.7	46 2.6	111 6.2	370 20.7	1229 68.8
その他	3 100.0	-	-	-	3 100.0	-
回答しない	28 100.0	-	-	2 7.1	8 28.6	18 64.3

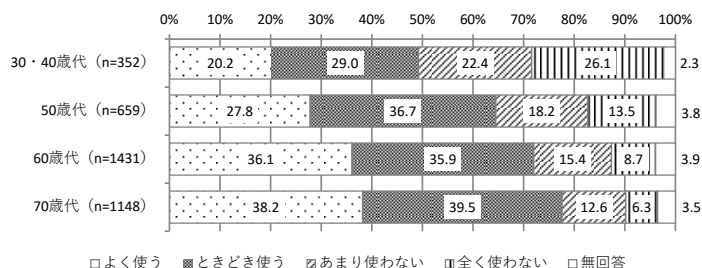


■ 年代別

年代別にみると、情報源の利用状況に明確な年代差が見られます。『①テレビ』『②新聞・雑誌・本』『⑤広報紙』『⑥地域の回覧板や掲示板』といった従来型媒体は、年代が上がるにつれて利用頻度が高くなる傾向があり、特に70歳代での利用率が高くなっています。一方、『③インターネットのサイト』や『④SNS・動画共有サービス』は若い年代ほど利用頻度が高く、30・40歳代では「よく使う」「ときどき使う」が『③インターネットのサイト』が81.8%、『④SNS・動画共有サービス』が62.2%と高水準である一方、70歳代ではそれぞれ41.9%、20.7%と大きく低下しています。逆に『⑤広報紙』『⑥地域の回覧板や掲示板』は30・40歳代で「全く使わない」がそれぞれ48.3%、57.1%と約半数を占めており、若い年代への到達が課題となっています。健診情報の周知にあたっては、高齢層にはテレビ・広報紙・回覧板などの従来型媒体、若い年代にはインターネットやSNSを活用したアプローチが有効であるといえます。年代に応じた情報発信の使い分けが、幅広い年代への健診情報の到達と受診率向上の鍵となると考えられます。

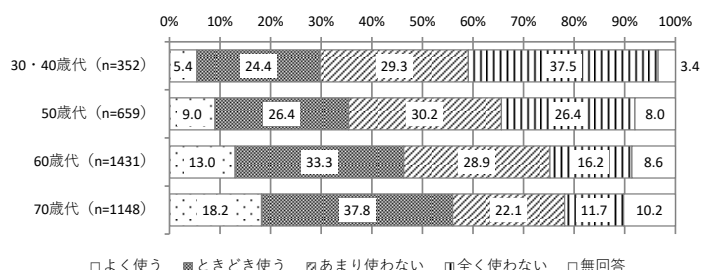
①テレビ

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき 使う	あまり 使わない	全く 使わない	無回答
30・40歳代	352 100.0	71 20.2	102 29.0	79 22.4	92 26.1	8 2.3
50歳代	659 100.0	183 27.8	242 36.7	120 18.2	89 13.5	25 3.8
60歳代	1431 100.0	516 36.1	514 35.9	220 15.4	125 8.7	56 3.9
70歳代	1148 100.0	438 38.2	453 39.5	145 12.6	72 6.3	40 3.5



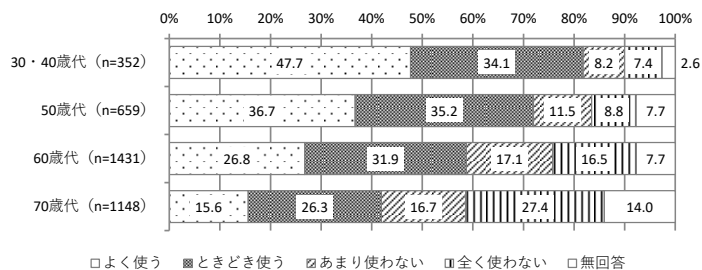
②新聞、雑誌、本

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき 使う	あまり 使わない	全く 使わない	無回答
30・40歳代	352 100.0	19 5.4	86 24.4	103 29.3	132 37.5	12 3.4
50歳代	659 100.0	59 9.0	174 26.4	199 30.2	174 26.4	53 8.0
60歳代	1431 100.0	186 13.0	477 33.3	413 28.9	232 16.2	123 8.6
70歳代	1148 100.0	209 18.2	434 37.8	254 22.1	134 11.7	117 10.2



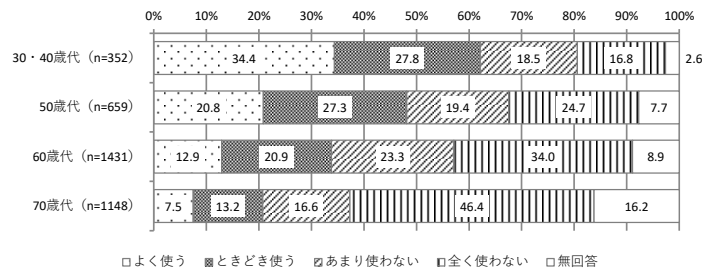
③インターネットのサイト

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき 使う	あまり 使わない	全く 使わない	無回答
30・40歳代	352 100.0	168 47.7	120 34.1	29 8.2	26 7.4	9 2.6
50歳代	659 100.0	242 36.7	232 35.2	76 11.5	58 8.8	51 7.7
60歳代	1431 100.0	384 26.8	456 31.9	245 17.1	236 16.5	110 7.7
70歳代	1148 100.0	179 15.6	302 26.3	192 16.7	314 27.4	161 14.0



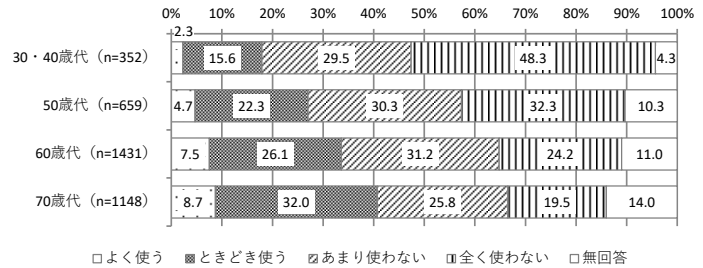
④SNSや動画共有サービス（Instagram、X（旧Twitter）、YouTubeなど）

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	全く使わない	無回答
30・40歳代	352 100.0	121 34.4	98 27.8	65 18.5	59 16.8	9 2.6
50歳代	659 100.0	137 20.8	180 27.3	128 19.4	163 24.7	51 7.7
60歳代	1431 100.0	185 12.9	299 20.9	334 23.3	486 34.0	127 8.9
70歳代	1148 100.0	86 7.5	152 13.2	191 16.6	533 46.4	186 16.2



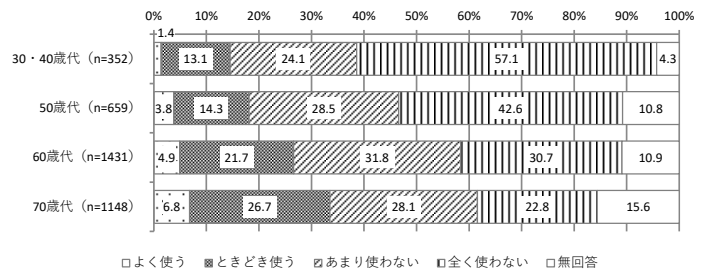
⑤広報紙

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	全く使わない	無回答
30・40歳代	352 100.0	8 2.3	55 15.6	104 29.5	170 48.3	15 4.3
50歳代	659 100.0	31 4.7	147 22.3	200 30.3	213 32.3	68 10.3
60歳代	1431 100.0	107 7.5	373 26.1	447 31.2	347 24.2	157 11.0
70歳代	1148 100.0	100 8.7	367 32.0	296 25.8	224 19.5	161 14.0



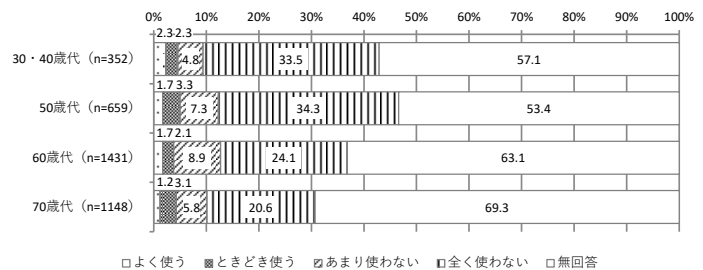
⑥地域の回覧板や掲示板

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	全く使わない	無回答
30・40歳代	352 100.0	5 1.4	46 13.1	85 24.1	201 57.1	15 4.3
50歳代	659 100.0	25 3.8	94 14.3	188 28.5	281 42.6	71 10.8
60歳代	1431 100.0	70 4.9	310 21.7	455 31.8	440 30.7	156 10.9
70歳代	1148 100.0	78 6.8	306 26.7	323 28.1	262 22.8	179 15.6



⑦その他

上段：度数 下段：%	合計	よく使う	ときどき使う	あまり使わない	全く使わない	無回答
30・40歳代	352 100.0	8 2.3	8 2.3	17 4.8	118 33.5	201 57.1
50歳代	659 100.0	11 1.7	22 3.3	48 7.3	226 34.3	352 53.4
60歳代	1431 100.0	25 1.7	30 2.1	128 8.9	345 24.1	903 63.1
70歳代	1148 100.0	14 1.2	36 3.1	67 5.8	236 20.6	795 69.3



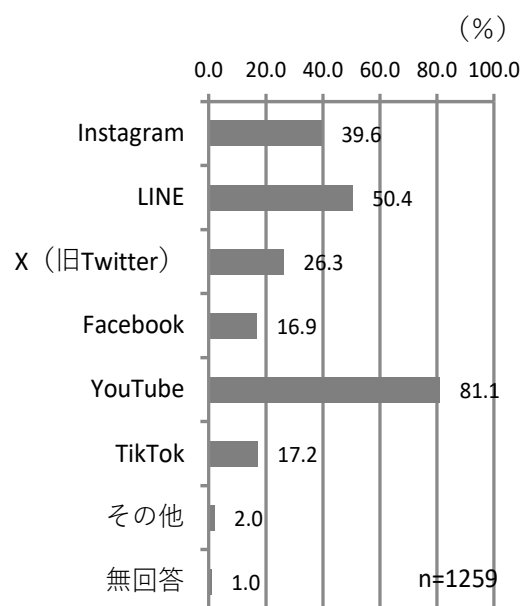
問9 利用しているSNS・動画サービスの種類

問8の④で「1.よく使う」または「2.ときどき使う」に○をつけた方におたずねします。

問9. お使いのものを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

SNSや動画共有サービスを利用している人のうち、「YouTube」が81.1%と最も高く、次いで「LINE」が50.4%、「Instagram」が39.6%と続きました。「X(旧Twitter)」は26.3%、「TikTok」は17.2%、「Facebook」は16.9%となっています。「YouTube」と「LINE」の利用率が特に高く、健康情報の発信にあたってはこれらのプラットフォームを活用することが効果的と考えられます。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	Instagram	498	39.6
2	LINE	635	50.4
3	X(旧Twitter)	331	26.3
4	Facebook	213	16.9
5	YouTube	1021	81.1
6	TikTok	216	17.2
7	その他	25	2.0
	無回答	12	1.0
	N(％ベース)	1259	100



●「その他」自由回答

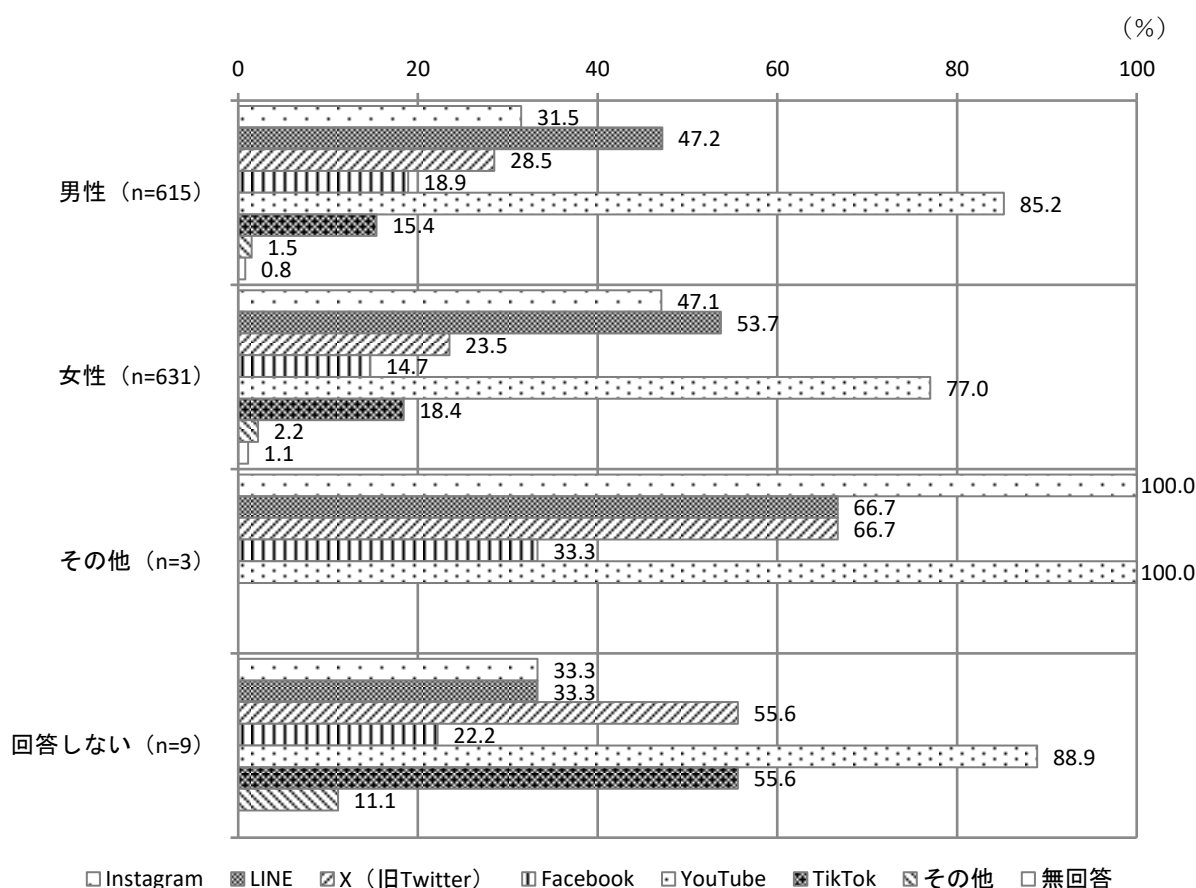
カテゴリ	件数
Bluesky	4件
Yahoo!	3件
Threads	3件
Google	2件
TV	2件
ブログ	2件
検索サイト	1件

カテゴリ	件数
Discord	1件
パラレル	1件
AI	1件
本	1件
色々	1件
使用していない、なし、記入なし	6件

■ 性別

性別にみると、男女ともに「YouTube」が最も高く、男性が85.2%、女性が77.0%と高水準となっています。「LINE」は男性が47.2%、女性が53.7%と女性がやや高く、「Instagram」は男性が31.5%、女性が47.1%、と女性で特に高くなっています。一方、「X（旧Twitter）」は男性が28.5%、女性が23.5%、「Facebook」は男性が18.9%、女性が14.7%と男性がやや高くなっています。「TikTok」は男性が15.4%、女性が18.4%と利用率は低めですが女性がやや高い結果となっています。健診情報の発信にあたっては、男女ともに「YouTube」が有効である一方、女性には「Instagram」や「LINE」を活用したアプローチが特に効果的と考えられます。

上段:度数 下段:%	合計	Instagram	LINE	X (旧 Twitter)	Facebook	YouTube	TikTok	その他	無回答
男性	615	194	290	175	116	524	95	9	5
	100.0	31.5	47.2	28.5	18.9	85.2	15.4	1.5	0.8
女性	631	297	339	148	93	486	116	14	7
	100.0	47.1	53.7	23.5	14.7	77.0	18.4	2.2	1.1
その他	3	3	2	2	1	3	-	-	-
	100.0	100.0	66.7	66.7	33.3	100.0	-	-	-
回答しない	9	3	3	5	2	8	5	1	-
	100.0	33.3	33.3	55.6	22.2	88.9	55.6	11.1	-

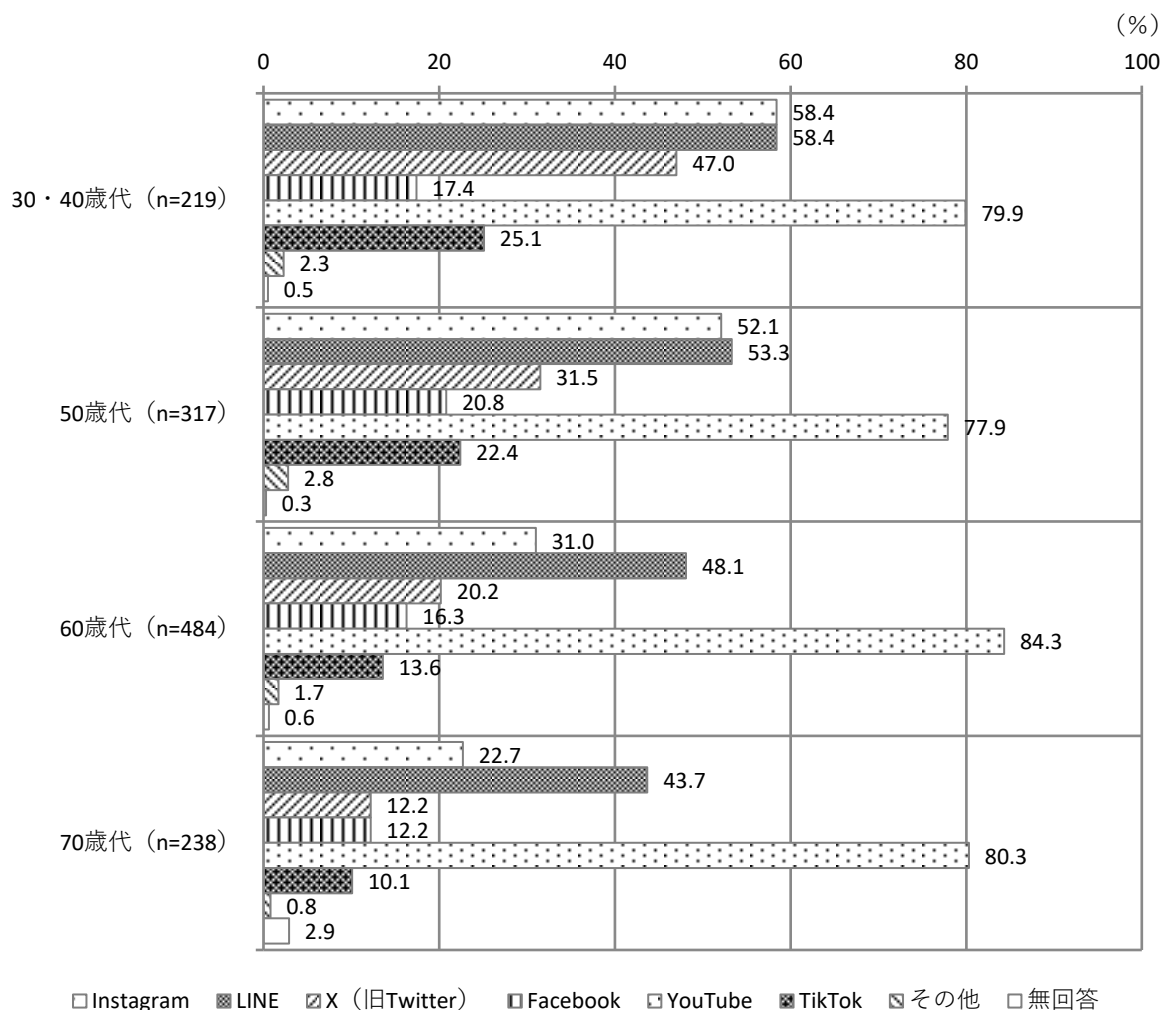


■ 年代別

性別にみると、「YouTube」はすべての年代で最も利用率が高く、30・40歳代が79.9%、50歳代が77.9%、60歳代が84.3%、70歳代が80.3%と年代を問わず幅広く利用されています。一方、「Instagram」は30・40歳代の58.4%から70歳代の22.7%へ、「X（旧Twitter）」は30・40歳代の47.0%から70歳代の12.2%へと年代が上がるにつれて大きく低下しており、若年層ほど多様なSNSを活用していることがわかります。

「TikTok」も30・40歳代が25.1%に対し70歳代が10.1%と若年層での利用が高く、「LINE」は30・40歳代の58.4%から70歳代の43.7%まで幅広い年代で利用されているものの、やはり若年層がやや高い傾向にあります。

上段：度数 下段：%	合計	Instagram	LINE	X（旧Twitter）	Facebook	YouTube	TikTok	その他	無回答
30・40歳代	219 100.0	128 58.4	128 58.4	103 47.0	38 17.4	175 79.9	55 25.1	5 2.3	1 0.5
50歳代	317 100.0	165 52.1	169 53.3	100 31.5	66 20.8	247 77.9	71 22.4	9 2.8	1 0.3
60歳代	484 100.0	150 31.0	233 48.1	98 20.2	79 16.3	408 84.3	66 13.6	8 1.7	3 0.6
70歳代	238 100.0	54 22.7	104 43.7	29 12.2	29 12.2	191 80.3	24 10.1	2 0.8	7 2.9



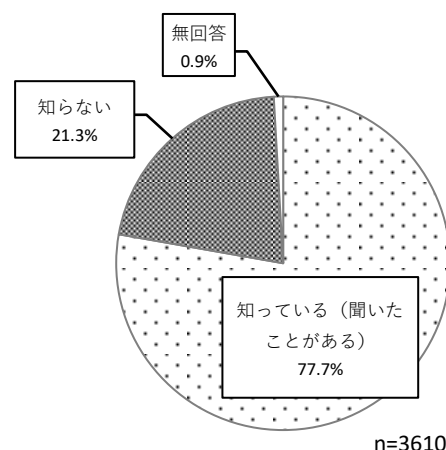
2-3. Ⅲ. 特定健診について

問10 健診受診が医療費削減・保険料軽減につながることの認知度

問10. あなたは、定期健診を受けることで病気の早期発見・早期治療につながり、将来的な医療費の削減およびあなたの保険料の軽減につながることをご存じですか。（1つに○）

定期健診が病気の早期発見・医療費削減につながることを「知っている（聞いたことがある）」は77.7%と約8割に達しており、一定の認知が広まっていることがわかります。一方、「知らない」も21.3%と約2割存在しており、引き続き周知・啓発の取組みが求められます。

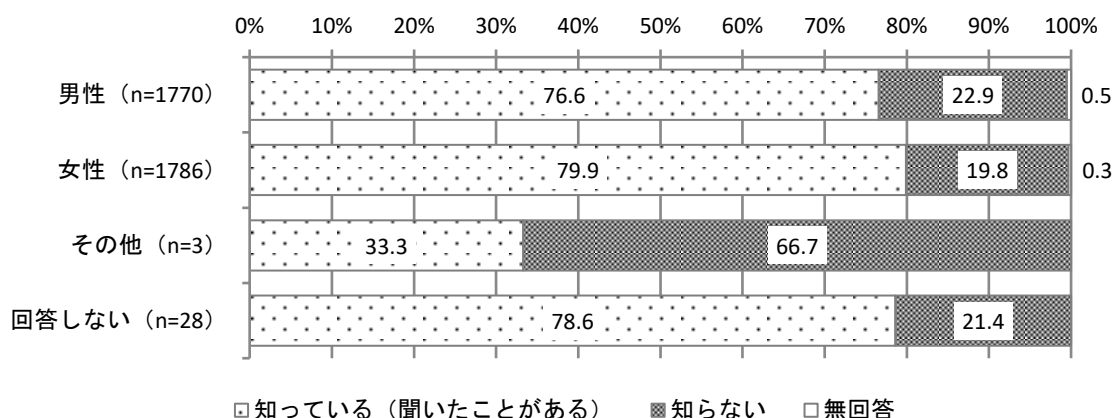
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	知っている（聞いたことがある）	2806	77.7
2	知らない	770	21.3
	無回答	34	0.9
	N（％ベース）	3610	100



■ 性別

性別にみると、「知っている（聞いたことがある）」の割合は男性が76.6%、女性が79.9%と、女性の方がやや高くなっています。一方、「知らない」は男性が22.9%、女性が19.8%と男性がやや高く、男性への認知促進に引き続き取り組む余地があります。

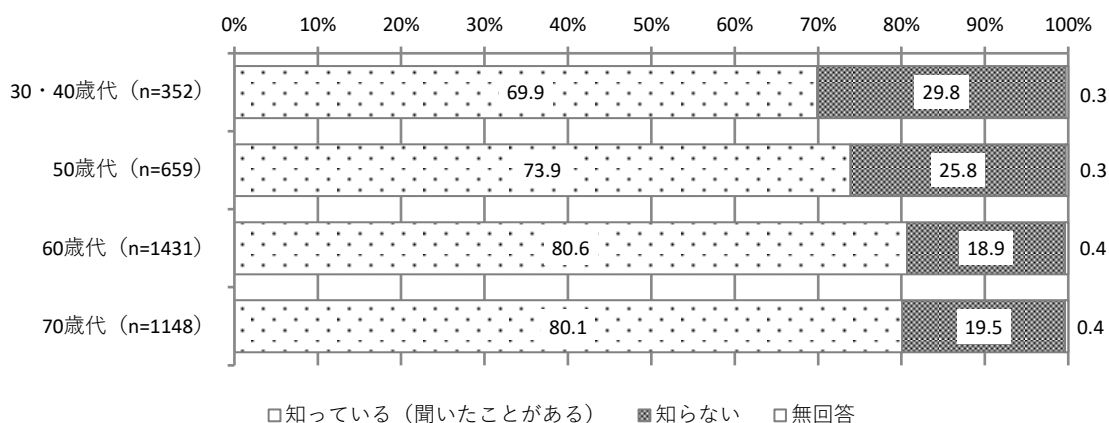
上段:度数 下段:%	合計	知っている (聞いたこと がある)	知らない	無回答
男性	1770 100.0	1355 76.6	406 22.9	9 0.5
女性	1786 100.0	1427 79.9	354 19.8	5 0.3
その他	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-
回答しない	28 100.0	22 78.6	6 21.4	-



■ 年代別

年代別にみると、「知っている（聞いたことがある）」の割合は年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、30・40歳代が69.9%であるのに対し60歳代が80.6%、70歳代が80.1%と、60歳代以上では約8割が認知しています。一方、30・40歳代では「知らない」が29.8%と約3割を占めており、若い年代への認知促進が特に重要な課題といえます。

上段:度数 下段:%	合計	知っている (聞いたことがある)	知らない	無回答
30・40歳代	352 100.0	246 69.9	105 29.8	1 0.3
50歳代	659 100.0	487 73.9	170 25.8	2 0.3
60歳代	1431 100.0	1154 80.6	271 18.9	6 0.4
70歳代	1148 100.0	919 80.1	224 19.5	5 0.4

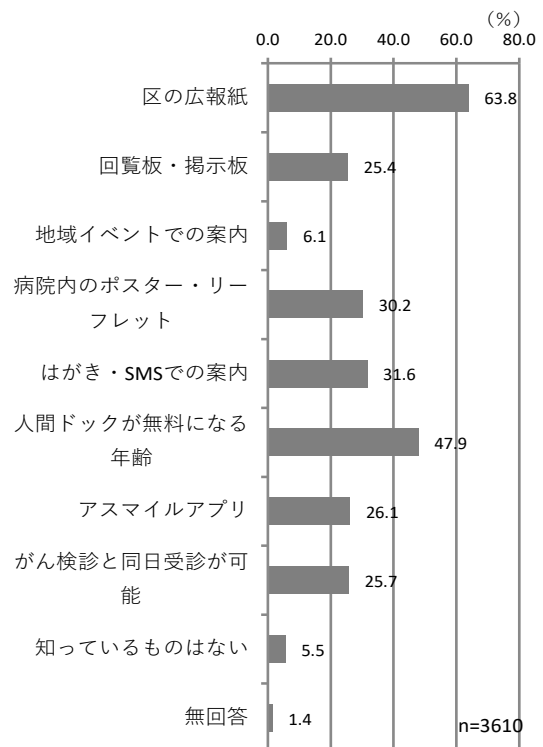


問11 大阪市の健診に関する取り組みの認知状況

問11. 大阪市では、より多くの方に特定健診を受けていただけるよう、さまざまな取り組みを行っています。次のうち、見たことのあるものやご存じのものを教えてください。（あてはまるものすべてに○）

認知率が最も高いのは「区の広報紙の健診案内」で63.8%と最も高く、次いで「人間ドックの自己負担額が無料になる年齢がある」が47.9%、「はがきやSMSで健診案内が届く」が31.6%、「病院内にある健診の案内ポスターやリーフレット」が30.2%と続きます。「地域のイベントや集まりの場での健診案内」は6.1%と認知率が低く、この取り組みの認知が課題といえます。

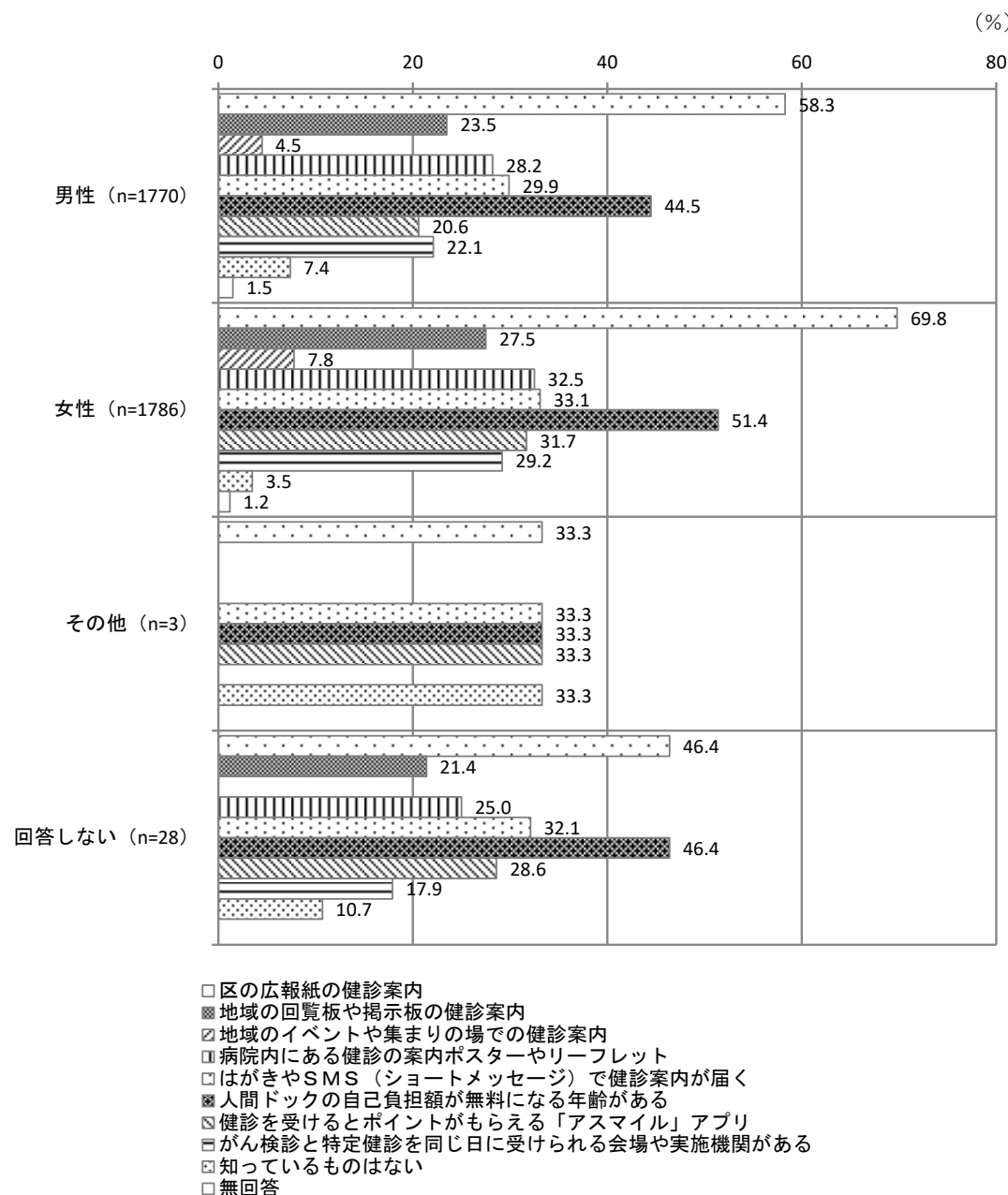
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	区の広報紙の健診案内	2303	63.8
2	地域の回覧板や掲示板的健診案内	918	25.4
3	地域のイベントや集まりの場での健診案内	221	6.1
4	病院内にある健診の案内ポスターやリーフレット	1091	30.2
5	はがきやSMS（ショートメッセージ）で健診案内が届く	1141	31.6
6	人間ドックの自己負担額が無料になる年齢がある	1728	47.9
7	健診を受けるとポイントがもらえる「アスマイル」アプリ	943	26.1
8	がん検診と特定健診を同日に受けられる会場や実施機関がある	926	25.7
9	知っているものはない	200	5.5
	無回答	49	1.4
	N（％ベース）	3610	100



■ 性別

性別にみると、男女ともに「区の広報紙の健診案内」（男性が58.3%、女性が69.8%）と「人間ドックの自己負担額が無料になる年齢がある」（男性が44.5%、女性が51.4%）の認知率が高くなっています。全項目において女性が男性を上回っており、女性の方が健診関連情報への接触度が高い傾向があります。「知っているものはない」は男性が7.4%であるのに対し女性が3.5%と男性で高く、男性への情報到達に課題があると言えます。

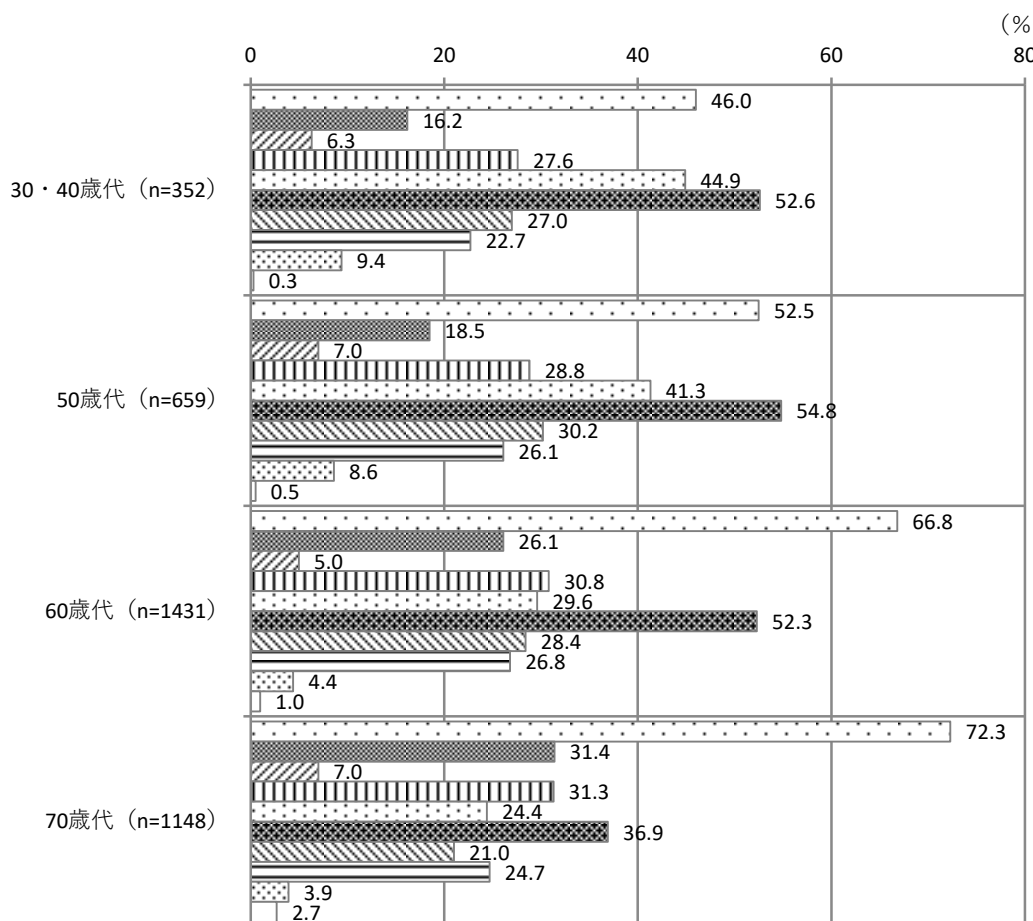
上段：度数 下段：%	合計	区の広報紙の健診案内	地域の回覧板や掲示板の健診案内	地域のイベントや集まりの場での健診案内	病院内にある健診の案内ポスターやリーフレット	はがきやSMS（ショートメッセージ）で健診案内が届く	人間ドックの自己負担額が無料になる年齢がある	健診を受けるとポイントがもらえる「アスマイル」アプリ	がん検診と特定健診を同じ日に受けられる会場や実施機関がある	知っているものはない	無回答
男性	1770 100.0	1032 58.3	416 23.5	79 4.5	499 28.2	530 29.9	787 44.5	365 20.6	392 22.1	131 7.4	27 1.5
女性	1786 100.0	1247 69.8	491 27.5	139 7.8	581 32.5	592 33.1	918 51.4	567 31.7	522 29.2	63 3.5	22 1.2
その他	3 100.0	1 33.3	-	-	-	1 33.3	1 33.3	1 33.3	-	1 33.3	-
回答しない	28 100.0	13 46.4	6 21.4	-	7 25.0	9 32.1	13 46.4	8 28.6	5 17.9	3 10.7	-



■ 年代別

年代別にみると、「区の広報紙の健診案内」は年代が上がるほど認知率が高く、30・40歳代が46.0%であるのに対し70歳代では72.3%に達しています。一方、「はがきやSMSで健診案内が届く」は30・40歳代が44.9%、50歳代が41.3%と若い年代で高く、60歳代が29.6%、70歳代が24.4%と年代が上がるにつれて低下しており、デジタルと紙媒体を効果的に使い分けることが重要といえます。「健診を受けるとポイントがもらえる「アスマイル」アプリ」の認知率は50歳代が30.2%と最も高く、70歳代では21.0%と最も低くなっており、高齢層への浸透が引き続き課題です。「知っているものはない」は30・40歳代が9.4%と最も高く、若い年代への情報到達に改善の余地があります。

上段:度数 下段:%	合計	区の広報紙 の健診案内	地域の回覧 板や掲示板 の健診案内	地域のイベ ントや集ま りの場での 健診案内	病院内に ある健診の 案内ポスター やリーフレ ット	はがきやS MS (ショート メッセージ) で健診 案内が届く	人間ドック の自己負担 額が無料に なる年齢が ある	健診を受け るとポイント がもらえる 「アスマイル」 アプリ	がん検診と 特定健診を 同じ日に受 けられる会 場や実施機 関がある	知っている ものはない	無回答
30・40歳代	352 100.0	162 46.0	57 16.2	22 6.3	97 27.6	158 44.9	185 52.6	95 27.0	80 22.7	33 9.4	1 0.3
50歳代	659 100.0	346 52.5	122 18.5	46 7.0	190 28.8	272 41.3	361 54.8	199 30.2	172 26.1	57 8.6	3 0.5
60歳代	1431 100.0	956 66.8	373 26.1	71 5.0	441 30.8	423 29.6	749 52.3	406 28.4	383 26.8	63 4.4	14 1.0
70歳代	1148 100.0	830 72.3	361 31.4	80 7.0	359 31.3	280 24.4	424 36.9	241 21.0	284 24.7	45 3.9	31 2.7



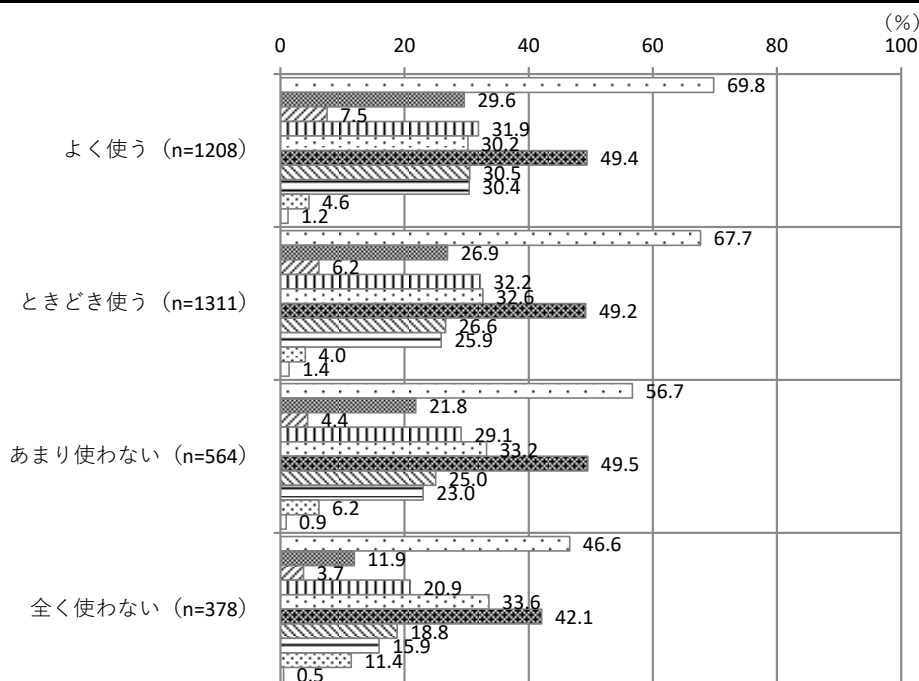
- 区の広報紙の健診案内
- 地域の回覧板や掲示板の健診案内
- ▨ 地域のイベントや集まりの場での健診案内
- ▩ 病院内にある健診の案内ポスターやリーフレット
- ▧ はがきやSMS (ショートメッセージ) で健診案内が届く
- ▦ 人間ドックの自己負担額が無料になる年齢がある
- ▤ 健診を受けるとポイントがもらえる「アスマイル」アプリ
- ▥ がん検診と特定健診を同じ日に受けられる会場や実施機関がある
- 知っているものはない
- 無回答

■ 情報源別

情報源別にみると、各媒体の利用頻度と大阪市の取組み認知には明確な関連が見られます『⑤広報紙』を「よく使う」人の「区の広報紙健診案内」の認知が89.4%に対し「全く使わない」人が40.6%、『⑥地域の回覧板や掲示板』を「よく使う」人の「回覧板健診案内」の認知が55.1%に対し「全く使わない」人が10.1%と、各媒体の利用と対応する取組みの認知が強く連動していることがわかります。『③インターネットのサイト』を「よく使う」人の「アスマイルアプリ」の認知が33.5%に対し「全く使わない」人が12.5%と差が見られる一方、「はがき・SMSによる健診案内」の認知は情報源の利用状況にかかわらず概ね30%前後と安定しており、媒体利用状況に左右されにくい情報伝達手段といえます。取組みの認知向上にあたっては、広報紙や回覧板といった紙媒体を積極的に活用しつつ、インターネットなどデジタル媒体も組み合わせた多層的なアプローチが重要と考えられます。

①テレビ

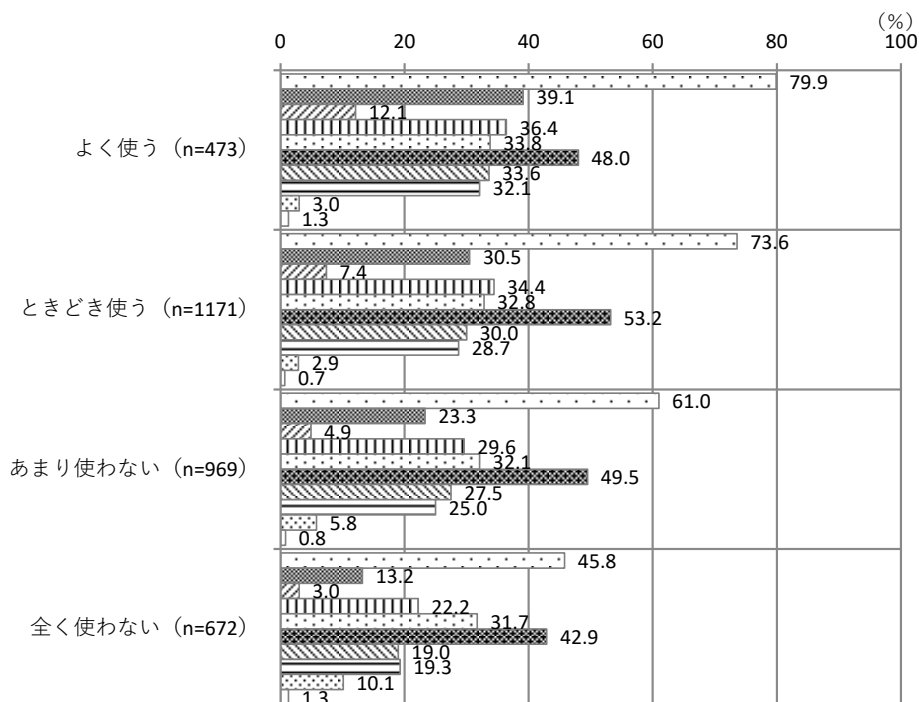
上段:度数 下段:%	合計	区の広報紙 の健診案内	地域の回覧 板や掲示板 の健診案内	地域のイベ ントや集ま りの場での 健診案内	病院内にあ る健診の案 内ポスター やリーフレ ット	はがきやS MS (ショート メッセージ) で健診案 内が届く	人間ドック の自己負担 額が無料に なる年齢が ある	健診を受け るとポイント がもらえる 「アスマイ ル」アプリ	がん検診と 特定健診を 同じ日に受 けられる会 場や実施機 関がある	知っている ものはない	無回答
よく使う	1208 100.0	843 69.8	358 29.6	90 7.5	385 31.9	365 30.2	597 49.4	368 30.5	367 30.4	56 4.6	15 1.2
ときどき使う	1311 100.0	888 67.7	353 26.9	81 6.2	422 32.2	428 32.6	645 49.2	349 26.6	339 25.9	52 4.0	19 1.4
あまり使わない	564 100.0	320 56.7	123 21.8	25 4.4	164 29.1	187 33.2	279 49.5	141 25.0	130 23.0	35 6.2	5 0.9
全く使わない	378 100.0	176 46.6	45 11.9	14 3.7	79 20.9	127 33.6	159 42.1	71 18.8	60 15.9	43 11.4	2 0.5



- 区の広報紙の健診案内
- 地域の回覧板や掲示板的健診案内
- ▨ 地域のイベントや集まりの場での健診案内
- ▩ 病院内にある健診の案内ポスターやリーフレット
- はがきやSMS (ショートメッセージ) で健診案内が届く
- 人間ドックの自己負担額が無料になる年齢がある
- ▨ 健診を受けるとポイントがもらえる「アスマイル」アプリ
- ▩ がん検診と特定健診を同じ日に受けられる会場や実施機関がある
- 知っているものはない
- 無回答

②新聞、雑誌、本

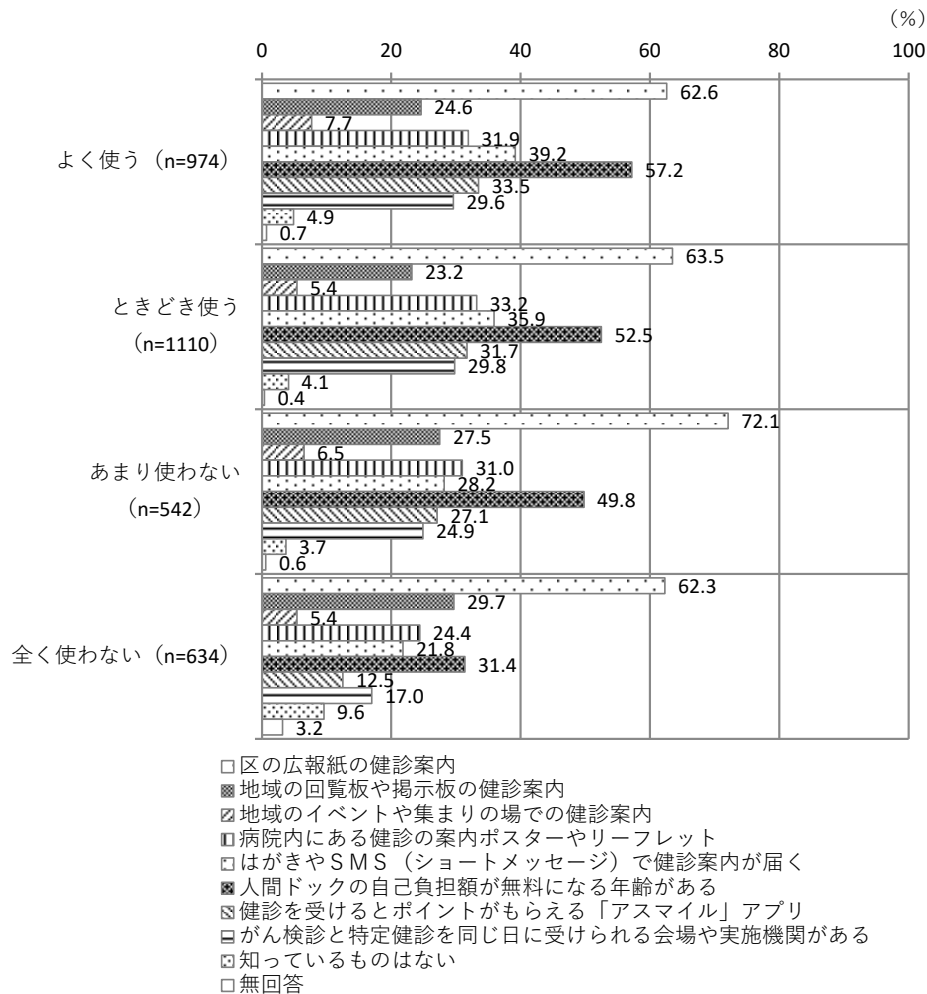
上段：度数 下段：%	合計	区の広報紙 の健診案内	地域の回覧 板や掲示 板の健診案内	地域のイベ ントや集ま りの場での 健診案内	病院内にあ る健診の案 内ポスター やリーフレ ット	はがきやS MS (ショート メッセー ジ)で健診 案内が届く	人間ドック の自己負担 額が無料に なる年齢が ある	健診を受け るとポイント がもらえる 「アスマイル」アプ リ	がん検診と 特定健診を 同じ日に受 けられる会 場や実施機 関がある	知っている ものはない	無回答
よく使う	473 100.0	378 79.9	185 39.1	57 12.1	172 36.4	160 33.8	227 48.0	159 33.6	152 32.1	14 3.0	6 1.3
ときどき使う	1171 100.0	862 73.6	357 30.5	87 7.4	403 34.4	384 32.8	623 53.2	351 30.0	336 28.7	34 2.9	8 0.7
あまり使わない	969 100.0	591 61.0	226 23.3	47 4.9	287 29.6	311 32.1	480 49.5	266 27.5	242 25.0	56 5.8	8 0.8
全く使わない	672 100.0	308 45.8	89 13.2	20 3.0	149 22.2	213 31.7	288 42.9	128 19.0	130 19.3	68 10.1	9 1.3



- 区の広報紙の健診案内
- ▨ 地域の回覧板や掲示板的の健診案内
- ▤ 地域のイベントや集まりの場での健診案内
- ▧ 病院内にある健診の案内ポスターやリーフレット
- ▩ はがきやSMS (ショートメッセージ)で健診案内が届く
- ▦ 人間ドックの自己負担額が無料になる年齢がある
- ▨ 健診を受けるとポイントがもらえる「アスマイル」アプリ
- ▩ がん検診と特定健診を同じ日に受けられる会場や実施機関がある
- 知っているものはない
- 無回答

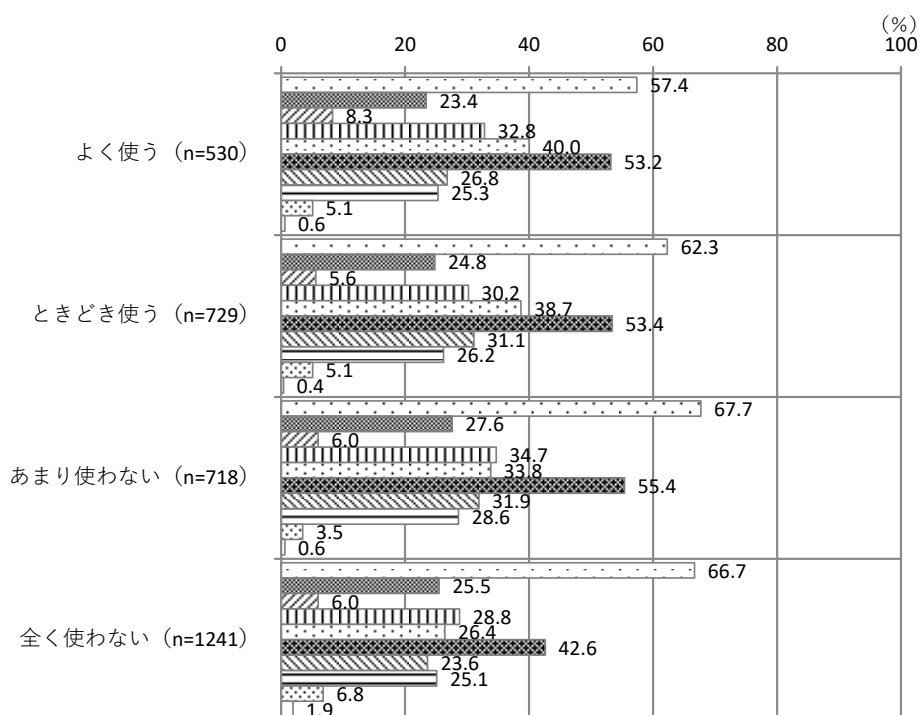
③インターネットのサイト

上段：度数 下段：%	合計	区の広報紙 の健診案内	地域の回覧 板や掲示板 の健診案内	地域のイベ ントや集ま りの場での 健診案内	病院内に ある健診の 案内ポスター やリーフレ ット	はがきやS MS (ショート メッセー ジ)で健診 案内が届く	人間ドック の自己負担 額が無料に なる年齢が ある	健診を受け るとポイント がもらえる 「アスマ イル」アプ リ	がん検診と 特定健診を 同じ日に受 けられる会 場や実施機 関がある	知っている ものはない	無回答
よく使う	974 100.0	610 62.6	240 24.6	75 7.7	311 31.9	382 39.2	557 57.2	326 33.5	288 29.6	48 4.9	7 0.7
ときどき使う	1110 100.0	705 63.5	258 23.2	60 5.4	368 33.2	399 35.9	583 52.5	352 31.7	331 29.8	45 4.1	4 0.4
あまり使わない	542 100.0	391 72.1	149 27.5	35 6.5	168 31.0	153 28.2	270 49.8	147 27.1	135 24.9	20 3.7	3 0.6
全く使わない	634 100.0	395 62.3	188 29.7	34 5.4	155 24.4	138 21.8	199 31.4	79 12.5	108 17.0	61 9.6	20 3.2



④SNSや動画共有サービス（Instagram、X（旧Twitter）、YouTubeなど）

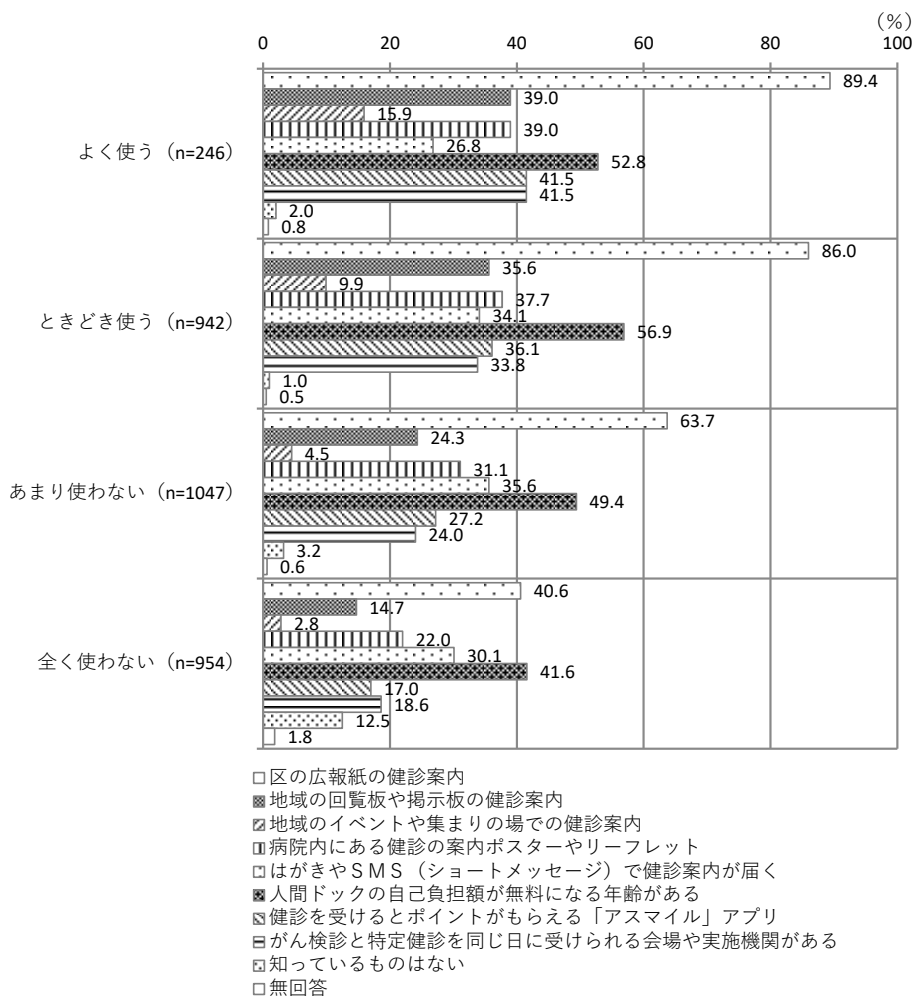
上段：度数 下段：%	合計	区の広報紙 の健診案内	地域の回覧 板や掲示板 の健診案内	地域のイベ ントや集ま りの場での 健診案内	病院内にあ る健診の案 内ポスター やリーフレ ット	はがきやS MS （ショート メッセー ジ）で健診 案内が届く	人間ドック の自己負担 額が無料に なる年齢が ある	健診を受け るとポイント がもらえる 「アスマ イル」アプ リ	がん検診と 特定健診を 同じ日に受 けられる会 場や実施機 関がある	知っている ものはない	無回答
よく使う	530 100.0	304 57.4	124 23.4	44 8.3	174 32.8	212 40.0	282 53.2	142 26.8	134 25.3	27 5.1	3 0.6
ときどき使う	729 100.0	454 62.3	181 24.8	41 5.6	220 30.2	282 38.7	389 53.4	227 31.1	191 26.2	37 5.1	3 0.4
あまり使わない	718 100.0	486 67.7	198 27.6	43 6.0	249 34.7	243 33.8	398 55.4	229 31.9	205 28.6	25 3.5	4 0.6
全く使わない	1241 100.0	828 66.7	316 25.5	74 6.0	357 28.8	328 26.4	529 42.6	293 23.6	312 25.1	85 6.8	23 1.9



- 区の広報紙の健診案内
- 地域の回覧板や掲示板の健診案内
- ▨ 地域のイベントや集まりの場での健診案内
- ▩ 病院内にある健診の案内ポスターやリーフレット
- はがきやSMS（ショートメッセージ）で健診案内が届く
- 人間ドックの自己負担額が無料になる年齢がある
- ▨ 健診を受けるとポイントがもらえる「アスマイル」アプリ
- ▩ がん検診と特定健診を同じ日に受けられる会場や実施機関がある
- 知っているものはない
- 無回答

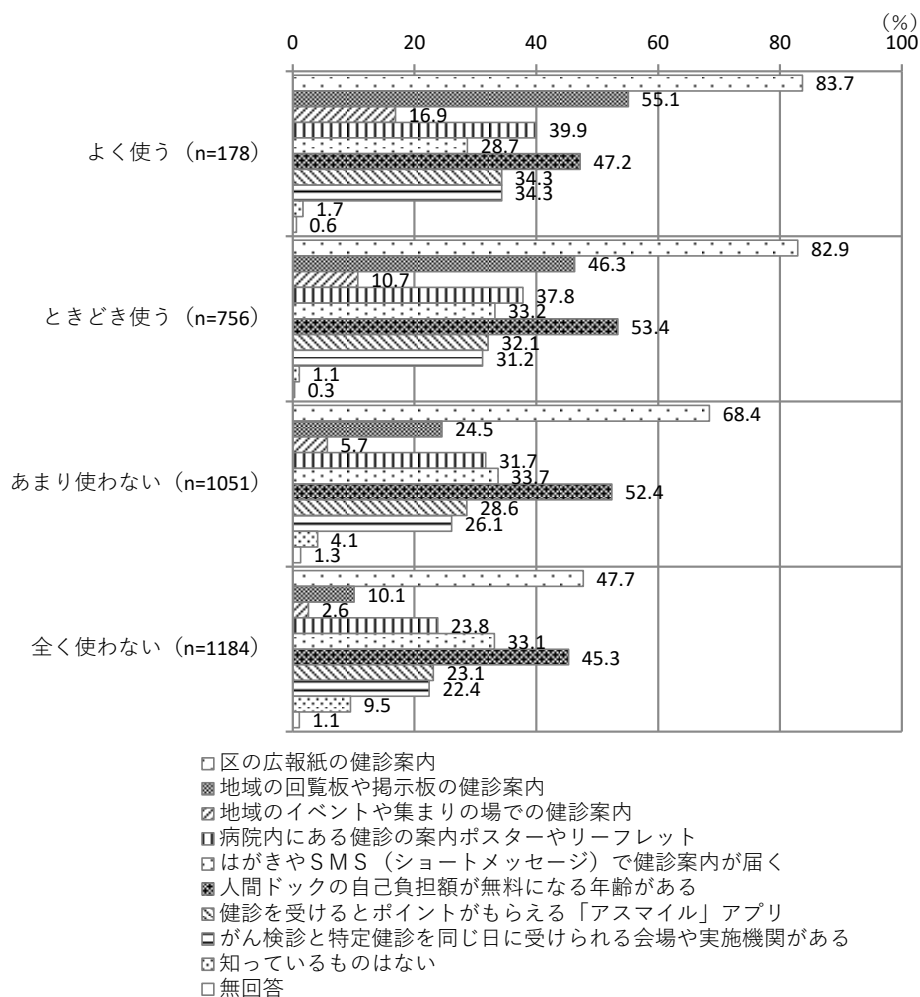
⑤広報誌

上段：度数 下段：%	合計	区の広報紙 の健診案内	地域の回覧 板や掲示 板の健診案内	地域のイ ベントや集 まりの場 での健診案内	病院内に ある健診 の案内ポ スターや リーフレ ット	はがきや SMS (ショ ートメ ッセー ジ)で健 診案内が 届く	人間ド ックの 自己負 担額が 無料に なる年 齢があ る	健診を 受け るとポ イン トがも らえ る「ア スマ イル」 アプ リ	がん検 診と 特定 健診 を同 じ日 に受 けら れる 会 場や 実 施 機 関 が あ る	知 っ て い る も の は な い	無 回 答
よく使う	246 100.0	220 89.4	96 39.0	39 15.9	96 39.0	66 26.8	130 52.8	102 41.5	102 41.5	5 2.0	2 0.8
ときどき使う	942 100.0	810 86.0	335 35.6	93 9.9	355 37.7	321 34.1	536 56.9	340 36.1	318 33.8	9 1.0	5 0.5
あまり使わない	1047 100.0	667 63.7	254 24.3	47 4.5	326 31.1	373 35.6	517 49.4	285 27.2	251 24.0	34 3.2	6 0.6
全く使わない	954 100.0	387 40.6	140 14.7	27 2.8	210 22.0	287 30.1	397 41.6	162 17.0	177 18.6	119 12.5	17 1.8



⑥地域の回覧板や掲示板

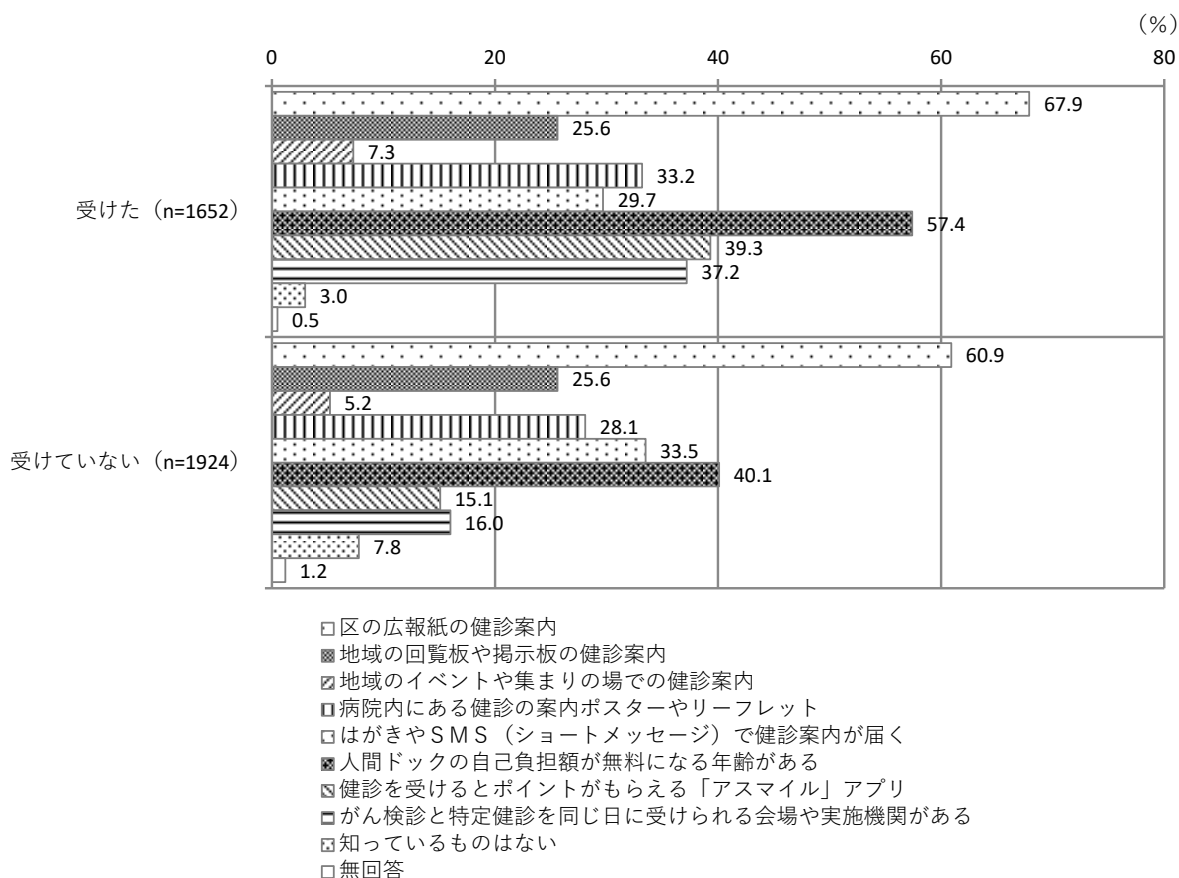
上段：度数 下段：%	合計	区の広報紙 の健診案内	地域の回覧 板や掲示板 の健診案内	地域のイベ ントや集ま りの場での 健診案内	病院内にあ る健診の案 内ポスター やリーフレ ット	はがきやS MS (ショート メッセー ジ)で健診 案内が届く	人間ドック の自己負担 額が無料に なる年齢が ある	健診を受け るとポイント がもらえる 「アスマ イル」アプ リ	がん検診と 特定健診を 同じ日に受 けられる会 場や実施機 関がある	知っている ものはない	無回答
よく使う	178 100.0	149 83.7	98 55.1	30 16.9	71 39.9	51 28.7	84 47.2	61 34.3	61 34.3	3 1.7	1 0.6
ときどき使う	756 100.0	627 82.9	350 46.3	81 10.7	286 37.8	251 33.2	404 53.4	243 32.1	236 31.2	8 1.1	2 0.3
あまり使わない	1051 100.0	719 68.4	258 24.5	60 5.7	333 31.7	354 33.7	551 52.4	301 28.6	274 26.1	43 4.1	14 1.3
全く使わない	1184 100.0	565 47.7	120 10.1	31 2.6	282 23.8	392 33.1	536 45.3	274 23.1	265 22.4	113 9.5	13 1.1



■ 令和6年度受診別

令和6年度の受診別にみると、健診を「受けた」人は「受けていない」人に比べて、「アスマイルアプリ」の認知率が39.3%と「受けていない」人の15.1%を大きく上回っています。「がん検診と特定健診を同じ日に受けられる」ことを知っている人も、「受けた」人が37.2%に対し「受けていない」人は16.0%と約2倍以上の差があります。「人間ドックの自己負担額が無料になる年齢がある」ことについても、「受けた」人が57.4%、「受けていない」人が40.1%と差が見られます。健診に関する取組みを幅広く知っている人ほど受診につながっている傾向があり、取組みの周知が受診率向上に効果的であることがうかがえます。

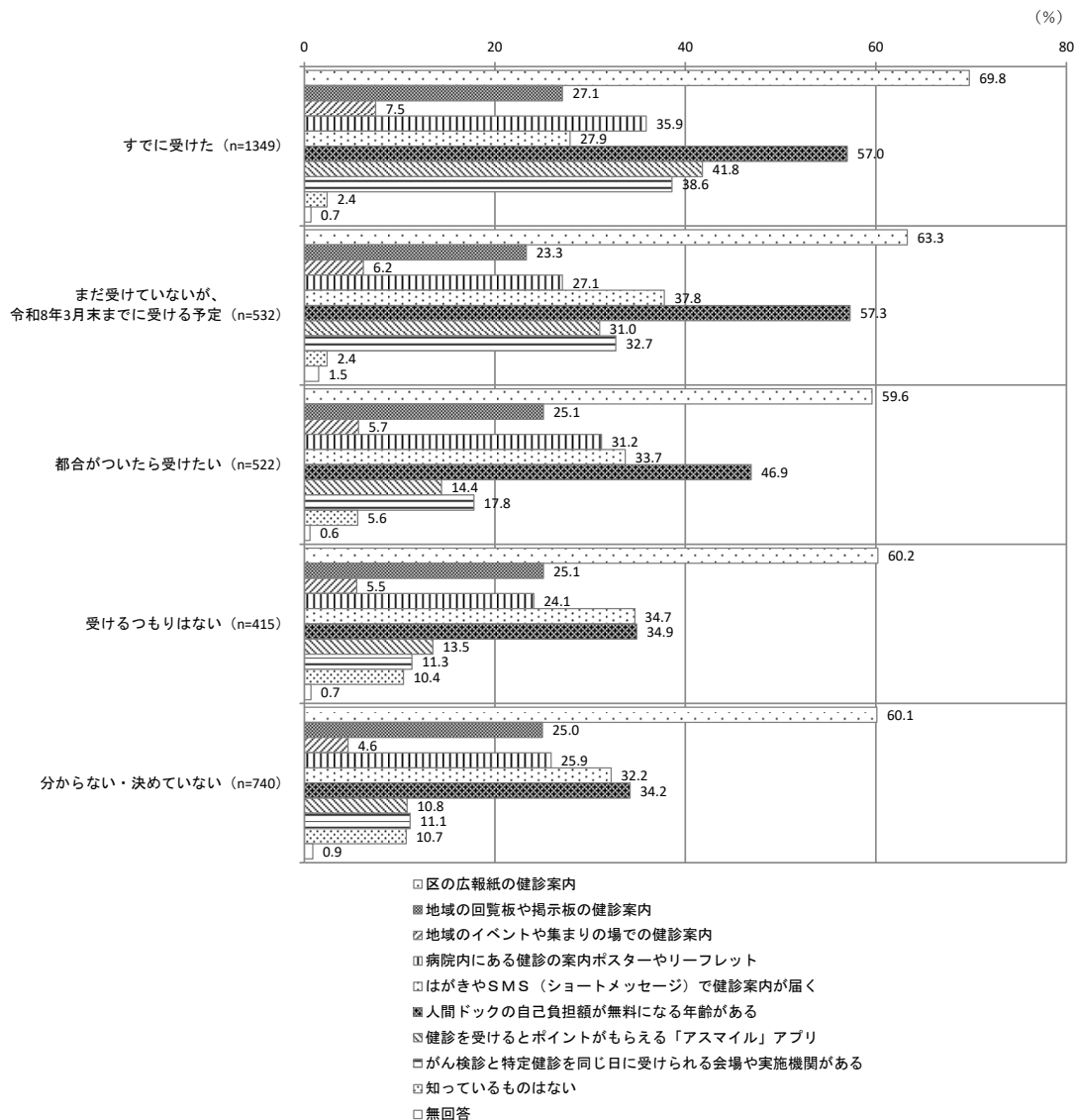
上段:度数 下段:%	合計	区の広報紙の健診案内	地域の回覧板や掲示板的の健診案内	地域のイベントや集まりの場での健診案内	病院内にある健診の案内ポスターやリーフレット	はがきやSMS（ショートメッセージ）で健診案内が届く	人間ドックの自己負担額が無料になる年齢がある	健診を受けるとポイントがもらえる「アスマイル」アプリ	がん検診と特定健診を同じ日に受けられる会場や実施機関がある	知っているものはない	無回答
受けた	1652 100.0	1121 67.9	423 25.6	120 7.3	549 33.2	491 29.7	949 57.4	650 39.3	615 37.2	49 3.0	9 0.5
受けていない	1924 100.0	1171 60.9	492 25.6	101 5.2	540 28.1	645 33.5	772 40.1	291 15.1	308 16.0	150 7.8	23 1.2



■ 令和7年度受診状況別

令和7年度の受診別にみると、「すでに受けた」や「受ける予定」では、アスマイルアプリや人間ドックの無料年齢など複数の取組みの認知率が高い一方、「受けるつもりはない」や「分からない・決めていない」では認知率が全体的に低く、「知っているものはない」がそれぞれ10.4%、10.7%と高くなっています。受診に前向きな人ほど取組みをよく知っており、逆に取組みを知らない人が受診に消極的な傾向が見られます。受診意向が定まっていない人への取組みの周知が、受診促進の鍵となると考えられます。

上段:度数 下段:%	合計	区の広報紙 の健診案内	地域の回覧 板や掲示板 の健診案内	地域のイベ ントや集ま りの場での 健診案内	病院内にあ る健診の案 内ポスター やリーフレ ット	はがきやS MS (ショート メッセージ) で健診 案内が届く	人間ドック の自己負担 額が無料に なる年齢が ある	健診を受け るとポイント がもらえる 「アスマイ ル」アプリ	がん検診と 特定健診を 同じ日に受 けられる会 場や実施機 関がある	知っている ものはない	無回答
すでに受けた	1349 100.0	941 69.8	365 27.1	101 7.5	484 35.9	377 27.9	769 57.0	564 41.8	521 38.6	33 2.4	10 0.7
まだ受けていない が、令和8年3月末 までに受ける予定	532 100.0	337 63.3	124 23.3	33 6.2	144 27.1	201 37.8	305 57.3	165 31.0	174 32.7	13 2.4	8 1.5
都合がいたら受け たい	522 100.0	311 59.6	131 25.1	30 5.7	163 31.2	176 33.7	245 46.9	75 14.4	93 17.8	29 5.6	3 0.6
受けるつもりはな い	415 100.0	250 60.2	104 25.1	23 5.5	100 24.1	144 34.7	145 34.9	56 13.5	47 11.3	43 10.4	3 0.7
分からない・決 めていない	740 100.0	445 60.1	185 25.0	34 4.6	192 25.9	238 32.2	253 34.2	80 10.8	82 11.1	79 10.7	7 0.9

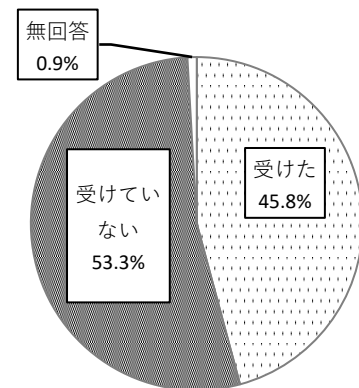


問12 令和6年度の国保健診の受診の有無

問12. あなたは、令和6年4月～令和7年3月の間に国保の健診（特定健診、1日人間ドック、健康づくり支援事業のいずれか）を受けましたか。（1つに○）

令和6年度の国保健診受診率は「受けていない」が53.3%と過半数を占めています。受診率のさらなる向上に向けた取組みの強化が引き続き重要な課題です。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	受けた	1652	45.8
2	受けていない	1924	53.3
	無回答	34	0.9
	N (%ベース)	3610	100

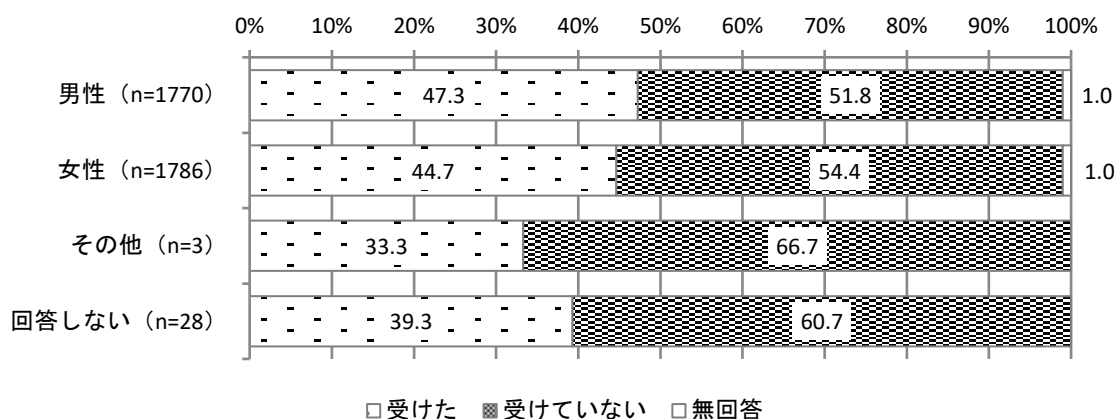


n=3610

■ 性別

性別にみると、健診を「受けた」割合は男性が47.3%、女性が44.7%と、ともに半数を下回っており、男性がやや高くなっています。「受けていない」は男性が51.8%、女性が54.4%と、女性がわずかに高い結果となりました。男女ともに受診率のさらなる向上が課題です。

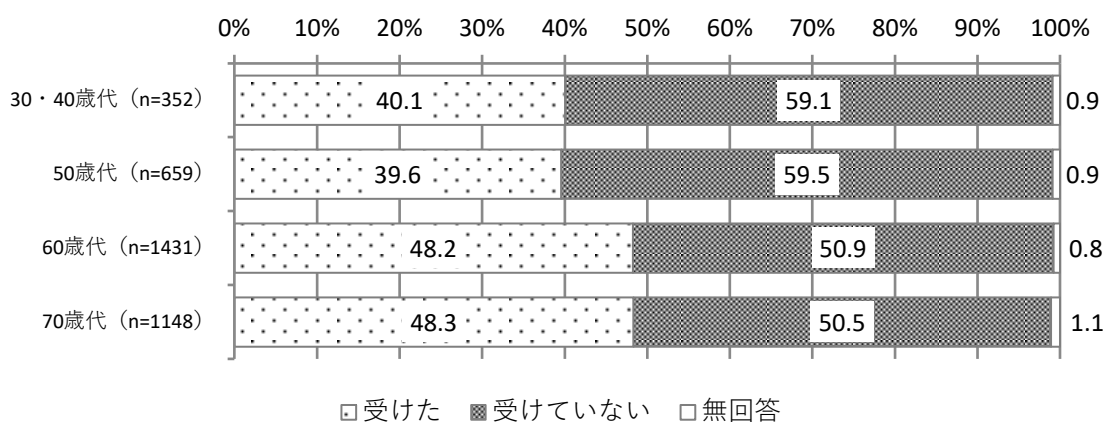
上段:度数 下段:%	合計	受けた	受けていない	無回答
男性	1770 100.0	837 47.3	916 51.8	17 1.0
女性	1786 100.0	798 44.7	971 54.4	17 1.0
その他	3 100.0	1 33.3	2 66.7	-
回答しない	28 100.0	11 39.3	17 60.7	-



■ 年代別

年代別にみると、健診を「受けた」割合は60歳代が48.2%、70歳代が48.3%と高齢層で約半数に達するのに対し、30・40歳代が40.1%、50歳代が39.6%と若い年代では約4割にとどまっており、若い年代での受診率向上が課題です。

上段：度数 下段：%	合計	受けた	受けていない	無回答
30・40歳代	352 100.0	141 40.1	208 59.1	3 0.9
50歳代	659 100.0	261 39.6	392 59.5	6 0.9
60歳代	1431 100.0	690 48.2	729 50.9	12 0.8
70歳代	1148 100.0	555 48.3	580 50.5	13 1.1



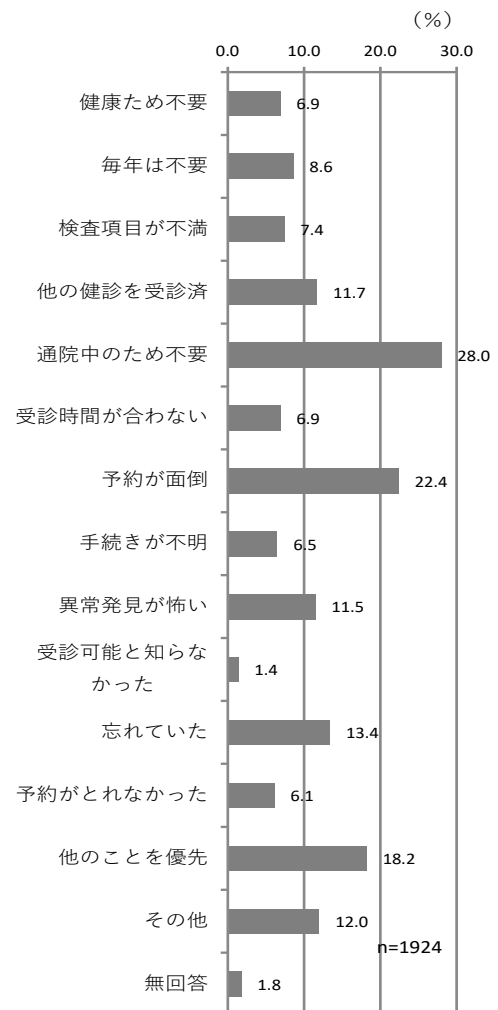
問13 健診を受けなかった理由

問12で「2. 受けていない」に○をつけた方におたずねします。

問13. 健診を受けていない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

受診しなかった理由として最も多いのは「定期通院中だから必要がない」で28.0%、次いで「健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒(予約が面倒)」は22.4%、「健診より優先したいことがあった」は18.2%と続きます。「忘れていた」も13.4%と一定割合あり、受診を意識はしているものの行動に至らない層が存在することがわかります。予約手続きの簡便化やリマインド施策が受診率向上に有効と考えられます。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	健康だから健診は不要	133	6.9
2	毎年受ける必要がない(数年ごとでよい)	166	8.6
3	受けたい検査項目が含まれていない	142	7.4
4	勤務先の健診や自費で健診を受けた	226	11.7
5	定期通院中だから必要がない	539	28.0
6	病院が開いている時間帯に受診できない	133	6.9
7	健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒(予約が面倒)	431	22.4
8	受け方や手続きが分からない	126	6.5
9	健診を受けて異常が見つかるのが怖い	221	11.5
10	健診が受けられることを知らなかった	27	1.4
11	忘れていた	258	13.4
12	受けるつもりだったが予約がとれなかった	117	6.1
13	健診より優先したいことがあった(仕事、家事、人付き合い、趣味など)	351	18.2
14	その他	231	12.0
	無回答	35	1.8
	N (%ベース)	1924	100



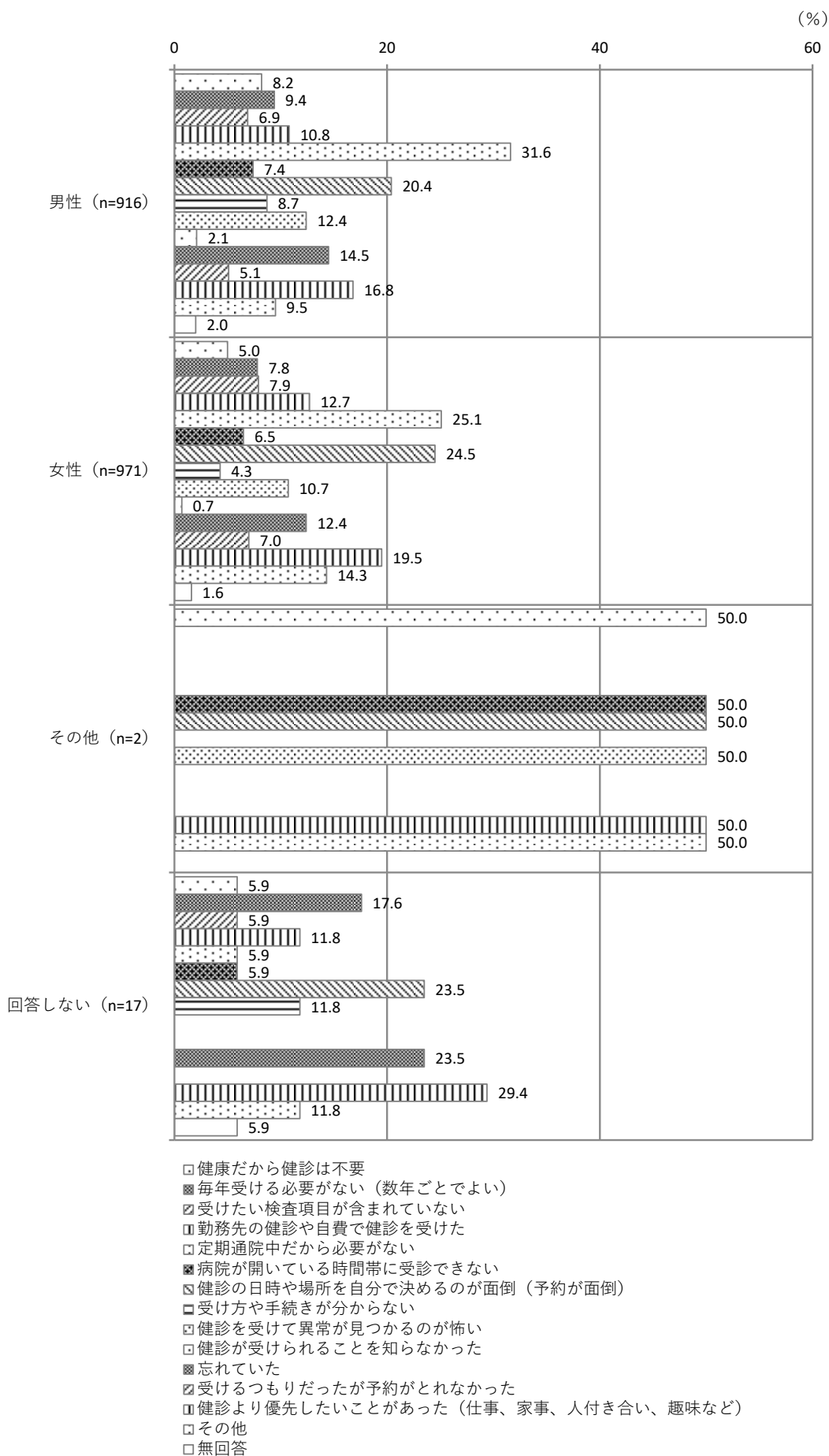
●「その他」自由回答

カテゴリ	件数	主な内容
医療対応中	52 件	通院・治療・入院・透析・訪問診療中で定期検査をしており健診と重複、主治医に不要と言われた、献血データで代替
手続き・受け方の問題	21 件	予約が取れない・待ちが長い、どこで受けるか分からない、案内や手続きが分かりにくい、希望の場所・日時で受けられない、近隣に実施医療機関が少ない
不信・不要感	20 件	医療・行政への不信、結果判定を信用しない、自然に任せたい、あえて受けたくない
費用・保険の問題	19 件	自己負担が高い、生活が苦しい、治療費が心配、保険の切替・別保険
後回し・失念・面倒	18 件	面倒、やる気が出ない、行く機会を逃した、なんとなく受けないまま
心理・体調負担	17 件	体調不良で行けない、感染が怖い、パニックや不安、恥ずかしい、採血・バリウム・腹囲/体重測定・放射線が嫌、健診後に具合が悪くなる
受診予定	16 件	年度内・数か月以内に受けるつもり、予約済（2～3 月、来年 2 月など）
受診済（別途健診含む）	16 件	健診・人間ドック・胃カメラ・がん検診等を受けた
時間・家庭事情	15 件	介護、家族の病気、葬儀、家事・仕事で余裕がない、忙しくてタイミングを逃した
移動・受診困難	11 件	障害・車いす・歩行困難・認知症などで一人で行けない
内容不満	7 件	余計な項目がある（メタボ指導不要など）、女医を選択できない、専門的ながん検診がない
その他	5 件	引越、妊娠、片付け等の個別事情

■ 性別

性別にみると、男女ともに「定期通院中だから必要がない」が最も高く（男性が31.6%、女性が25.1%）、次いで「健診より優先したいことがあった」（男性が16.8%、女性が19.5%）、「忘れていた」（男性が14.5%、女性が12.4%）が続いています。「健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒」は女性が24.5%であるのに対し男性が20.4%と、女性がやや高く、手続きの煩雑さが女性の受診の障壁になっている可能性があります。

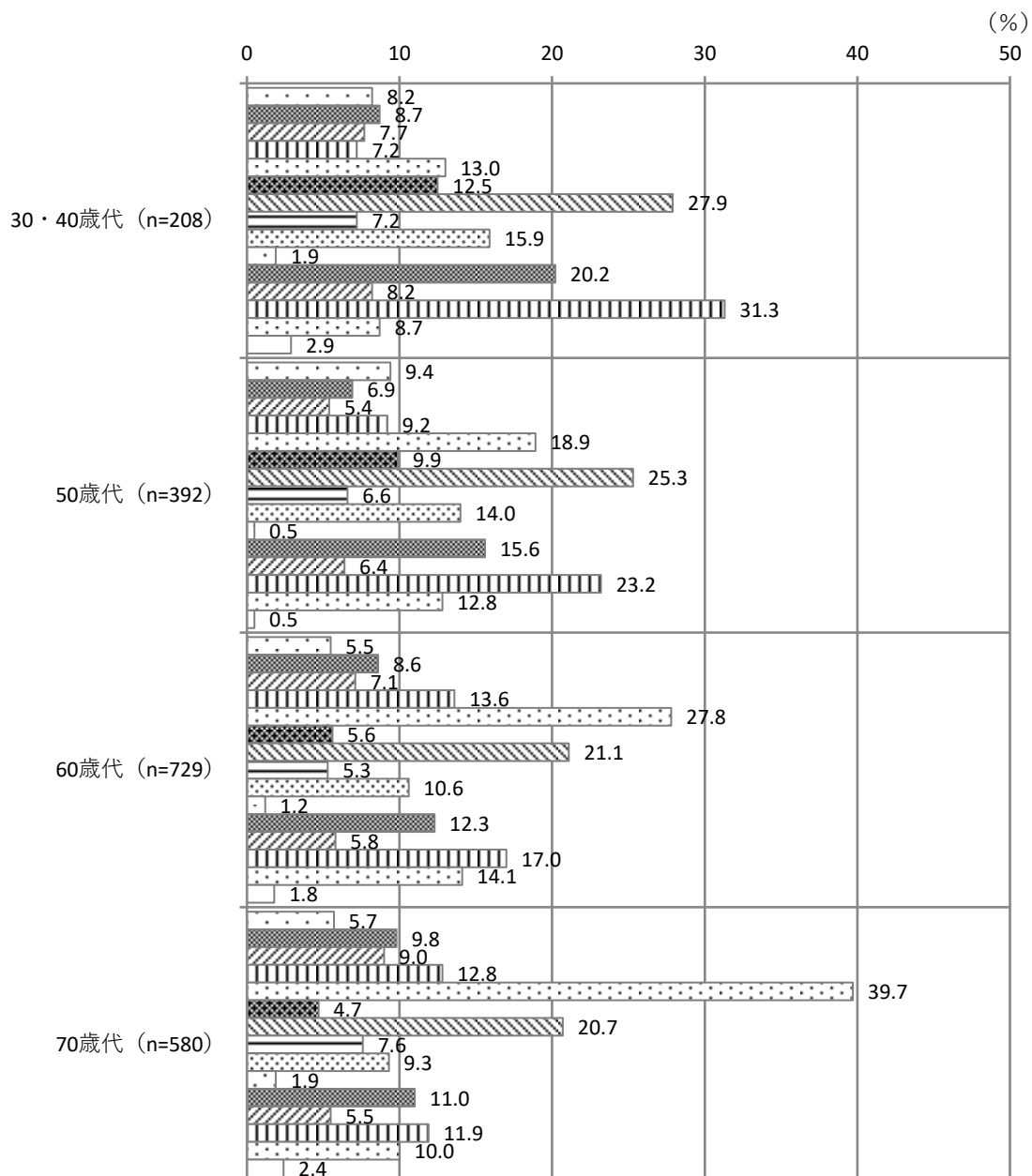
上段：度数 下段：%		健康だから健診は不要	毎年受ける必要がない（数年ごとでよい）	受けたい検査項目が含まれていない	勤務先の健診や自費で健診を受けた	定期通院中だから必要がない	病院が開いている時間帯に受診できない	健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒（予約が面倒）	受け方や手続きが分からない	健診を受けて異常が見つかるのが怖い	健診が受けられることを知らなかった	忘れていた	受けるつもりだったが予約がとれなかった	健診より優先したいことがあった（仕事、家事、人付き合い、趣味など）	その他	無回答
	合計															
男性	916 100.0	75 8.2	86 9.4	63 6.9	99 10.8	289 31.6	68 7.4	187 20.4	80 8.7	114 12.4	19 2.1	133 14.5	47 5.1	154 16.8	87 9.5	18 2.0
女性	971 100.0	49 5.0	76 7.8	77 7.9	123 12.7	244 25.1	63 6.5	238 24.5	42 4.3	104 10.7	7 0.7	120 12.4	68 7.0	189 19.5	139 14.3	16 1.6
その他	2 100.0	1 50.0	- -	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -
回答しない	17 100.0	1 5.9	3 17.6	1 5.9	2 11.8	1 5.9	1 5.9	4 23.5	2 11.8	- -	- -	4 23.5	- -	5 29.4	2 11.8	1 5.9



■ 年代別

年代別にみると、「定期通院中だから必要がない」は年代とともに上昇し、30・40歳代が13.0%であるのに対し70歳代では39.7%と高く、高齢層の主要な未受診理由となっています。「健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒」は30・40歳代が27.9%、50歳代が25.3%と若い年代で高く、手続きの煩雑さが若・中年層の障壁になっています。「健診より優先したいことがあった」は30・40歳代が31.3%と最も高く、仕事や家事など生活上の優先事項が受診を妨げている実態がうかがえます。「健診を受けて異常が見つかるのが怖い」は30・40歳代が15.9%、50歳代が14.0%と若い年代で比較的高く、受診への心理的なハードルとなっています。「忘れていた」は30・40歳代が20.2%と最も高く、若い年代へのリマインドの仕組みが有効と考えられます。

上段:度数 下段:%		健康だから健診は不要	毎年受ける必要がない（数年ごとでよい）	受けたい検査項目が含まれていない	勤務先の健診や自費で健診を受けた	定期通院中だから必要がない	病院が開いている時間帯に受診できない	健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒（予約が面倒）	受け方や手続きが分からない	健診を受けて異常が見つかるのが怖い	健診が受けられることを知らなかった	忘れていた	受けるつもりだったが予約がとれなかった	健診より優先したいことがあった（仕事、家事、人付き合い、趣味など）	その他	無回答
	合計															
30・40歳代	208 100.0	17 8.2	18 8.7	16 7.7	15 7.2	27 13.0	26 12.5	58 27.9	15 7.2	33 15.9	4 1.9	42 20.2	17 8.2	65 31.3	18 8.7	6 2.9
50歳代	392 100.0	37 9.4	27 6.9	21 5.4	36 9.2	74 18.9	39 9.9	99 25.3	26 6.6	55 14.0	2 0.5	61 15.6	25 6.4	91 23.2	50 12.8	2 0.5
60歳代	729 100.0	40 5.5	63 8.6	52 7.1	99 13.6	203 27.8	41 5.6	154 21.1	39 5.3	77 10.6	9 1.2	90 12.3	42 5.8	124 17.0	103 14.1	13 1.8
70歳代	580 100.0	33 5.7	57 9.8	52 9.0	74 12.8	230 39.7	27 4.7	120 20.7	44 7.6	54 9.3	11 1.9	64 11.0	32 5.5	69 11.9	58 10.0	14 2.4



- ☐ 健康だから健診は不要
- ☒ 毎年受ける必要がない（数年ごとでよい）
- ☒ 受けたい検査項目が含まれていない
- ☐ 勤務先の健診や自費で健診を受けた
- ☐ 定期通院中だから必要がない
- ☒ 病院が開いている時間帯に受診できない
- ☒ 健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒（予約が面倒）
- ☐ 受け方や手続きが分からない
- ☐ 健診を受けて異常が見つかるのが怖い
- ☐ 健診が受けられることを知らなかった
- ☒ 忘れていた
- ☒ 受けるつもりだったが予約がとれなかった
- ☐ 健診より優先したいことがあった（仕事、家事、人付き合い、趣味など）
- ☐ その他
- ☐ 無回答

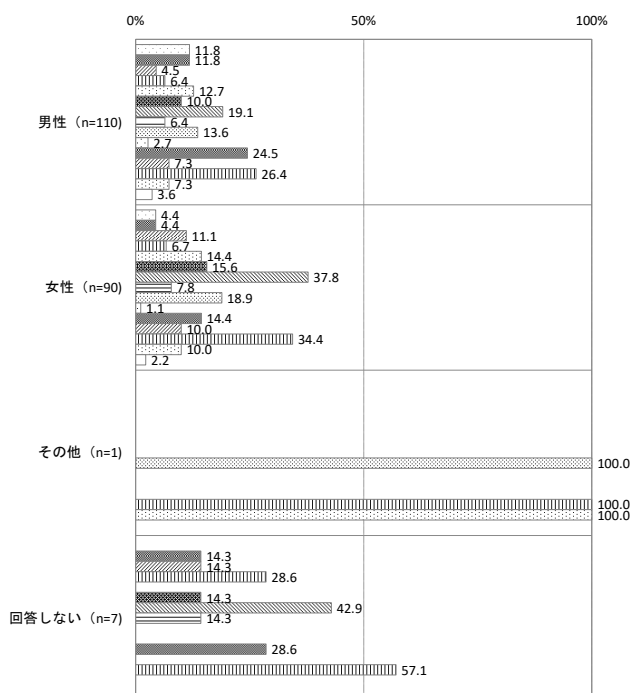
■ 年代別／性別

年代別／性別にみると、未受診の理由に明確な傾向の違いが見られます。「定期通院中だから必要がない」は年代が上がるにつれて高くなる傾向があり、70歳代では男性が41.3%、女性が38.4%と最も高く、30・40歳代の男性12.7%、女性14.4%と大きな差があります。一方、「健診より優先したいことがあった」は若い年代ほど高く、30・40歳代では男性が26.4%、女性が34.4%と高水準である一方、70歳代では男性が12.5%、女性が11.4%と低くなっています。「健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒（予約が面倒）」は全年代で比較的高く、30・40歳代女性が37.8%と最も高くなっています。「忘れていた」は30・40歳代男性が24.5%と特に高く、若い男性へのリマインドの重要性がうかがえます。「病院が開いている時間帯に受診できない」は30・40歳代女性が15.6%、50歳代男性が11.3%と就労世代でやや高く、時間帯の拡充が有効と考えられます。若い年代には予約の簡便化・リマインド・時間帯の拡充が、高齢層には通院時に健診を受けられる環境整備が、それぞれ受診促進の鍵となると考えられます。

上段：度数 下段：%		健康だから健診は不要	毎年受ける必要がない（数年ごとでよい）	受けたい検査項目が含まれていない	勤務先の健診や自費で健診を受けた	定期通院中だから必要がない	病院が開いている時間帯に受診できない	健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒（予約が面倒）	受け方や手続きが分からない	健診を受けて異常が見つかるのが怖い	健診が受けられることを知らなかった	忘れていた	受けるつもりだったが予約がとれなかった	い、趣味など） 健診より優先したいことがあった（仕事、家事、人付き合いなど）	その他	無回答
合計		133 100.0	166 100.0	142 100.0	226 100.0	539 100.0	133 100.0	431 100.0	126 100.0	221 100.0	27 100.0	258 100.0	117 100.0	351 100.0	231 100.0	35 100.0
30・40歳代	男性	110 100.0	13 11.8	13 11.8	5 4.5	7 6.4	14 12.7	11 10.0	7 6.4	15 13.6	3 2.7	27 24.5	8 7.3	29 26.4	8 7.3	4 3.6
	女性	90 100.0	4 4.4	4 4.4	10 11.1	6 6.7	13 14.4	14 15.6	7 7.8	17 18.9	1 1.1	13 14.4	9 10.0	31 34.4	9 10.0	2 2.2
	その他	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-
	回答しない	7 100.0	-	1 14.3	1 14.3	2 28.6	-	1 14.3	3 42.9	1 14.3	-	2 28.6	-	4 57.1	-	-
	合計	204 100.0	21 10.3	18 8.8	9 4.4	19 9.3	44 21.6	23 11.3	22 10.8	31 15.2	1 0.5	37 18.1	11 5.4	43 21.1	25 12.3	2 1.0
50歳代	男性	182 100.0	14 7.7	7 3.8	12 6.6	17 9.3	30 16.5	15 8.2	50 27.5	4 13.2	24 13.2	1 0.5	23 12.6	14 25.8	25 13.7	-
	女性	182 100.0	14 7.7	7 3.8	12 6.6	17 9.3	30 16.5	15 8.2	50 27.5	4 13.2	24 13.2	1 0.5	23 12.6	14 25.8	25 13.7	-
	その他	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない	4 100.0	-	2 50.0	-	-	-	-	1 25.0	-	-	1 25.0	-	1 25.0	-	-
	合計	331 100.0	20 6.0	27 8.2	26 7.9	35 10.6	119 36.0	20 6.0	60 18.1	25 7.6	42 12.7	6 1.8	39 11.8	18 5.4	48 14.5	5 1.5
60歳代	男性	392 100.0	19 4.8	36 9.2	26 6.6	64 16.3	83 21.2	21 5.4	94 24.0	13 3.3	35 8.9	3 0.8	50 12.8	24 6.1	76 19.4	7 1.8
	女性	392 100.0	19 4.8	36 9.2	26 6.6	64 16.3	83 21.2	21 5.4	94 24.0	13 3.3	35 8.9	3 0.8	50 12.8	24 6.1	76 19.4	7 1.8
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない	6 100.0	1 16.7	-	-	-	1 16.7	-	1 16.7	-	-	1 16.7	-	-	2 33.3	1 16.7
	合計	271 100.0	21 7.7	28 10.3	23 8.5	38 14.0	112 41.3	14 5.2	59 21.8	26 9.6	26 9.6	9 3.3	30 11.1	10 3.7	34 12.5	7 2.6
70歳代	男性	307 100.0	12 3.9	29 9.4	29 9.4	36 11.7	118 38.4	13 4.2	60 19.5	18 5.9	28 9.1	2 0.7	34 11.1	21 6.8	35 11.4	7 2.3
	女性	307 100.0	12 3.9	29 9.4	29 9.4	36 11.7	118 38.4	13 4.2	60 19.5	18 5.9	28 9.1	2 0.7	34 11.1	21 6.8	35 11.4	7 2.3
	その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	回答しない	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	271 100.0	21 7.7	28 10.3	23 8.5	38 14.0	112 41.3	14 5.2	59 21.8	26 9.6	26 9.6	9 3.3	30 11.1	10 3.7	34 12.5	7 2.6

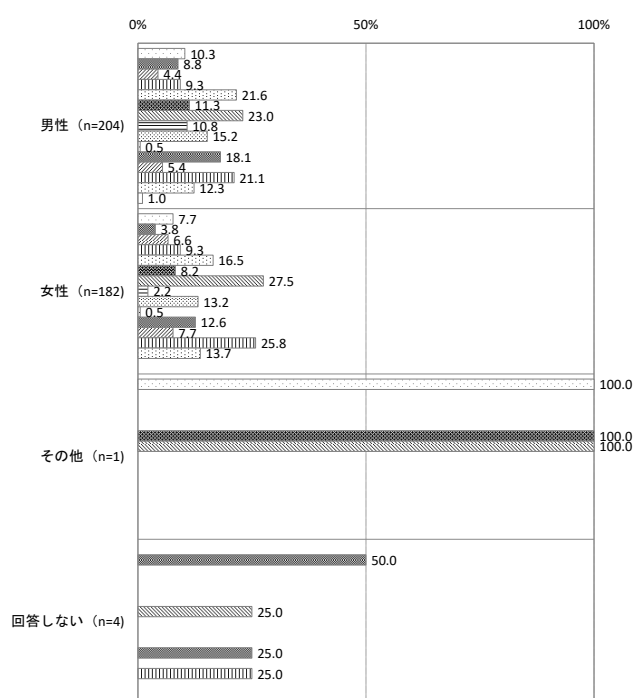
30・40歳代

(%)



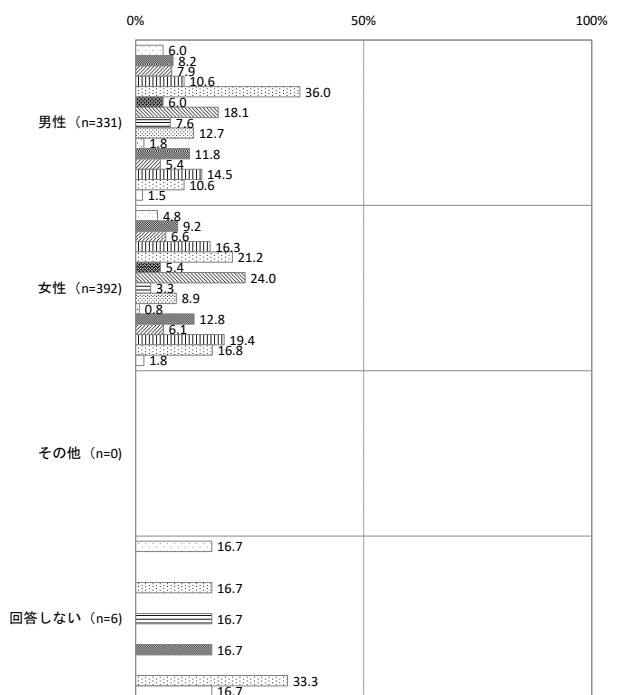
50歳代

(%)



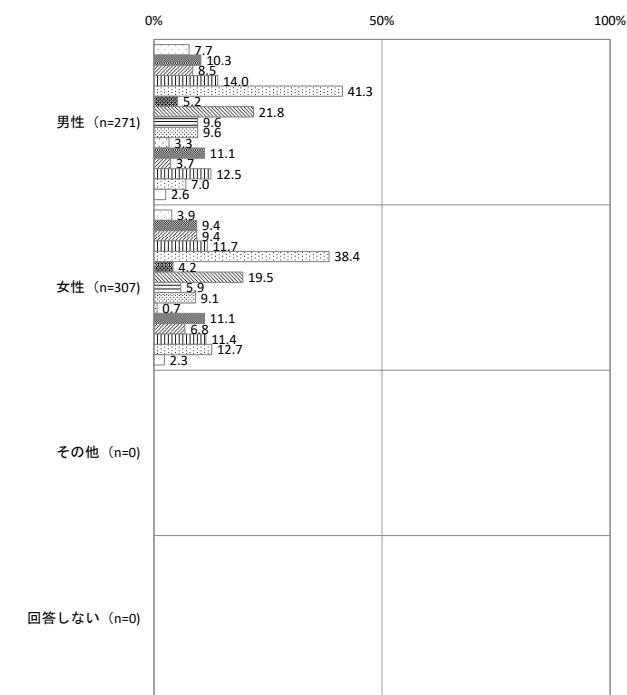
60歳代

(%)



70歳代

(%)



- ☐ 健康だから健診は不要
- ☒ 受たい検査項目が含まれていない
- ☒ 定期通院中だから必要がない
- ☒ 健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒（予約が面倒）
- ☒ 健診を受けて異常が見つかるのが怖い
- ☒ 忘れていた
- ☒ 健診より優先したいことがあった（仕事、家事、人付き合い、趣味など）
- ☐ 無回答

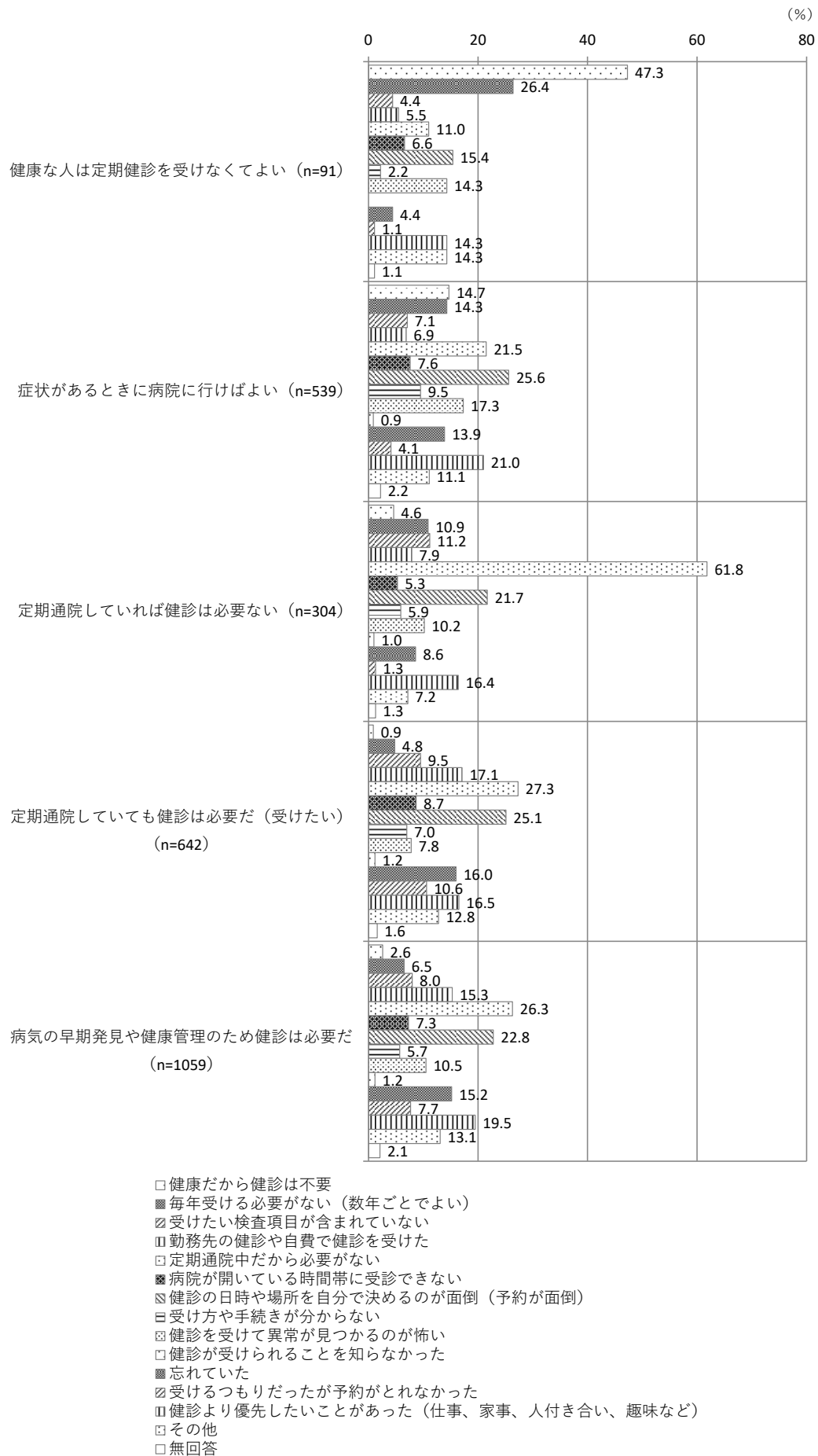
- ☒ 毎年受ける必要がない（数年ごとでよい）
- ☒ 勤務先の健診や自費で健診を受けた
- ☒ 病院が開いている時間帯に受診できない
- ☒ 受け方や手続きが分からない
- ☒ 健診が受けられることを知らなかった
- ☒ 受けるつもりだったが予約がとれなかった
- ☒ その他

■ 健診の必要性別

健診の必要性別にみると、「健康な人は定期健診を受けなくてよい」と考える人は、「健康だから健診は不要」が47.3%と突出して高く、健康意識そのものが受診の障壁となっています。「症状があるときに病院に行けばよい」と考える人は、「健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒」が25.6%、「定期通院中だから必要がない」が21.5%、「健診より優先したいことがあった」が21.0%と、受動的な健康管理の意識が未受診につながっている様子がうかがえます。「定期通院していれば健診は必要ない」と考える人は、「定期通院中だから必要がない」が61.8%と非常に高く、通院と健診を同等のものと捉えている人が多いことがわかります。一方、「定期通院していても健診は必要だ（受けたい）」と考える人は、「勤務先の健診や自費で健診を受けた」が17.1%、「受けるつもりだったが予約がとれなかった」が10.6%と高く、受診意欲はあるものの環境的な障壁が妨げになっている実態がうかがえます。

「病気の早期発見や健康管理のため健診は必要だ」と考える人も未受診となっており、「定期通院中だから必要がない」が26.3%、「健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒」が22.8%、「健診より優先したいことがあった」が19.5%と高くなっています。健診の必要性を認識しながらも、通院や生活上の優先事項、手続きの煩雑さが受診を妨げており、必要性の認識だけでは受診行動につながらない実態が示されています。受診意欲のある人に対しては、予約のしやすさや受診機会の拡充など、環境面での改善が受診率向上に有効と考えられます。

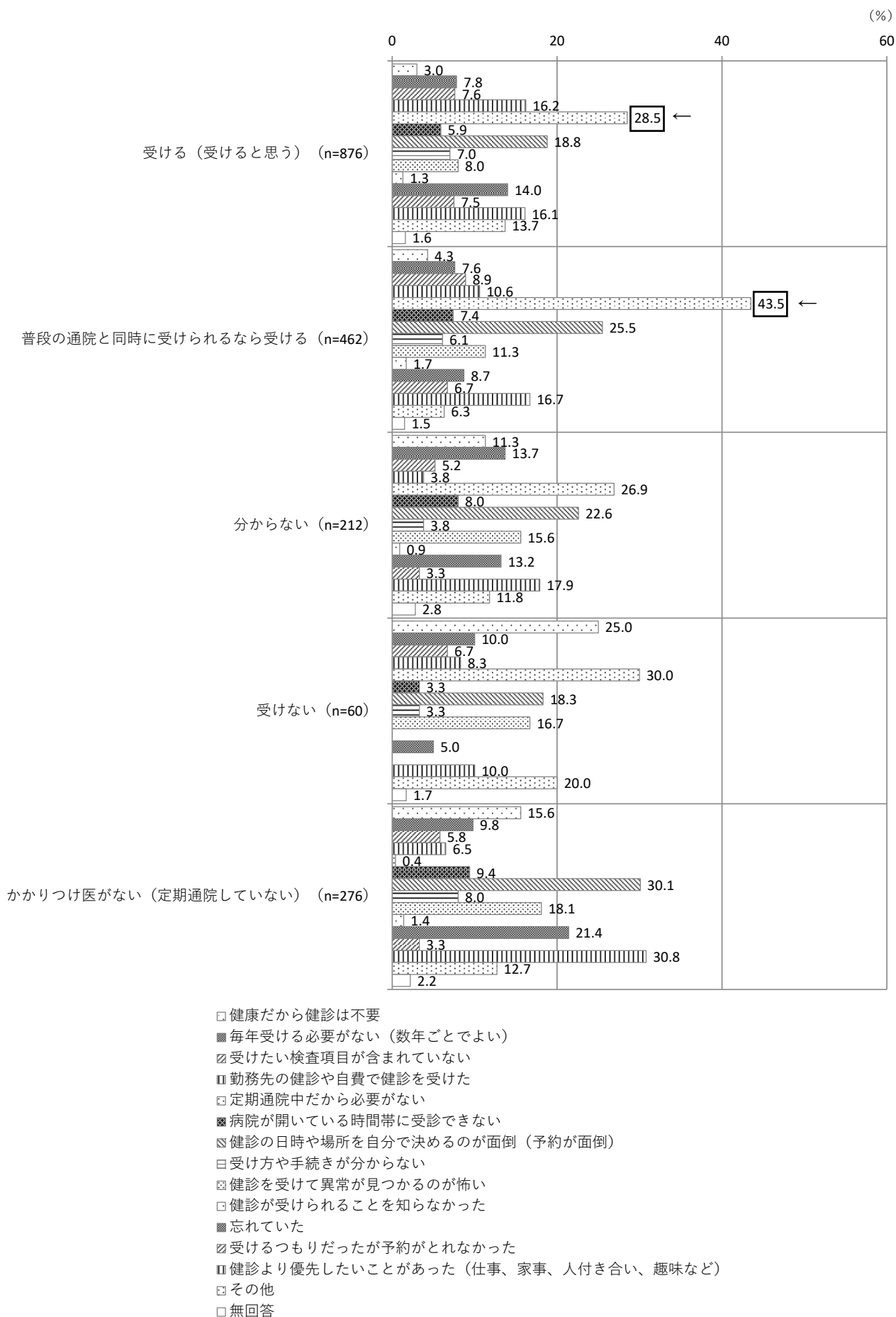
上段：度数 下段：%		健康だから健診は不要	毎年受ける必要がない（数年ごとでよい）	受けたい検査項目が含まれていない	勤務先の健診や自費で健診を受けた	定期通院中だから必要がない	病院が開いている時間帯に受診できない	健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒（予約が面倒）	受け方や手続きが分からない	健診を受けて異常が見つかるのが怖い	健診が受けられることを知らなかった	忘れていた	受けるつもりだったが予約がとれなかった	い、健診より優先したいことがあった（仕事、家事、人付き合い、趣味など）	その他	無回答
	合計															
健康な人は定期健診を受けなくてよい	91 100.0	43 47.3	24 26.4	4 4.4	5 5.5	10 11.0	6 6.6	14 15.4	2 2.2	13 14.3	— —	4 4.4	1 1.1	13 14.3	13 14.3	1 1.1
症状があるときに病院に行けばよい	539 100.0	79 14.7	77 14.3	38 7.1	37 6.9	116 21.5	41 7.6	138 25.6	51 9.5	93 17.3	5 0.9	75 13.9	22 4.1	113 21.0	60 11.1	12 2.2
定期通院していれば健診は必要ない	304 100.0	14 4.6	33 10.9	34 11.2	24 7.9	188 61.8	16 5.3	66 21.7	18 5.9	31 10.2	3 1.0	26 8.6	4 1.3	50 16.4	22 7.2	4 1.3
定期通院していても健診は必要だ（受けたい）	642 100.0	6 0.9	31 4.8	61 9.5	110 17.1	175 27.3	56 8.7	161 25.1	45 7.0	50 7.8	8 1.2	103 16.0	68 10.6	106 16.5	82 12.8	10 1.6
病気の早期発見や健康管理のため健診は必要だ	1059 100.0	28 2.6	69 6.5	85 8.0	162 15.3	278 26.3	77 7.3	241 22.8	60 5.7	111 10.5	13 1.2	161 15.2	82 7.7	206 19.5	139 13.1	22 2.1



■ かかりつけ医からの勧めと未受診理由の関係

かかりつけ医から健診を勧められた場合の受診意向別にみると、未受診の理由に明確な違いが見られます。「受ける（受けると思う）」では「定期通院中だから必要がない」が28.5%と最も高く、次いで「勤務先の健診や自費で健診を受けた」が16.2%、「健診より優先したいことがあった」が16.1%と続いています。医師から勧められれば受診する意欲はあるものの、現状では通院で十分と考えている人が多いことがわかります。「普段の通院と同時に受けられるなら受ける」では「定期通院中だから必要がない」が43.5%と最も高く、通院のついでであれば受診のハードルが下がることを示しており、通院時に健診を受けられる環境整備が有効と考えられます。「受けない」では「定期通院中だから必要がない」が30.0%、「健康だから健診は不要」が25.0%、「健診を受けて異常が見つかるのが怖い」が16.7%と高く、健康過信や受診への心理的抵抗が強い傾向があります。「かかりつけ医がない（定期通院していない）」では「健診より優先したいことがあった」が30.8%、「健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒」が30.1%、「忘れていた」が21.4%と高く、医療機関との接点がないことで受診のきっかけが得られにくい実態がうかがえます。この層には、予約の簡便化やリマインドの仕組みなど、受診のきっかけづくりが特に重要といえます。

上段：度数 下段：%		健康 だから 健診は 不要	毎年 受ける 必要が ない（ 数年ご とでよ い）	受け たい 検査 項目 が含 まれ てい ない	勤 務 先 の 健 診 や 自 費 で 健 診 を 受 け た	定 期 通 院 中 だ か ら 必 要 が な い	病 院 が 開 い て い る 時 間 帯 に 受 診 で き な い	健 診 の 日 時 や 場 所 を 自 分 で 決 め る の が 面 倒 （ 予 約 が 面 倒 ）	受 け 方 や 手 続 き が 分 か ら な い	健 診 を 受 け て 異 常 が 見 つ か る の が 怖 い	健 診 が 受 け ら れ る こ と を 知 ら な か つ た	忘 れ て い た	受 け る つ も り だ つ た が 予 約 が と れ な か つ た	健 診 よ り 優 先 し た い こ と が あ つ た （ 仕 事 、 家 事 、 人 付 き 合 い 、 趣 味 な ど ）	そ の 他	無 回 答
	合計															
受ける（受ける と思う）	876 100.0	26 3.0	68 7.8	67 7.6	142 16.2	250 28.5	52 5.9	165 18.8	61 7.0	70 8.0	11 1.3	123 14.0	66 7.5	141 16.1	120 13.7	14 1.6
普段の通院と同 時に受けられる なら受ける	462 100.0	20 4.3	35 7.6	41 8.9	49 10.6	201 43.5	34 7.4	118 25.5	28 6.1	52 11.3	8 1.7	40 8.7	31 6.7	77 16.7	29 6.3	7 1.5
分からない	212 100.0	24 11.3	29 13.7	11 5.2	8 3.8	57 26.9	17 8.0	48 22.6	8 3.8	33 15.6	2 0.9	28 13.2	7 3.3	38 17.9	25 11.8	6 2.8
受けない	60 100.0	15 25.0	6 10.0	4 6.7	5 8.3	18 30.0	2 3.3	11 18.3	2 3.3	10 16.7	— —	3 5.0	— —	6 10.0	12 20.0	1 1.7
かかりつけ医が ない（定期通院 していない）	276 100.0	43 15.6	27 9.8	16 5.8	18 6.5	1 0.4	26 9.4	83 30.1	22 8.0	50 18.1	4 1.4	59 21.4	9 3.3	85 30.8	35 12.7	6 2.2

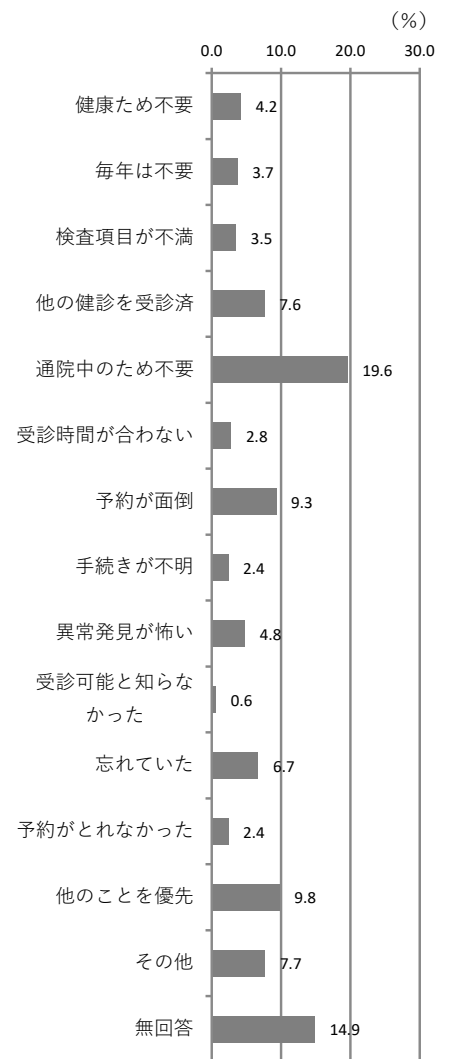


問13-1 最も当てはまる理由

問13-1. 問13で○をつけたうち、最もあてはまる理由の番号を1つ書いてください。

最もあてはまる理由では「定期通院中だから必要がない」が19.6%で最多となっています。次いで「健診より優先したいことがあった」が9.8%、「健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒」が9.3%と続きます。定期通院者への健診の意義に関する啓発と、受診しやすい環境整備が優先的な対策として示唆されます。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	健康だから健診は不要	80	4.2
2	毎年受ける必要がない（数年ごとでよい）	71	3.7
3	受けたい検査項目が含まれていない	68	3.5
4	勤務先の健診や自費で健診を受けた	146	7.6
5	定期通院中だから必要がない	377	19.6
6	病院が開いている時間帯に受診できない	53	2.8
7	健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒（予約が面倒）	179	9.3
8	受け方や手続きが分からない	47	2.4
9	健診を受けて異常が見つかるのが怖い	93	4.8
10	健診が受けられることを知らなかった	11	0.6
11	忘れていた	128	6.7
12	受けるつもりだったが予約がとれなかった	47	2.4
13	健診より優先したいことがあった（仕事、家事、人付き合い、趣味など）	189	9.8
14	その他	148	7.7
	無回答	287	14.9
	N（%）	1924	100

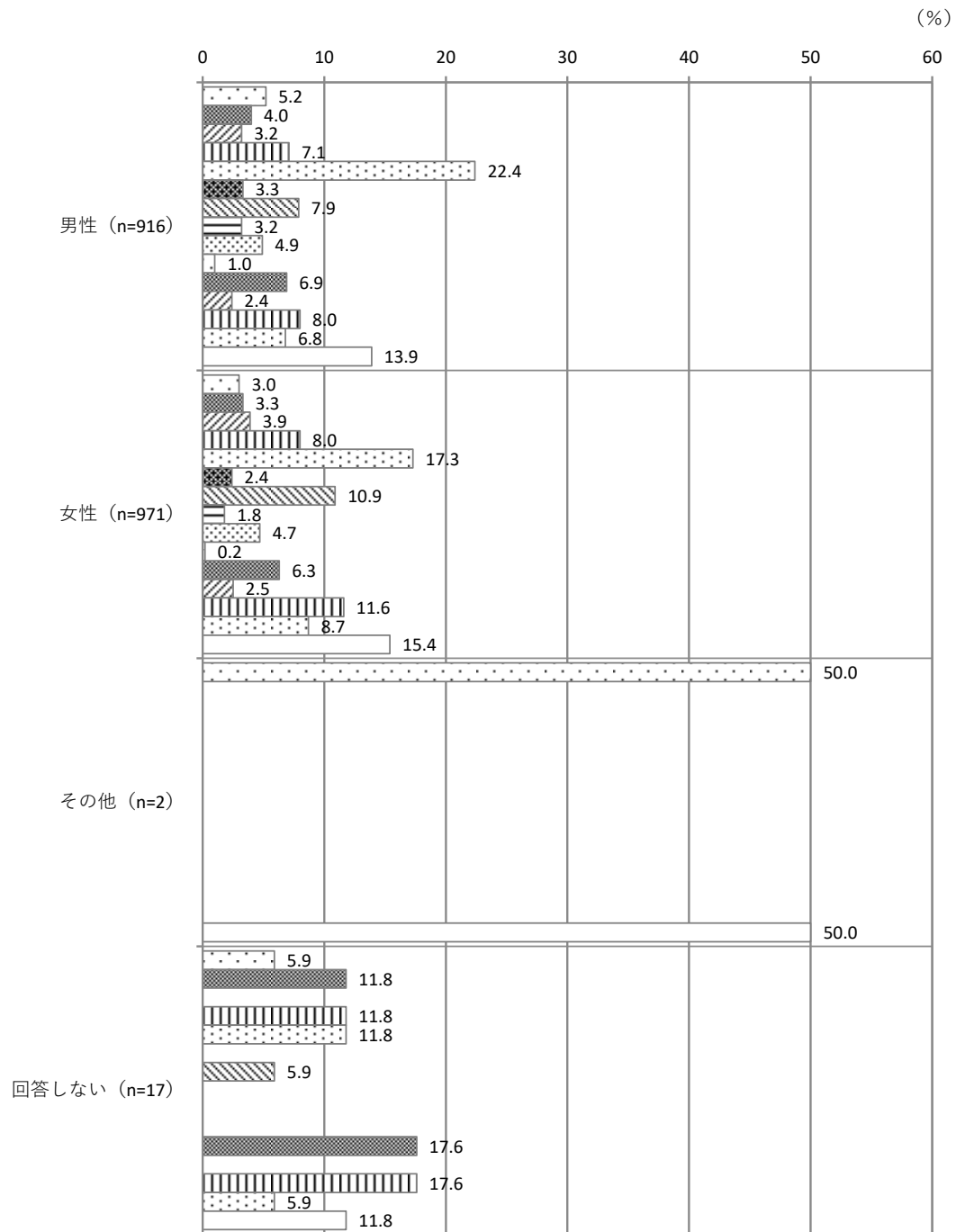


n=1924

■ 性別

性別にみると、最も多い理由は男女ともに「定期通院中だから必要がない」（男性が22.4%、女性が17.3%）で、次いで「健診より優先したいことがあった」（男性が8.0%、女性が11.6%）が続いています。「健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒」は男性が7.9%であるのに対し、女性が10.9%と女性の方が高く、問13の結果とも整合しています。

上段:度数 下段:%		健康だから健診は不要	毎年受ける必要がない（数年ごとでよい）	受けたい検査項目が含まれていない	勤務先の健診や自費で健診を受けた	定期通院中だから必要がない	病院が開いている時間帯に受診できない	健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒（予約が面倒）	受け方や手続きが分からない	健診を受けて異常が見つかるのが怖い	健診が受けられることを知らなかった	忘れていた	受けるつもりだったが予約がとれなかった	健診より優先したいことがあった（仕事、家事、人付き合い、趣味など）	その他	無回答
	合計															
男性	916 100.0	48 5.2	37 4.0	29 3.2	65 7.1	205 22.4	30 3.3	72 7.9	29 3.2	45 4.9	9 1.0	63 6.9	22 2.4	73 8.0	62 6.8	127 13.9
女性	971 100.0	29 3.0	32 3.3	38 3.9	78 8.0	168 17.3	23 2.4	106 10.9	17 1.8	46 4.7	2 0.2	61 6.3	24 2.5	113 11.6	84 8.7	150 15.4
その他	2 100.0	1 50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 50.0
回答しない	17 100.0	1 5.9	2 11.8	-	2 11.8	2 11.8	-	1 5.9	-	-	-	3 17.6	-	3 17.6	1 5.9	2 11.8

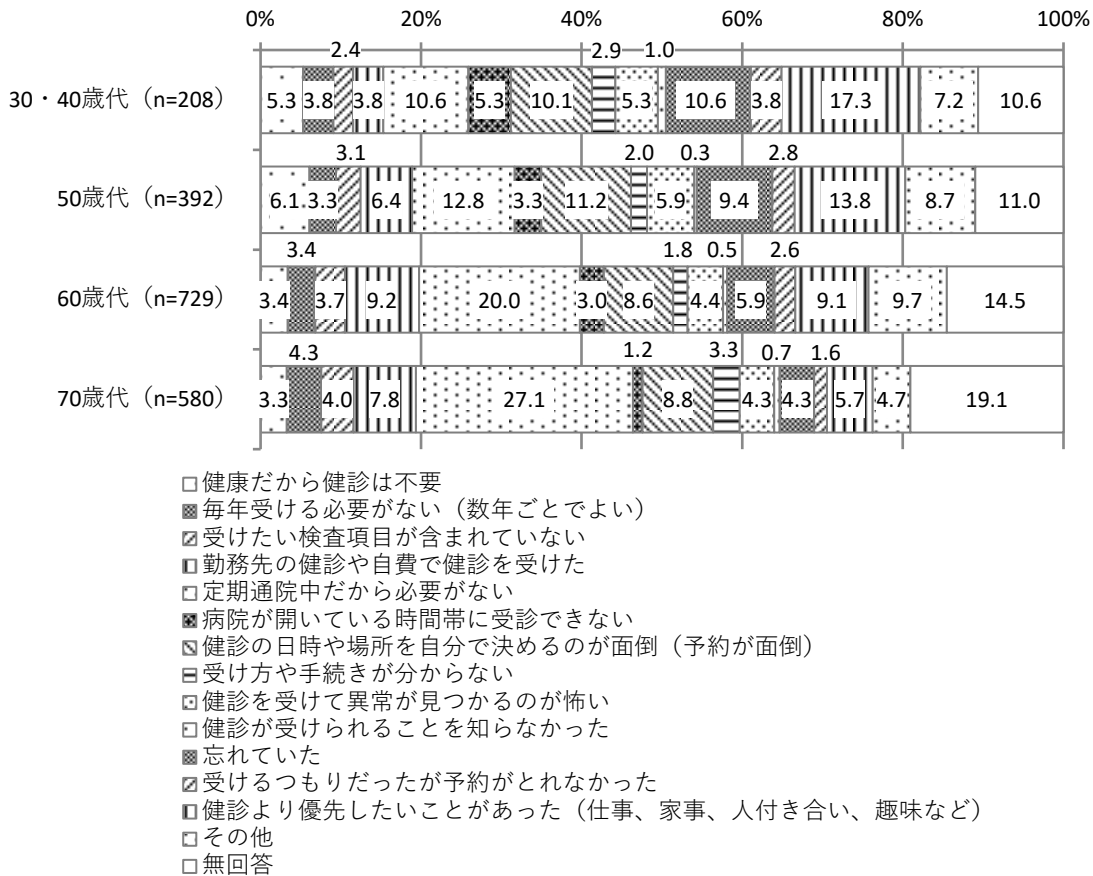


- ☐ 健康だから健診は不要
- ☒ 毎年受ける必要がない（数年ごとでよい）
- ☒ 受けたい検査項目が含まれていない
- ☒ 勤務先の健診や自費で健診を受けた
- ☐ 定期通院中だから必要がない
- ☒ 病院が開いている時間帯に受診できない
- ☒ 健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒（予約が面倒）
- ☐ 受け方や手続きが分からない
- ☒ 健診を受けて異常が見つかるのが怖い
- ☐ 健診が受けられることを知らなかった
- ☒ 忘れていた
- ☒ 受けるつもりだったが予約がとれなかった
- ☒ 健診より優先したいことがあった（仕事、家事、人付き合い、趣味など）
- ☐ その他
- ☐ 無回答

■ 年代別

年代別にみると、最大の理由として「定期通院中だから必要がない」を挙げた割合は年代とともに上昇し、30・40歳代が10.6%、50歳代が12.8%、60歳代が20.0%、70歳代が27.1%と明確な年代差が見られます。「健診より優先したいことがあった」は30・40歳代が17.3%と最も高く、若い年代の生活実態を反映しています。「健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒」は30・40歳代が10.1%、50歳代が11.2%と若・中年層で高くなっています。

上段:度数 下段:%		健康だから健診は不要	毎年受ける必要がない (数年ごとでよい)	受けたい検査項目が含まれていない	勤務先の健診や自費で健診を受けた	定期通院中だから必要がない	病院が開いている時間帯に受診できない	健診の日時や場所を自分で決めるのが面倒 (予約が面倒)	受け方や手続きが分からない	健診を受けて異常が見つかるのが怖い	健診が受けられることを知らなかった	忘れていた	受けるつもりだったが予約がとれなかった	健診より優先したいことがあった (仕事、家事、人付き合い、趣味など)	その他	無回答
	合計															
30・40歳代	208 100.0	11 5.3	8 3.8	5 2.4	8 3.8	22 10.6	11 5.3	21 10.1	6 2.9	11 5.3	2 1.0	22 10.6	8 3.8	36 17.3	15 7.2	22 10.6
50歳代	392 100.0	24 6.1	13 3.3	12 3.1	25 6.4	50 12.8	13 3.3	44 11.2	8 2.0	23 5.9	1 0.3	37 9.4	11 2.8	54 13.8	34 8.7	43 11.0
60歳代	729 100.0	25 3.4	25 3.4	27 3.7	67 9.2	146 20.0	22 3.0	63 8.6	13 1.8	32 4.4	4 0.5	43 5.9	19 2.6	66 9.1	71 9.7	106 14.5
70歳代	580 100.0	19 3.3	25 4.3	23 4.0	45 7.8	157 27.1	7 1.2	51 8.8	19 3.3	25 4.3	4 0.7	25 4.3	9 1.6	33 5.7	27 4.7	111 19.1



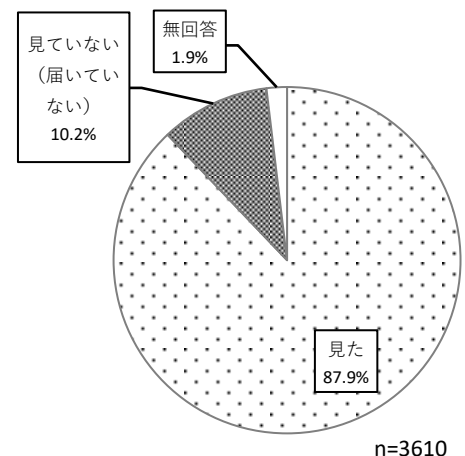
問14 大阪市からの健診案内の閲覧有無

すべての方におたずねします。

問14. あなたは大阪市から今年4月に送付された国保の健診の案内（緑色の封筒）はご覧になりましたか。（1つに○）

健診の案内を「見た」割合は87.9%と非常に高く、郵送による案内が効果的に届いていることがわかります。「見ていない（届いていない）」は10.2%にとどまっており、封筒による周知は引き続き有効な手段といえます。

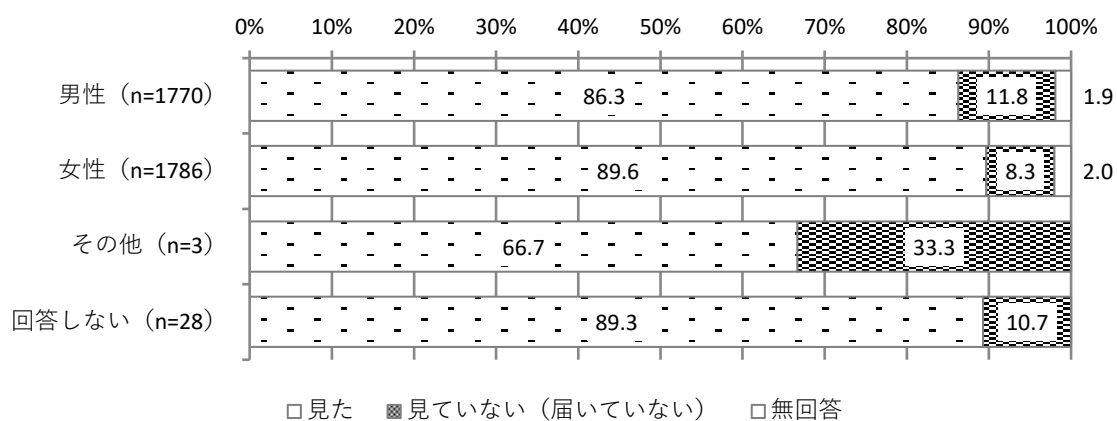
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	見た	3173	87.9
2	見ていない（届いていない）	367	10.2
	無回答	70	1.9
	N（％ベース）	3610	100



■ 性別

性別にみると、「見た」割合は男性が86.3%、女性が89.6%と、ともに高水準で、封筒による案内が広く届いていることがわかります。男女差は約3ポイントにとどまり、閲覧率に大きな差は見られません。

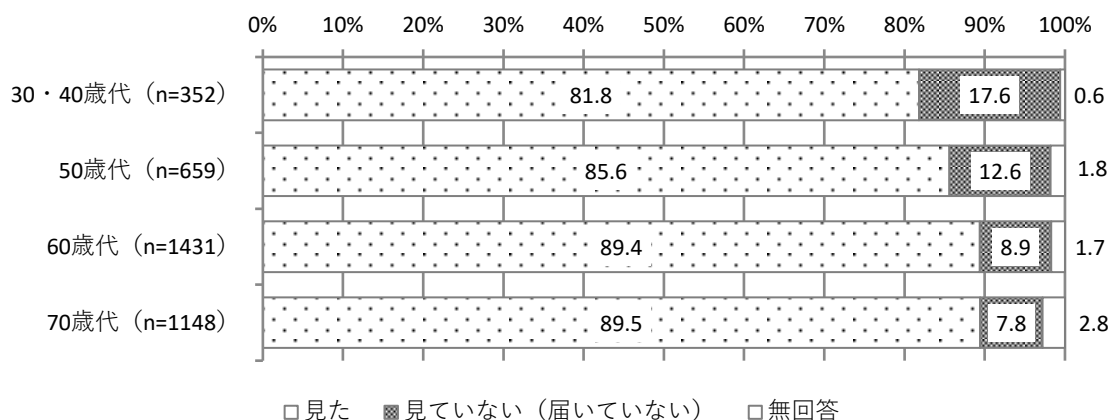
上段:度数 下段:%	合計	見た	見ていない (届いていない)	無回答
男性	1770 100.0	1528 86.3	208 11.8	34 1.9
女性	1786 100.0	1601 89.6	149 8.3	36 2.0
その他	3 100.0	2 66.7	1 33.3	-
回答しない	28 100.0	25 89.3	3 10.7	-



■ 年代別

年代別にみると、「見た」割合は60歳代が89.4%、70歳代が89.5%と高齢層で約9割に達する一方、30・40歳代では81.8%と他の年代に比べてやや低くなっています。若い年代での閲覧率向上に向けた工夫が求められます。

上段:度数 下段:%	合計	見た	見ていない (届いていない)	無回答
30・40歳代	352 100.0	288 81.8	62 17.6	2 0.6
50歳代	659 100.0	564 85.6	83 12.6	12 1.8
60歳代	1431 100.0	1279 89.4	128 8.9	24 1.7
70歳代	1148 100.0	1027 89.5	89 7.8	32 2.8

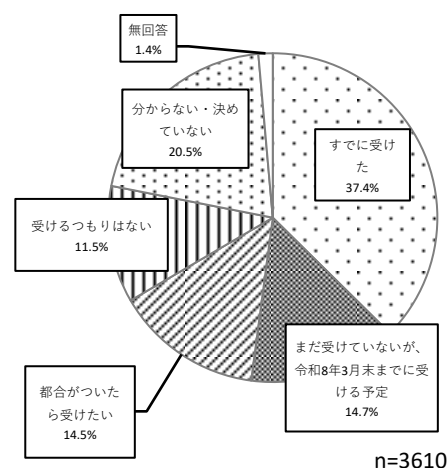


問15 令和7年4月以降の健診受診状況・受診予定

問15. あなたは、令和7年4月以降に国保の健診（特定健診、国保プラス健診、国保人間ドックのいずれか）を受けましたか。または、受ける予定はありますか。（1つに○）

令和7年4月以降の受診状況・予定をみると、「すでに受けた」37.4%と「令和8年3月末までに受ける予定」14.7%を合わせると52.1%が受診済みまたは受診予定となっています。一方、「分からない・決めていない」が20.5%と最も対応が求められる層であり、「都合がいつたら受けたい」14.5%を含めると35%程度が潜在的な受診候補者といえます。この層への働きかけが今後の受診率向上の鍵となります。

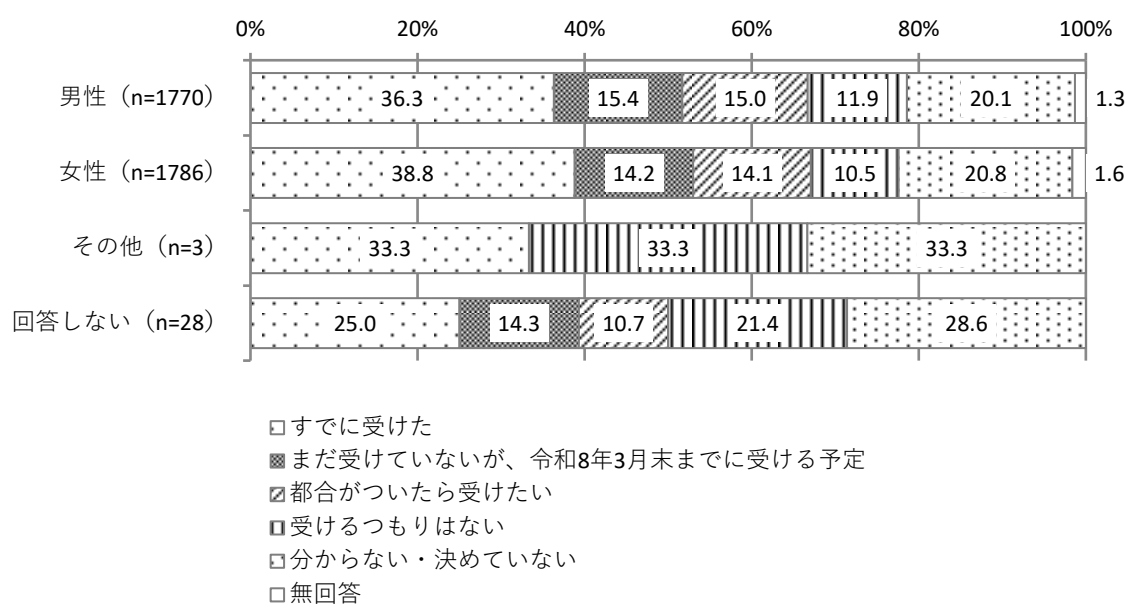
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	すでに受けた	1349	37.4
2	まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	532	14.7
3	都合がいつたら受けたい	522	14.5
4	受けるつもりはない	415	11.5
5	分からない・決めていない	740	20.5
	無回答	52	1.4
	N (%へ-ス)	3610	100



■ 性別

性別にみると、「すでに受けた」は男性が36.3%、女性が38.8%と女性がやや高くなっています。「受けるつもりはない」は男性が11.9%、女性が10.5%と男性がやや高い傾向にあります。「分からない・決めていない」は男性が20.1%、女性が20.8%とほぼ同水準で、約2割が受診を迷っている状況にあります。この層への働きかけが受診率向上につながると考えられます。

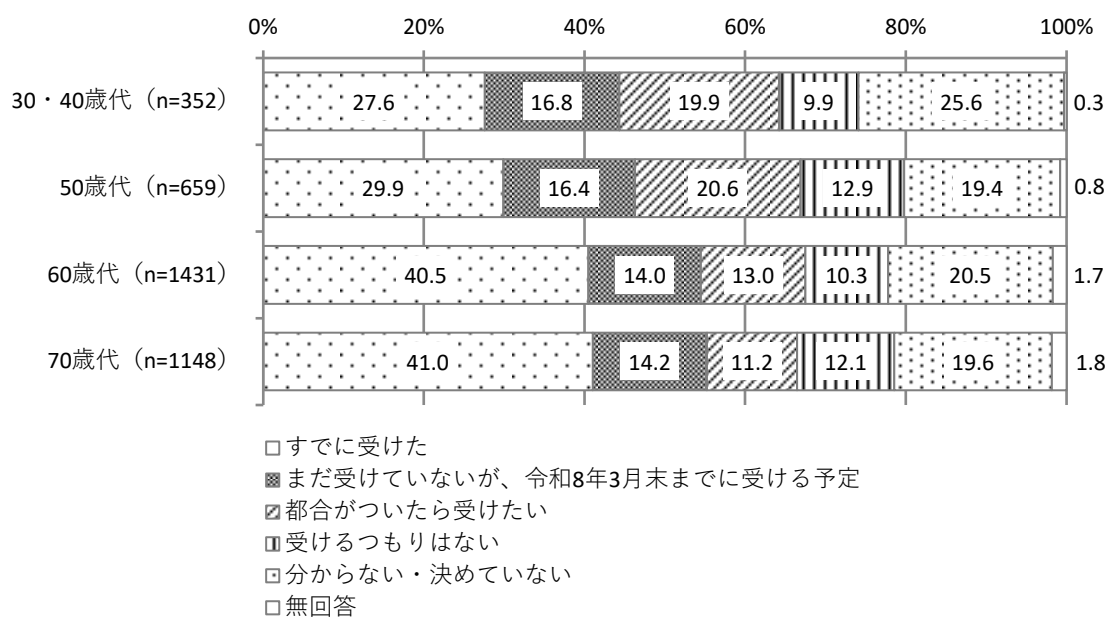
上段:度数 下段:%	合計	すでに受けた	まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	都合がつけたいら受けたい	受けるつもりはない	分からない・決めていない	無回答
男性	1770 100.0	643 36.3	272 15.4	266 15.0	211 11.9	355 20.1	23 1.3
女性	1786 100.0	693 38.8	254 14.2	252 14.1	187 10.5	372 20.8	28 1.6
その他	3 100.0	1 33.3	-	-	1 33.3	1 33.3	-
回答しない	28 100.0	7 25.0	4 14.3	3 10.7	6 21.4	8 28.6	-



■ 年代別

年代別にみると、「すでに受けた」は60歳代が40.5%、70歳代が41.0%と高齢層で4割を超えるのに対し、30・40歳代が27.6%、50歳代が29.9%と若い年代では3割未満にとどまっています。「分からない・決めていない」は30・40歳代が25.6%、50歳代が19.4%と若い年代で高く、この層への受診促進のアプローチが受診率向上に有効と考えられます。

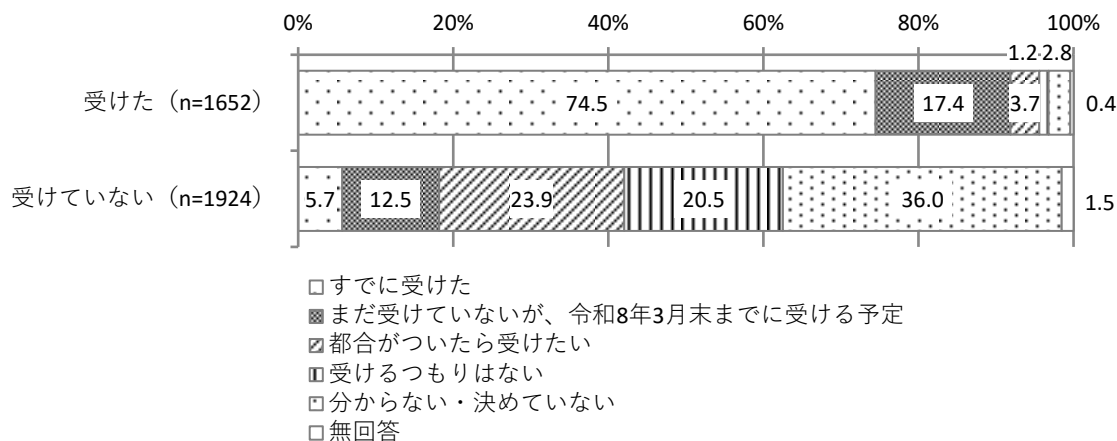
上段:度数 下段:%	合計	すでに受けた	まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	都合がつけば受けたい	受けるつもりはない	分からない・決めていない	無回答
30・40歳代	352 100.0	97 27.6	59 16.8	70 19.9	35 9.9	90 25.6	1 0.3
50歳代	659 100.0	197 29.9	108 16.4	136 20.6	85 12.9	128 19.4	5 0.8
60歳代	1431 100.0	579 40.5	200 14.0	186 13.0	148 10.3	294 20.5	24 1.7
70歳代	1148 100.0	471 41.0	163 14.2	129 11.2	139 12.1	225 19.6	21 1.8



■ 令和6年度の受診状況別

令和6年度の受診状況別にみると、令和7年度の受診状況・予定に明確な差が見られます。令和6年度に健診を「受けた」人では、令和7年度も「すでに受けた」が74.5%と約4分の3を占めており、継続して受診している人が多いことがわかります。「受けるつもりはない」や「分からない・決めていない」はそれぞれ1.2%、2.8%と極めて低く、一度受診した人は継続的に受診する傾向が強いといえます。一方、令和6年度に「受けていない」では「分からない・決めていない」が36.0%と最も高く、次いで「都合がついたら受けたい」が23.9%、「受けるつもりはない」が20.5%と続いています。「すでに受けた」はわずか5.7%にとどまっており、未受診が継続している実態がうかがえます。ただし「まだ受けていないが受ける予定」が12.5%、「都合がついたら受けたい」が23.9%と、受診意欲を持つ人が一定数いることから、この層への働きかけが受診率向上につながると考えられます。

上段:度数 下段:%	合計	すでに受けた	まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	都合がついたら受けたい	受けるつもりはない	分からない・決めていない	無回答
受けた	1652 100.0	1231 74.5	287 17.4	61 3.7	19 1.2	47 2.8	7 0.4
受けていない	1924 100.0	109 5.7	240 12.5	459 23.9	395 20.5	692 36.0	29 1.5



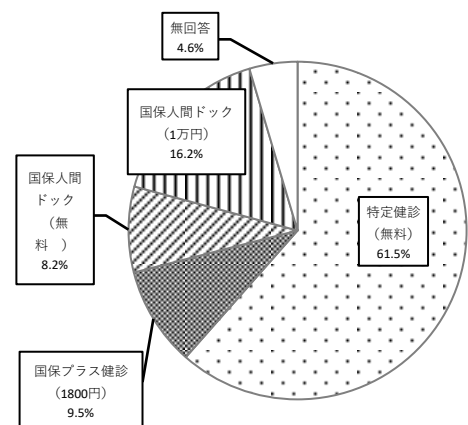
問16 受診する（した）健診の種類

問15で「1. すでに受けた」「2. まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定」「3. 都合がつかいたら受けたい」のいずれかに○をつけた方におたずねします。

問16. どの健診を受けましたか。または、受ける予定ですか。（1 つに○）

「特定健診（無料）」が61.5%と最多で、費用負担のない健診が最も選ばれていることがわかります。次いで「国保人間ドック（1万円）」が16.2%、「国保プラス健診（1800円）」が9.5%、「国保人間ドック（無料）」が8.2%と続きます。無料または低額の健診が選択の中心となっており、費用面のメリットが受診行動に大きく影響していることが示されています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	特定健診（無料）	1477	61.5
2	国保プラス健診（1800円）	229	9.5
3	国保人間ドック（無料 ※令和8年3月末時点で40・45・50・55・60・65歳の方のみ）	197	8.2
4	国保人間ドック（1万円）	389	16.2
	無回答	111	4.6
	N（％ベース）	2403	100

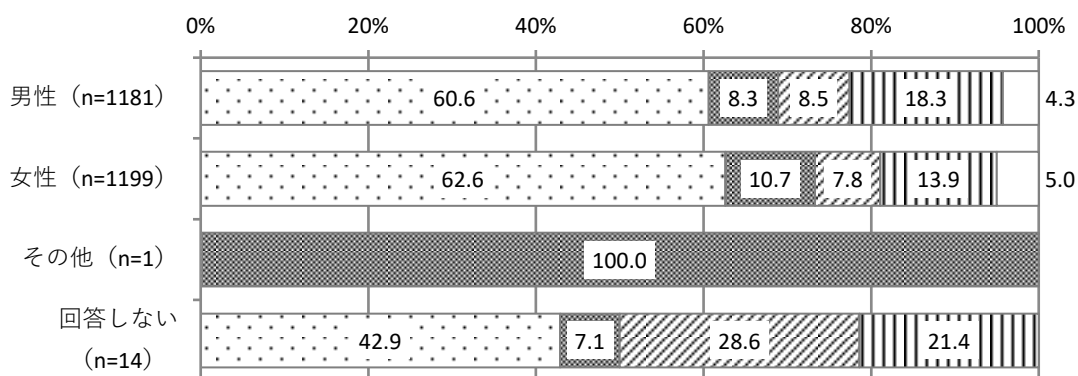


n=2403

■ 性別

性別にみると、男女ともに「特定健診（無料）」が最多（男性が60.6%、女性が62.6%）で、費用負担のなさが受診の大きな動機となっていると考えられます。「国保人間ドック（1万円）」は男性が18.3%、女性が13.9%と男性が高く、男性の方が有料ドックへの需要がやや高い傾向にあります。

上段：度数 下段：%	合計	特定健診 （無料）	国保プラス 健診（1800 円）	国保人間 ドック（無 料 ※令和8 年3月末時点 で40・45・50・ 55・60・65歳 の方のみ）	国保人間 ドック（1万 円）	無回答
男性	1181 100.0	716 60.6	98 8.3	100 8.5	216 18.3	51 4.3
女性	1199 100.0	751 62.6	128 10.7	93 7.8	167 13.9	60 5.0
その他	1 100.0	— —	1 100.0	— —	— —	— —
回答しない	14 100.0	6 42.9	1 7.1	4 28.6	3 21.4	— —

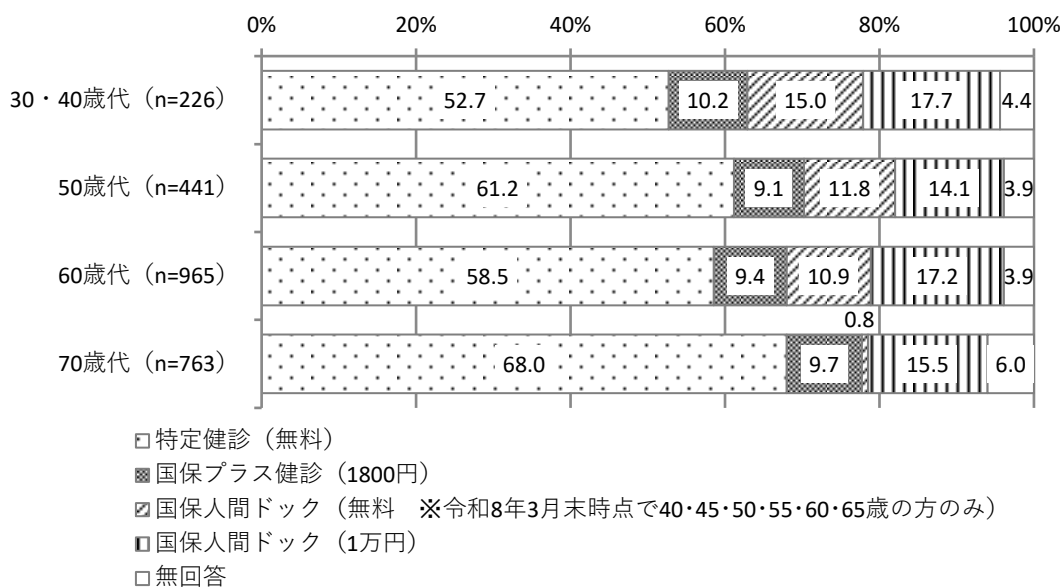


- 特定健診（無料）
- 国保プラス健診（1800円）
- ▨ 国保人間ドック（無料 ※令和8年3月末時点で40・45・50・55・60・65歳の方のみ）
- ▤ 国保人間ドック（1万円）
- 無回答

■ 年代別

年代別にみると、全年代で「特定健診（無料）」が最多ですが、70歳代では68.0%と特に高くなっています。「国保人間ドック（無料）」は対象年齢が限られるため、70歳代では0.8%と極めて低い結果となっています。「国保人間ドック（1万円）」は30・40歳代が17.7%、60歳代が17.2%と比較的高く、充実した検査内容を求める層の存在がうかがえます。

上段：度数 下段：%	合計	特定健診 （無料）	国保プラス 健診（1800 円）	国保人間 ドック（無 料 ※令和8 年3月末時点 で40・45・50・ 55・60・65歳 の方のみ）	国保人間 ドック（1万 円）	無回答
30・40歳代	226 100.0	119 52.7	23 10.2	34 15.0	40 17.7	10 4.4
50歳代	441 100.0	270 61.2	40 9.1	52 11.8	62 14.1	17 3.9
60歳代	965 100.0	565 58.5	91 9.4	105 10.9	166 17.2	38 3.9
70歳代	763 100.0	519 68.0	74 9.7	6 0.8	118 15.5	46 6.0

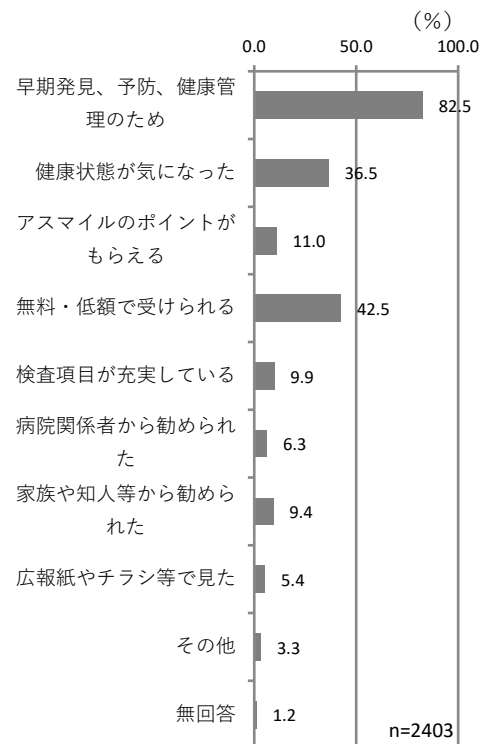


問17 健診を受けようと思った理由

問17. 健診を受けようと思った理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

受診理由として「病気の早期発見、予防、健康管理のため」が82.5%と圧倒的に多く、健康意識の高さが受診の主な動機となっています。次いで「無料または低額で受けられる」が42.5%と高く、費用面のメリットも重要な受診動機であることがわかります。「健康状態が気になった」は36.5%で、自身の健康状態への関心も受診につながっています。「アスマイルのポイントがもらえる」は11.0%、「検査項目が充実している」は9.9%とやや低めですが、一定の動機づけとして機能しています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	病気の早期発見、予防、健康管理のため	1982	82.5
2	健康状態が気になった	878	36.5
3	アスマイルのポイントがもらえる	264	11.0
4	無料または低額（1800円/1万円）で受けられる	1021	42.5
5	検査項目が充実している	239	9.9
6	病院関係者（医師、看護師、受付等）から勧められた	151	6.3
7	家族や知人等から勧められた	226	9.4
8	広報紙やチラシ、ポスター等で見た	130	5.4
9	その他	79	3.3
	無回答	28	1.2
	N（％ベース）	2403	100



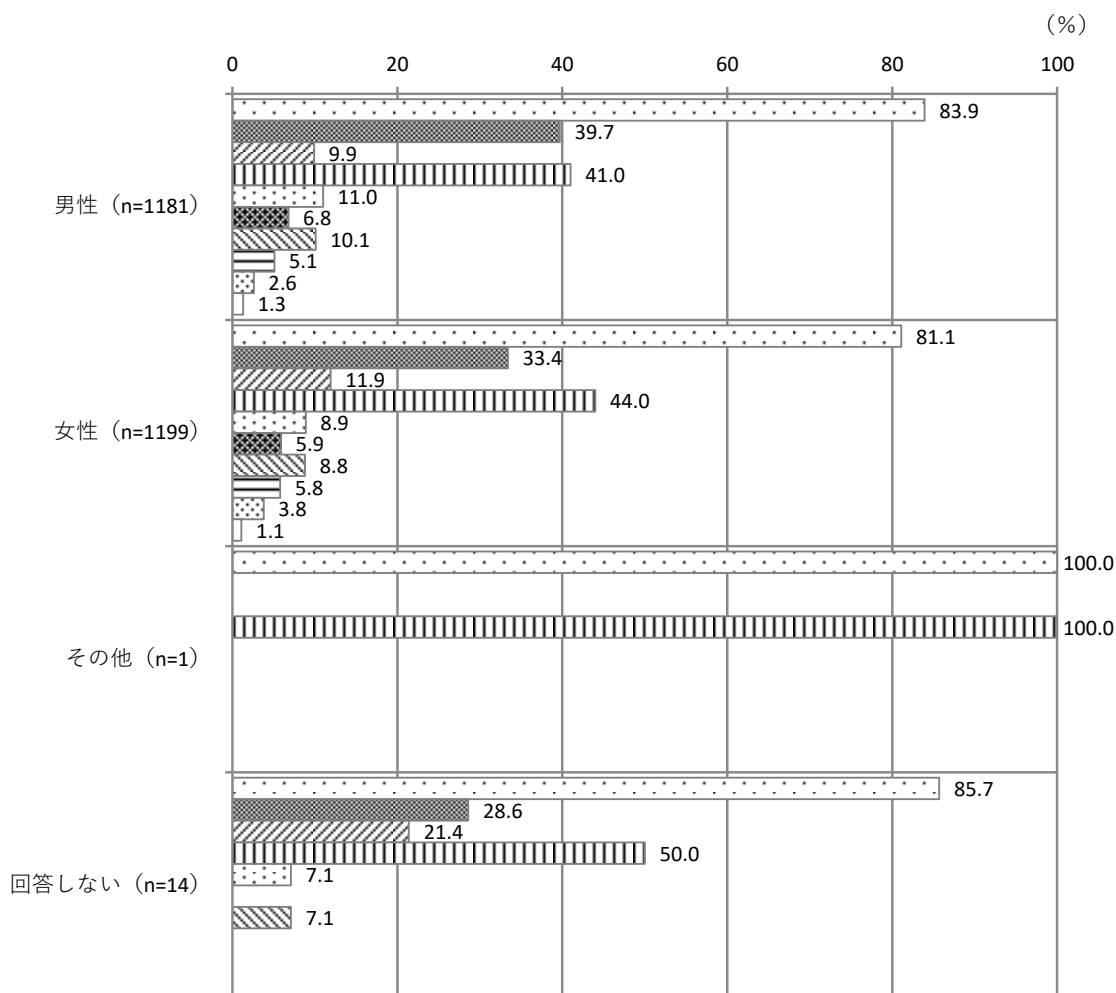
●「その他」自由回答

カテゴリ	件数	主な内容
習慣・継続	19 件	毎年受けている、受ける時期を決めている、継続して数値の変化を見たい、健康管理のルーティン
仕事・提出	13 件	職場の定期健診として受ける、会社から要請・結果提出が必要、再就職の書類提出、活動や業務上の必要
健康不安・早期発見	9 件	体調が悪い時期があったから、年齢による意識変化、早期発見目的、身内のがんをきっかけ
人間ドック等の代替/選好	9 件	退職後の職場ドックの代わりに、協会けんぽから保健変更に伴う受診形態の切替、主治医判断で特定健診より自費検査を受けている
案内・勧奨	8 件	自治体（大阪市・国保）から案内が届いた、電話で受診確認が来た、制度案内を見た、アンケートがきっかけ
持病・通院・薬の影響	6 件	高血圧など治療中、通院のついでに同じ医療機関で受ける、服薬による肝機能などが心配、過去の病気（乳がん・子宮がん等）以降の継続
費用・無料要因	2 件	夫が無料の人間ドックを受ける予定のため一緒に行こうと思っている、有料は年金だと厳しい
その他	4 件	なんとなく、体験してみたかった、都合のよい日時に予約が取れた

■ 性別

性別にみると、男女ともに「病気の早期発見、予防、健康管理のため」が最も高く（男性が83.9%、女性が81.1%）、健康意識の高さが受診動機の主体となっています。「無料または低額で受けられる」も男性が41.0%、女性が44.0%と高く、費用負担の低さも重要な受診促進要因となっています。「アスマイルのポイントがもらえる」は男性が9.9%、女性が11.9%と女性がやや高く、ポイントのインセンティブが特に女性の受診を後押ししている様子がうかがえます。

上段:度数 下段:%	合計	病気の早期 発見、予 防、健康管 理のため	健康状態が 気になった	アスマイル のポイント がもらえる	無料または 低額（1800 円/1万円） で受けられ る	検査項目が 充実してい る	病院関係者 （医師、看 護師、受付 等）から勧 められた	家族や知人 等から勧め られた	広報紙やチ ラシ、ポス ター等で見 た	その他	無回答
男性	1181 100.0	991 83.9	469 39.7	117 9.9	484 41.0	130 11.0	80 6.8	119 10.1	60 5.1	31 2.6	15 1.3
女性	1199 100.0	972 81.1	401 33.4	143 11.9	528 44.0	107 8.9	71 5.9	106 8.8	70 5.8	46 3.8	13 1.1
その他	1 100.0	1 100.0	-	-	1 100.0	-	-	-	-	-	-
回答しない	14 100.0	12 85.7	4 28.6	3 21.4	7 50.0	1 7.1	-	1 7.1	-	-	-

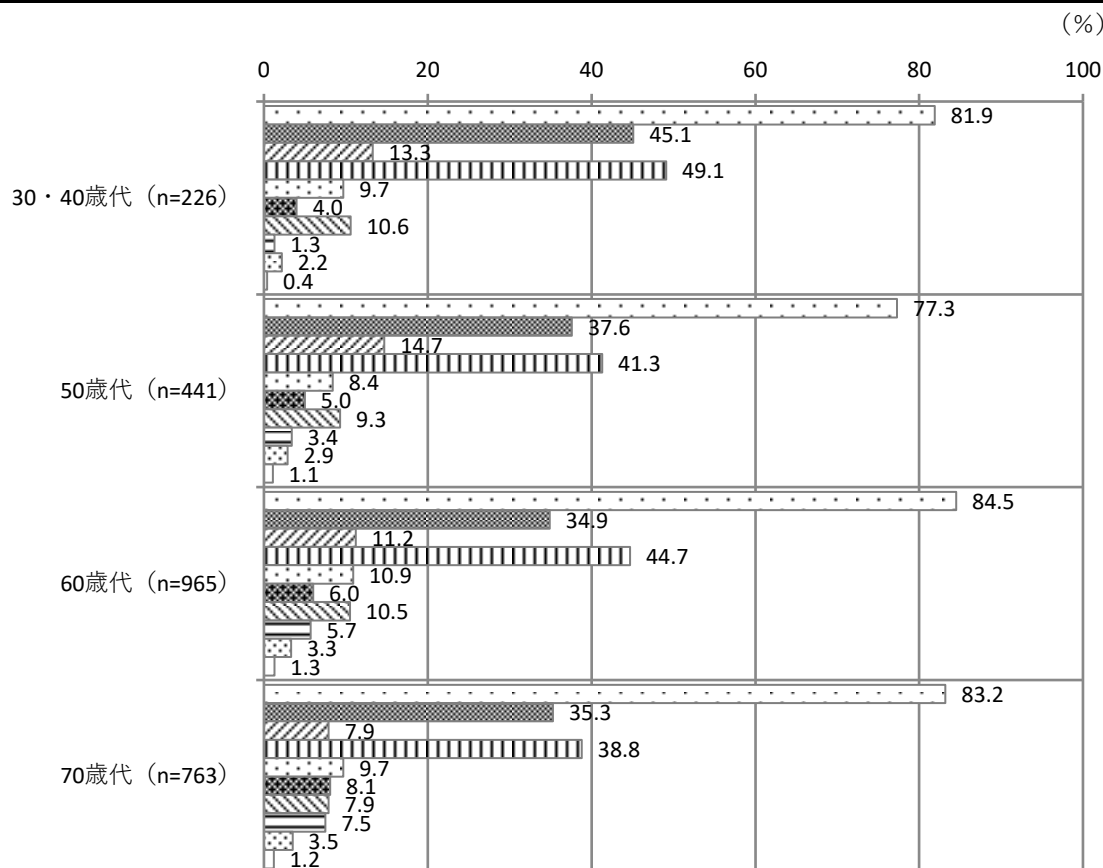


- 病気の早期発見、予防、健康管理のため
- ▨ 健康状態が気になった
- ▤ アスマイルのポイントがもらえる
- ▦ 無料または低額（1800円/1万円）で受けられる
- ▧ 検査項目が充実している
- ▩ 病院関係者（医師、看護師、受付等）から勧められた
- 家族や知人等から勧められた
- 広報紙やチラシ、ポスター等で見た
- その他
- 無回答

■ 年代別

年代別にみると、「病気の早期発見、予防、健康管理のため」は全年代で最多であり、60歳代が84.5%と最も高くなっています。「健康状態が気になった」は30・40歳代が45.1%と最も高く、若い年代ほど個人的な健康への不安が受診動機になっています。「無料または低額で受けられる」は30・40歳代が49.1%と最も高く、若い年代にとって費用面が特に重要な受診動機であることがわかります。「アスマイルのポイントがもらえる」は50歳代が14.7%と最も高く、次いで30・40歳代が13.3%と、ポイントのインセンティブは若・中年層に有効です。「病院関係者から勧められた」は70歳代が8.1%と最も高く、高齢層では医療機関との接点が受診につながりやすい傾向があります。

上段:度数 下段:%	合計	病気の早期発見、予防、健康管理のため	健康状態が気になった	アスマイルのポイントがもらえる	無料または低額（1800円/1万円）で受けられる	検査項目が充実している	病院関係者（医師、看護師、受付等）から勧められた	家族や知人等から勧められた	広報紙やチラシ、ポスター等で見た	その他	無回答
30・40歳代	226 100.0	185 81.9	102 45.1	30 13.3	111 49.1	22 9.7	9 4.0	24 10.6	3 1.3	5 2.2	1 0.4
50歳代	441 100.0	341 77.3	166 37.6	65 14.7	182 41.3	37 8.4	22 5.0	41 9.3	15 3.4	13 2.9	5 1.1
60歳代	965 100.0	815 84.5	337 34.9	108 11.2	431 44.7	105 10.9	58 6.0	101 10.5	55 5.7	32 3.3	13 1.3
70歳代	763 100.0	635 83.2	269 35.3	60 7.9	296 38.8	74 9.7	62 8.1	60 7.9	57 7.5	27 3.5	9 1.2



- 病気の早期発見、予防、健康管理のため
- 健康状態が気になった
- ▨ アスマイルのポイントがもらえる
- 無料または低額（1800円/1万円）で受けられる
- 検査項目が充実している
- 病院関係者（医師、看護師、受付等）から勧められた
- 家族や知人等から勧められた
- 広報紙やチラシ、ポスター等で見た
- その他
- 無回答

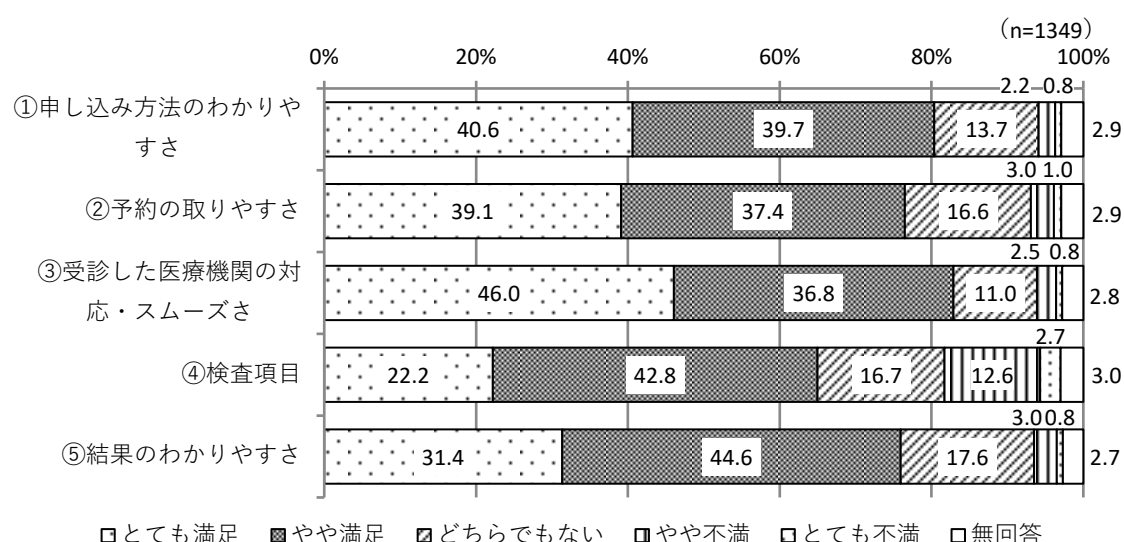
問18 健診に関する満足度

問15で「1.すでに受けた」に○をつけた方におたずねします。

問18. 健診を受けて、以下の項目についてどのくらい満足したかを教えてください。（それぞれ1つに○）

5項目すべてで「とても満足」「やや満足」の合計が7割を超えており、健診全体に対する満足度は概ね高い結果となっています。項目別にみると、『③受診した医療機関の対応・スムーズさ』が最も満足度が高く、「とても満足」「やや満足」の合計が82.8%となっています。次いで『①申し込み方法のわかりやすさ』が80.3%、『②予約の取りやすさ』が76.5%と続いており、手続き・対応面への評価が全体的に高くなっています。一方、『④検査項目』は「とても満足」「やや満足」の合計が65.0%と他の項目に比べて低く、「やや不満」「とても不満」の合計も15.3%と最も高くなっています。健診内容の充実を求める声があることがわかり、検査項目の拡充が今後の課題のひとつと考えられます。『⑤結果のわかりやすさ』は「とても満足」「やや満足」の合計が76.0%と比較的高い一方、「どちらでもない」が17.6%とやや高めとなっており、結果の説明方法についてさらなる工夫の余地があります。

上段:度数 下段: %	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
①申し込み方法のわかりやすさ	1349 100.0	548 40.6	536 39.7	185 13.7	30 2.2	11 0.8	39 2.9
②予約の取りやすさ	1349 100.0	528 39.1	504 37.4	224 16.6	41 3.0	13 1.0	39 2.9
③受診した医療機関の対応・スムーズさ	1349 100.0	620 46.0	497 36.8	149 11.0	34 2.5	11 0.8	38 2.8
④検査項目	1349 100.0	299 22.2	578 42.8	225 16.7	170 12.6	37 2.7	40 3.0
⑤結果のわかりやすさ	1349 100.0	424 31.4	601 44.6	237 17.6	40 3.0	11 0.8	36 2.7

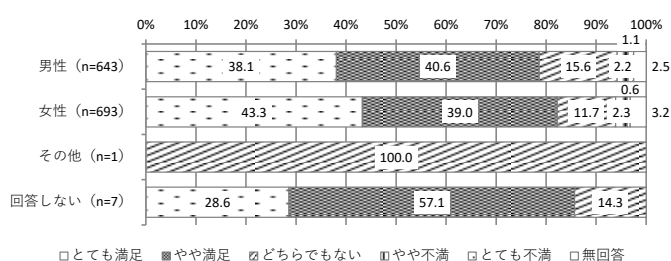


■ 性別

性別にみると、全5項目で女性が男性をやや上回る傾向があり、全体的に女性の満足度が高くなっています。「とても満足」「やや満足」の合計は、『①申し込み方法のわかりやすさ』は女性が82.3%、男性が78.7%、『②予約の取りやすさ』は女性が78.8%、男性が74.8%、『③医療機関の対応・スムーズさ』は女性が83.2%、男性が82.4%とほぼ同水準、『④検査項目』は女性が66.5%、男性が63.3%、『⑤結果のわかりやすさ』は女性が77.2%、男性が74.7%となっています。項目別にみると、『⑤結果のわかりやすさ』で「やや不満」「とても不満」の合計が男性5.8%、女性2.0%と差が大きく、結果の説明に対する不満は男性でやや高い傾向があります。『④検査項目』は男女ともに不満の割合が他の項目より高く、男性が16.0%、女性が15.0%と検査内容の充実を求める声が男女ともに見られます。

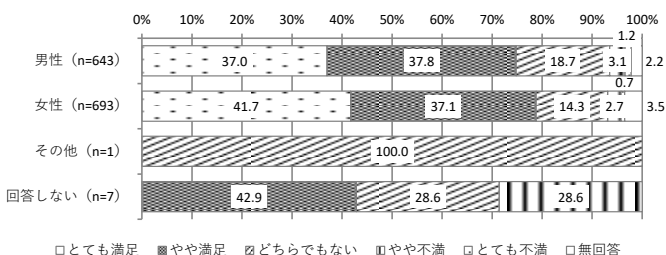
①申し込み方法のわかりやすさ

上段：度数 下段：%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
男性	643	245	261	100	14	7	16
	100.0	38.1	40.6	15.6	2.2	1.1	2.5
女性	693	300	270	81	16	4	22
	100.0	43.3	39.0	11.7	2.3	0.6	3.2
その他	1	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-
回答しない	7	2	4	1	-	-	-
	100.0	28.6	57.1	14.3	-	-	-



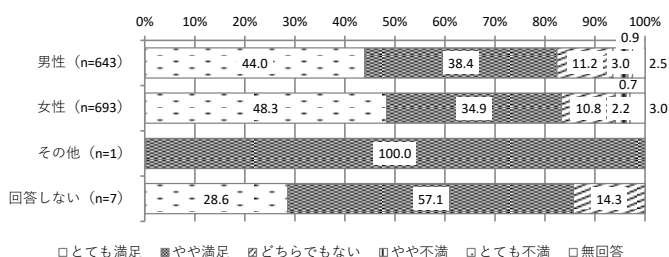
②予約の取りやすさ

上段：度数 下段：%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
男性	643	238	243	120	20	8	14
	100.0	37.0	37.8	18.7	3.1	1.2	2.2
女性	693	289	257	99	19	5	24
	100.0	41.7	37.1	14.3	2.7	0.7	3.5
その他	1	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-
回答しない	7	-	3	2	2	-	-
	100.0	-	42.9	28.6	28.6	-	-



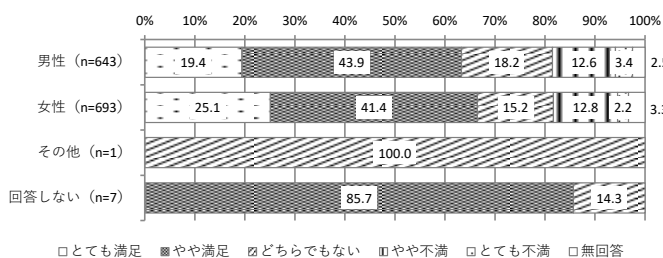
③受診した医療機関の対応・スムーズさ

上段：度数 下段：%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
男性	643	283	247	72	19	6	16
	100.0	44.0	38.4	11.2	3.0	0.9	2.5
女性	693	335	242	75	15	5	21
	100.0	48.3	34.9	10.8	2.2	0.7	3.0
その他	1	-	1	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-
回答しない	7	2	4	1	-	-	-
	100.0	28.6	57.1	14.3	-	-	-



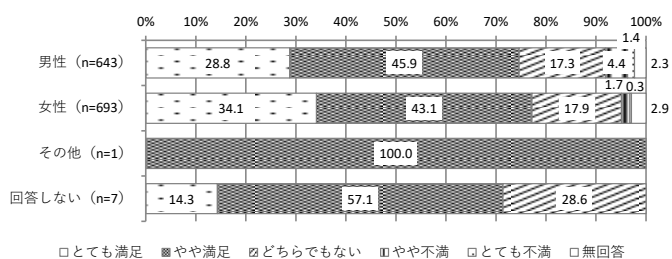
④検査項目

上段：度数 下段：%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
男性	643	125	282	117	81	22	16
	100.0	19.4	43.9	18.2	12.6	3.4	2.5
女性	693	174	287	105	89	15	23
	100.0	25.1	41.4	15.2	12.8	2.2	3.3
その他	1	-	-	1	-	-	-
	100.0	-	-	100.0	-	-	-
回答しない	7	-	6	1	-	-	-
	100.0	-	85.7	14.3	-	-	-



⑤結果のわかりやすさ

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
男性	643	185	295	111	28	9	15
	100.0	28.8	45.9	17.3	4.4	1.4	2.3
女性	693	236	299	124	12	2	20
	100.0	34.1	43.1	17.9	1.7	0.3	2.9
その他	1	-	1	-	-	-	-
	100.0	-	100.0	-	-	-	-
回答しない	7	1	4	2	-	-	-
	100.0	14.3	57.1	28.6	-	-	-

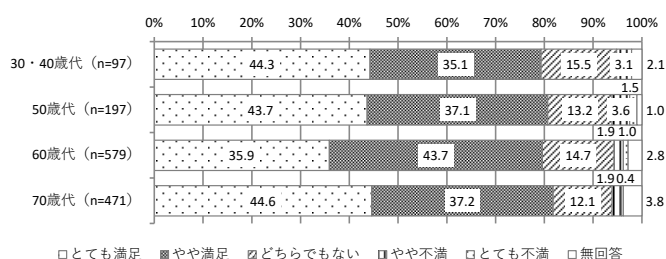


■ 年代別

年代別にみると、全5項目で概ね高い満足度が見られますが、項目によって年代差が異なります。『①申し込み方法のわかりやすさ』『②予約の取りやすさ』とも60歳代の「とても満足」が他の年代と比べてやや低く、『③医療機関の対応・スムーズさ』は30・40歳代の「とても満足」が54.6%と全項目・全年代の中で最も高く、若い年代ほど対応への評価が高い傾向があります。『④検査項目』は「やや不満」「とても不満」の合計が60歳代で16.1%、70歳代で16.4%と高齢層で高くなっており、検査内容の充実を求める声は高齢層に多い傾向があります。『⑤結果のわかりやすさ』は30・40歳代の満足度が86.6%と最も高く、年代が上がるにつれてやや低下する傾向があります。

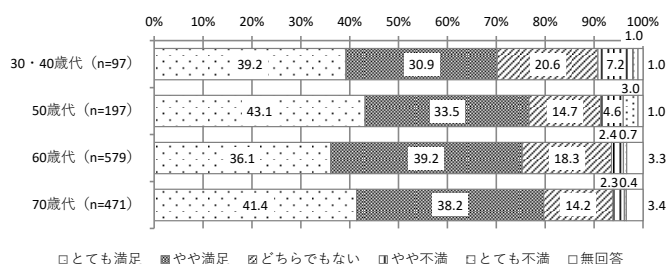
①申し込み方法のわかりやすさ

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
30・40歳代	97	43	34	15	3	-	2
	100.0	44.3	35.1	15.5	3.1	-	2.1
50歳代	197	86	73	26	7	3	2
	100.0	43.7	37.1	13.2	3.6	1.5	1.0
60歳代	579	208	253	85	11	6	16
	100.0	35.9	43.7	14.7	1.9	1.0	2.8
70歳代	471	210	175	57	9	2	18
	100.0	44.6	37.2	12.1	1.9	0.4	3.8



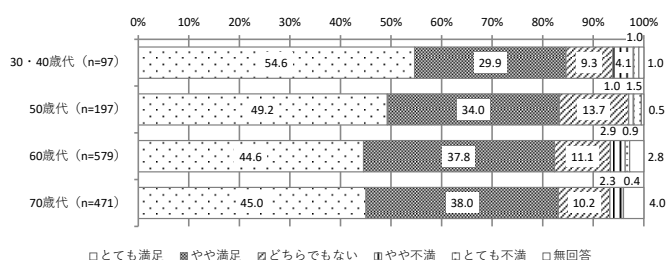
②予約の取りやすさ

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
30・40歳代	97	38	30	20	7	1	1
	100.0	39.2	30.9	20.6	7.2	1.0	1.0
50歳代	197	85	66	29	9	6	2
	100.0	43.1	33.5	14.7	4.6	3.0	1.0
60歳代	579	209	227	106	14	4	19
	100.0	36.1	39.2	18.3	2.4	0.7	3.3
70歳代	471	195	180	67	11	2	16
	100.0	41.4	38.2	14.2	2.3	0.4	3.4



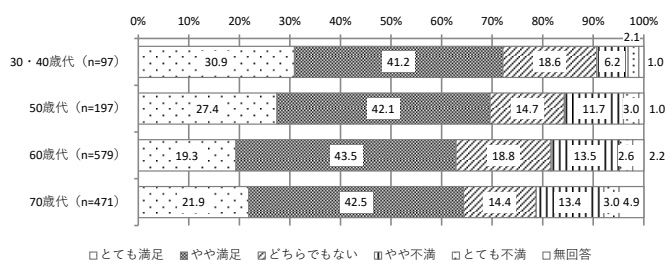
③受診した医療機関の対応・スムーズさ

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
30・40歳代	97	53	29	9	4	1	1
	100.0	54.6	29.9	9.3	4.1	1.0	1.0
50歳代	197	97	67	27	2	3	1
	100.0	49.2	34.0	13.7	1.0	1.5	0.5
60歳代	579	258	219	64	17	5	16
	100.0	44.6	37.8	11.1	2.9	0.9	2.8
70歳代	471	212	179	48	11	2	19
	100.0	45.0	38.0	10.2	2.3	0.4	4.0



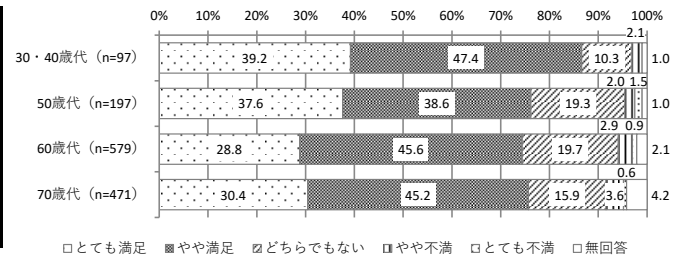
④検査項目

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
30・40歳代	97	30	40	18	6	2	1
	100.0	30.9	41.2	18.6	6.2	2.1	1.0
50歳代	197	54	83	29	23	6	2
	100.0	27.4	42.1	14.7	11.7	3.0	1.0
60歳代	579	112	252	109	78	15	13
	100.0	19.3	43.5	18.8	13.5	2.6	2.2
70歳代	471	103	200	68	63	14	23
	100.0	21.9	42.5	14.4	13.4	3.0	4.9



⑤結果のわかりやすさ

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
30・40歳代	97	38	46	10	2	-	1
	100.0	39.2	47.4	10.3	2.1	-	1.0
50歳代	197	74	76	38	4	3	2
	100.0	37.6	38.6	19.3	2.0	1.5	1.0
60歳代	579	167	264	114	17	5	12
	100.0	28.8	45.6	19.7	2.9	0.9	2.1
70歳代	471	143	213	75	17	3	20
	100.0	30.4	45.2	15.9	3.6	0.6	4.2

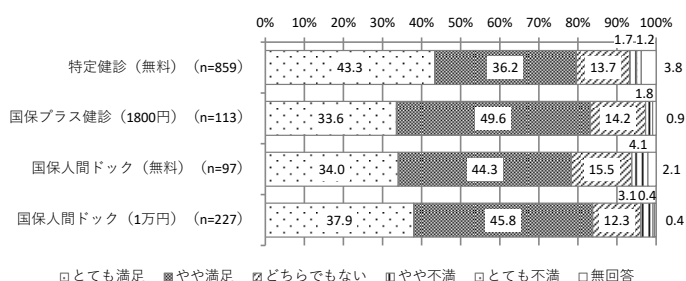


■ 健診の種類別

健診の種類別にみると、受診した健診の種類にかかわらず満足度は概ね高い結果となっています。『①申し込み方法のわかりやすさ』『②予約の取りやすさ』『③医療機関の対応・スムーズさ』については、「特定健診（無料）」で「とても満足」の割合がやや高い傾向があります。『③医療機関の対応・スムーズさ』は全健診種別で満足度が高く、「国保人間ドック（1万円）」では「とても満足」が49.3%と最も高くなっています。『④検査項目』については、「特定健診（無料）」で「やや不満」「とても不満」の合計が18.8%と他の種別に比べて高く、検査内容の充実を求める声が特定健診の受診者に多いことがわかります。一方、「国保人間ドック（無料）」では「とても満足」「やや満足」の合計が82.5%と最も高くなっています。『⑤結果のわかりやすさ』は「国保人間ドック（1万円）」で「とても満足」「やや満足」の合計が84.1%と最も高く、「特定健診（無料）」では「どちらでもない」が19.0%とやや高めとなっています。

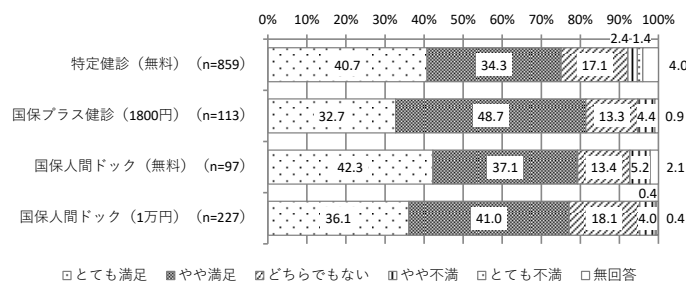
①申し込み方法のわかりやすさ

上段：度数 下段：%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
特定健診（無料）	859	372	311	118	15	10	33
特定健診（無料）	100.0	43.3	36.2	13.7	1.7	1.2	3.8
国保プラス健診（1800円）	113	38	56	16	2	-	1
国保プラス健診（1800円）	100.0	33.6	49.6	14.2	1.8	-	0.9
国保人間ドック（無料）	97	33	43	15	4	-	2
国保人間ドック（無料）	100.0	34.0	44.3	15.5	4.1	-	2.1
国保人間ドック（1万円）	227	86	104	28	7	1	1
国保人間ドック（1万円）	100.0	37.9	45.8	12.3	3.1	0.4	0.4



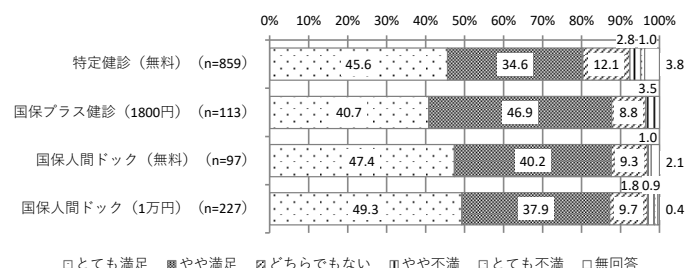
②予約の取りやすさ

上段：度数 下段：%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
特定健診（無料）	859	350	295	147	21	12	34
特定健診（無料）	100.0	40.7	34.3	17.1	2.4	1.4	4.0
国保プラス健診（1800円）	113	37	55	15	5	-	1
国保プラス健診（1800円）	100.0	32.7	48.7	13.3	4.4	-	0.9
国保人間ドック（無料）	97	41	36	13	5	-	2
国保人間ドック（無料）	100.0	42.3	37.1	13.4	5.2	-	2.1
国保人間ドック（1万円）	227	82	93	41	9	1	1
国保人間ドック（1万円）	100.0	36.1	41.0	18.1	4.0	0.4	0.4



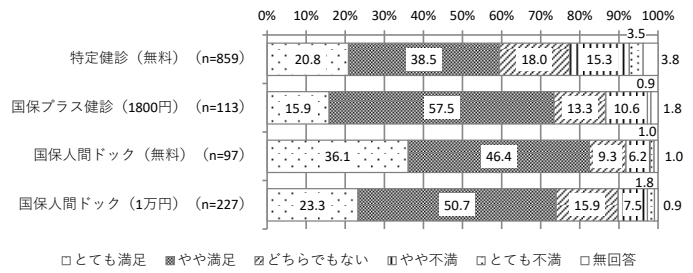
③受診した医療機関の対応・スムーズさ

上段：度数 下段：%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
特定健診（無料）	859	392	297	104	24	9	33
特定健診（無料）	100.0	45.6	34.6	12.1	2.8	1.0	3.8
国保プラス健診（1800円）	113	46	53	10	4	-	-
国保プラス健診（1800円）	100.0	40.7	46.9	8.8	3.5	-	-
国保人間ドック（無料）	97	46	39	9	1	-	2
国保人間ドック（無料）	100.0	47.4	40.2	9.3	1.0	-	2.1
国保人間ドック（1万円）	227	112	86	22	4	2	1
国保人間ドック（1万円）	100.0	49.3	37.9	9.7	1.8	0.9	0.4



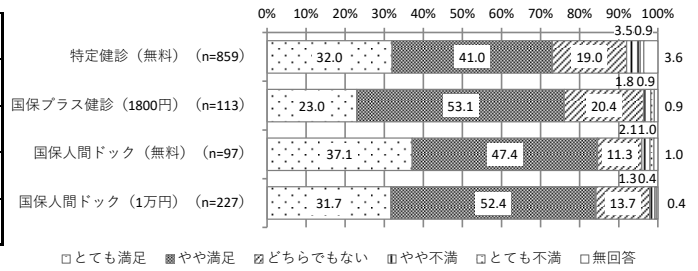
④検査項目

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
特定健診（無料）	859	179	331	155	131	30	33
	100.0	20.8	38.5	18.0	15.3	3.5	3.8
国保プラス健診（1800円）	113	18	65	15	12	1	2
	100.0	15.9	57.5	13.3	10.6	0.9	1.8
国保人間ドック（無料）	97	35	45	9	6	1	1
	100.0	36.1	46.4	9.3	6.2	1.0	1.0
国保人間ドック（1万円）	227	53	115	36	17	4	2
	100.0	23.3	50.7	15.9	7.5	1.8	0.9



⑤結果のわかりやすさ

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
特定健診（無料）	859	275	352	163	30	8	31
	100.0	32.0	41.0	19.0	3.5	0.9	3.6
国保プラス健診（1800円）	113	26	60	23	2	1	1
	100.0	23.0	53.1	20.4	1.8	0.9	0.9
国保人間ドック（無料）	97	36	46	11	2	1	1
	100.0	37.1	47.4	11.3	2.1	1.0	1.0
国保人間ドック（1万円）	227	72	119	31	3	1	1
	100.0	31.7	52.4	13.7	1.3	0.4	0.4

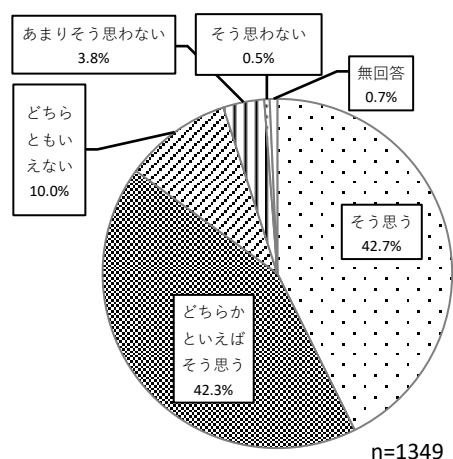


問19 健診が生活習慣見直しのきっかけになったか

問19. 健診を受診することで、生活習慣を見直すきっかけになったと思いますか。(1つに○)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が85.0%と、健診を受診した方の約8割が生活習慣を見直すきっかけになったと感じており、健診が意識変容に高い効果をもたらしていることがわかります。「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計は4.3%にとどまっており、否定的な評価は極めて少ない結果となっています。

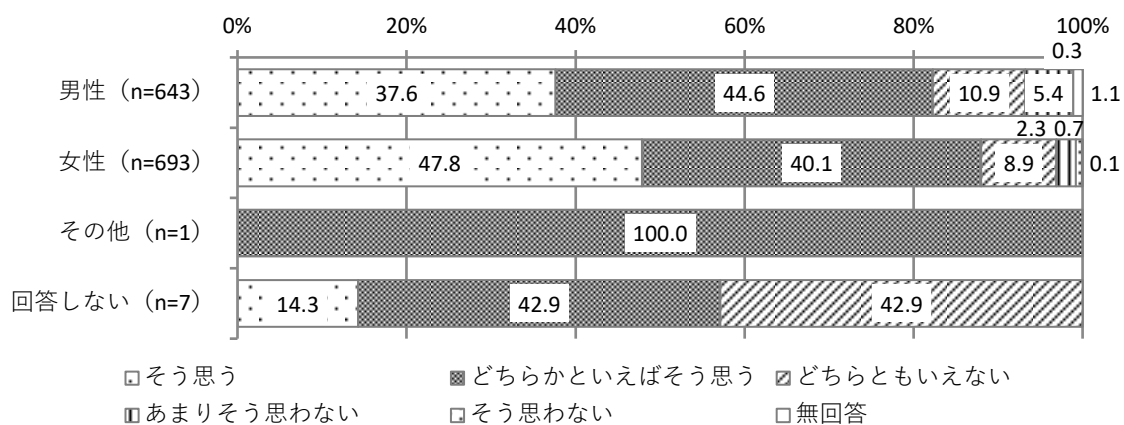
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	そう思う	576	42.7
2	どちらかといえばそう思う	571	42.3
3	どちらともいえない	135	10.0
4	あまりそう思わない	51	3.8
5	そう思わない	7	0.5
	無回答	9	0.7
	N (%ベース)	1349	100



■ 性別

性別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた肯定的回答は、男性が82.2%、女性が87.9%と、ともに8割を超えており、健診が生活習慣改善の意識づけに高い効果をもたらしていることがわかります。女性の方が「そう思う」が約10%高く、健診をきっかけとした意識の変容が特に女性で強く見られます。

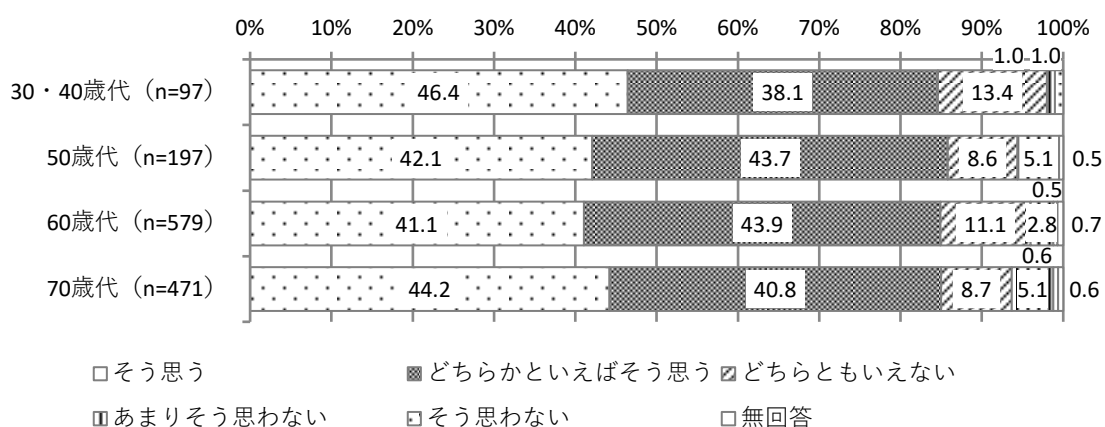
上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わな い	無回答
男性	643 100.0	242 37.6	287 44.6	70 10.9	35 5.4	2 0.3	7 1.1
女性	693 100.0	331 47.8	278 40.1	62 8.9	16 2.3	5 0.7	1 0.1
その他	1 100.0	-	1 100.0	-	-	-	-
回答しない	7 100.0	1 14.3	3 42.9	3 42.9	-	-	-



■ 年代別

年代別にみると、「そう思う」は、30・40歳代が46.4%と最も高く、次いで70歳代が44.2%、50歳代が42.1%、60歳代が41.1%となっています。年齢層による大きな差はみられず、どの世代においても健診が生活習慣を見直す強いきっかけになっていることがわかります。

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらかとい えばそう 思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	そう思わ ない	無回答
30・40歳代	97 100.0	45 46.4	37 38.1	13 13.4	1 1.0	1 1.0	— —
50歳代	197 100.0	83 42.1	86 43.7	17 8.6	10 5.1	— —	1 0.5
60歳代	579 100.0	238 41.1	254 43.9	64 11.1	16 2.8	3 0.5	4 0.7
70歳代	471 100.0	208 44.2	192 40.8	41 8.7	24 5.1	3 0.6	3 0.6

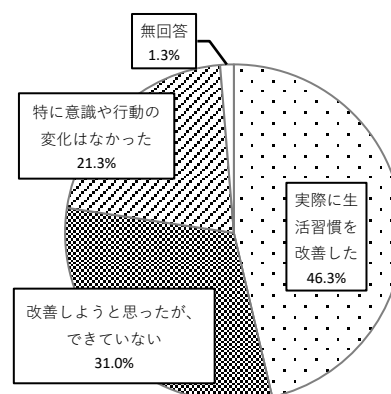


問20 健診後に実際に生活習慣を見直したか

問20. 健診を受診したあと、生活習慣を見直す行動をとりましたか。(1つに○)

「実際に生活習慣を改善した」が46.3%と約半数に達しており、健診が行動変容につながっているケースが多いことがわかります。一方、「改善しようと思ったが、できていない」が31.0%と約3割を占めており、意欲はあっても実際の行動に移せていない人が一定数いることがうかがえます。問19で85.0%が見直しのきっかけになったと回答しているのに対し、実際に改善できた方は46.3%にとどまっており、意識の変化を行動につなげるための継続的なフォローアップが課題といえます。

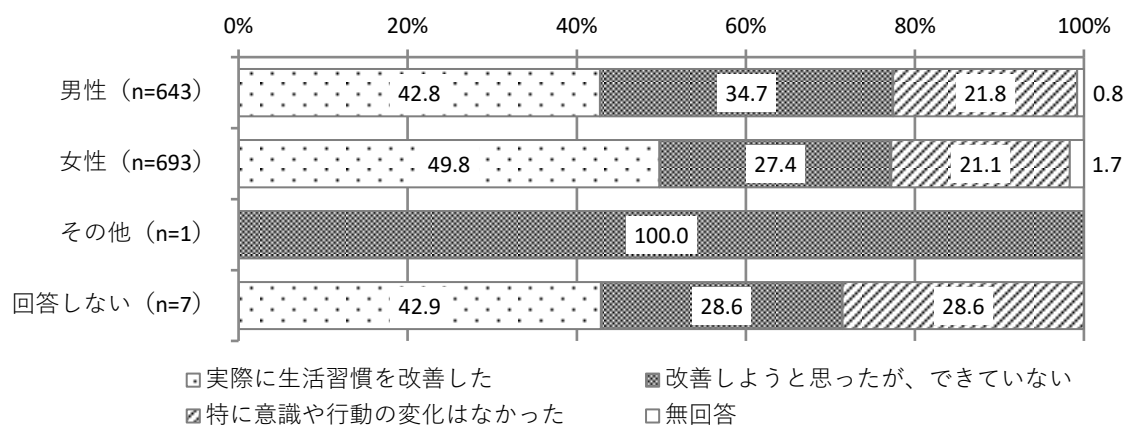
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	実際に生活習慣を改善した	625	46.3
2	改善しようと思ったが、できていない	418	31.0
3	特に意識や行動の変化はなかった	288	21.3
	無回答	18	1.3
	N (%ベース)	1349	100



■ 性別

性別にみると、「実際に生活習慣を改善した」は女性が49.8%、男性が42.8%と、女性が約7%高く、問19の意識変容の結果とも整合しています。「改善しようと思ったが、できていない」は男性が34.7%、女性が27.4%と男性の方が高く、意識はあっても行動に移せていない男性へのフォローアップが有効と考えられます。

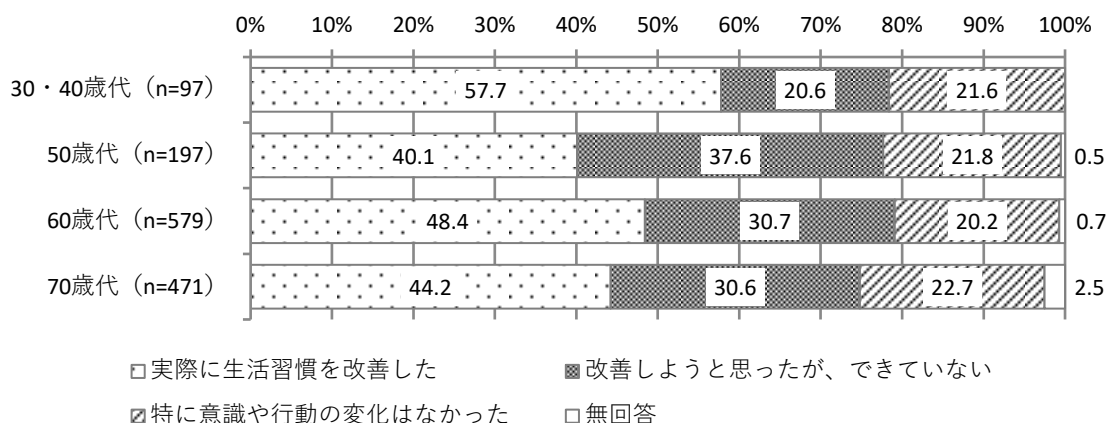
上段:度数 下段:%	合計	実際に生活習慣を改善した	改善しようと思ったが、できていない	特に意識や行動の変化はなかった	無回答
男性	643 100.0	275 42.8	223 34.7	140 21.8	5 0.8
女性	693 100.0	345 49.8	190 27.4	146 21.1	12 1.7
その他	1 100.0	-	1 100.0	-	-
回答しない	7 100.0	3 42.9	2 28.6	2 28.6	-



■ 年代別

年代別にみると、「実際に生活習慣を改善した」は30・40歳代が57.7%と最も高く、若い年代が健診後の行動変容において最も積極的です。50歳代以降は40～48%台で推移しており、年代が上がるにつれてやや低下する傾向があります。「改善しようと思ったが、できていない」は50歳代が37.6%と最も高く、意欲はあっても行動に移せていない中年層への継続的なフォローアップが有効と考えられます。

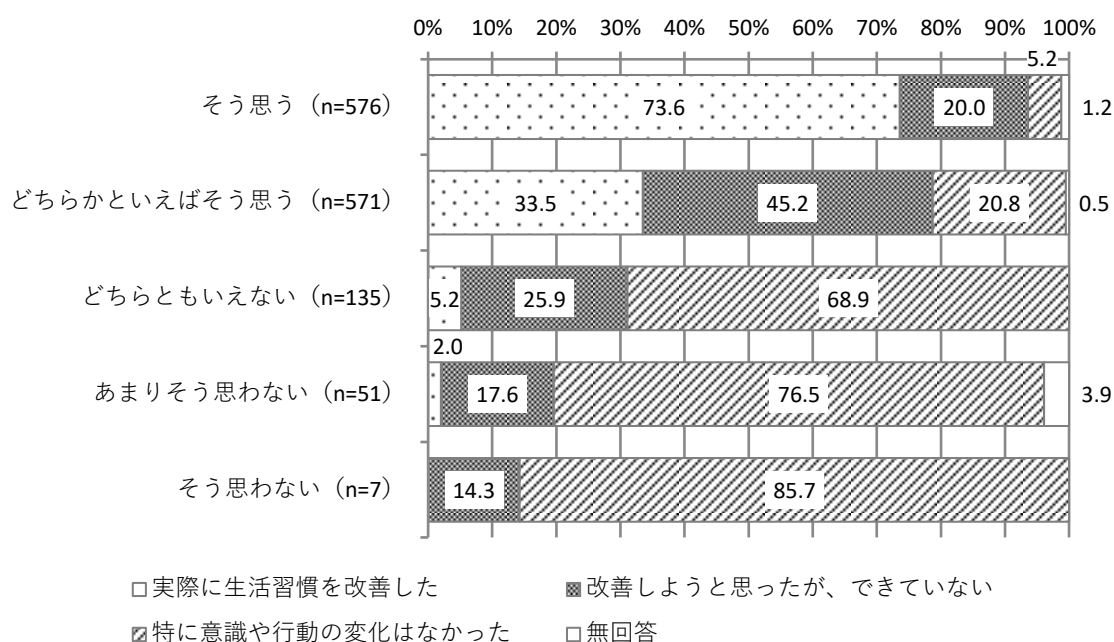
上段:度数 下段:%	合計	実際に生活習慣を改善した	改善しようと思ったが、できていない	特に意識や行動の変化はなかった	無回答
30・40歳代	97 100.0	56 57.7	20 20.6	21 21.6	— —
50歳代	197 100.0	79 40.1	74 37.6	43 21.8	1 0.5
60歳代	579 100.0	280 48.4	178 30.7	117 20.2	4 0.7
70歳代	471 100.0	208 44.2	144 30.6	107 22.7	12 2.5



■ 生活習慣見直しへのきっかけになったか別

生活習慣見直しのきっかけになったと思うかどうか別にみると、きっかけになったと強く感じた人ほど実際の行動変容につながっている傾向があります。「そう思う」人では「実際に生活習慣を改善した」が73.6%と突出して高く、健診が強い動機づけとなった人の多くが具体的な行動に移しています。一方、「どちらかといえばそう思う」人では改善できた人が33.5%にとどまり、「改善しようと思ったが、できていない」が45.2%と最も高くなっており、意欲はあっても行動に結びつかない人が多いことがわかります。きっかけになったと思わない人ほど「特に意識や行動の変化はなかった」の割合が高く、「どちらともいえない」で68.9%、「あまりそう思わない」で76.5%、「そう思わない」で85.7%と増加しています。健診をきっかけと感じられなかった人への働きかけとあわせて、「どちらかといえばそう思う」層の意欲を行動につなげるフォローアップが受診後の生活習慣改善において重要な課題といえます。

上段:度数 下段:%	合計	実際に生活習慣を改善した	改善しようと思ったが、できていない	特に意識や行動の変化はなかった	無回答
そう思う	576 100.0	424 73.6	115 20.0	30 5.2	7 1.2
どちらかといえばそう思う	571 100.0	191 33.5	258 45.2	119 20.8	3 0.5
どちらともいえない	135 100.0	7 5.2	35 25.9	93 68.9	-
あまりそう思わない	51 100.0	1 2.0	9 17.6	39 76.5	2 3.9
そう思わない	7 100.0	-	1 14.3	6 85.7	-



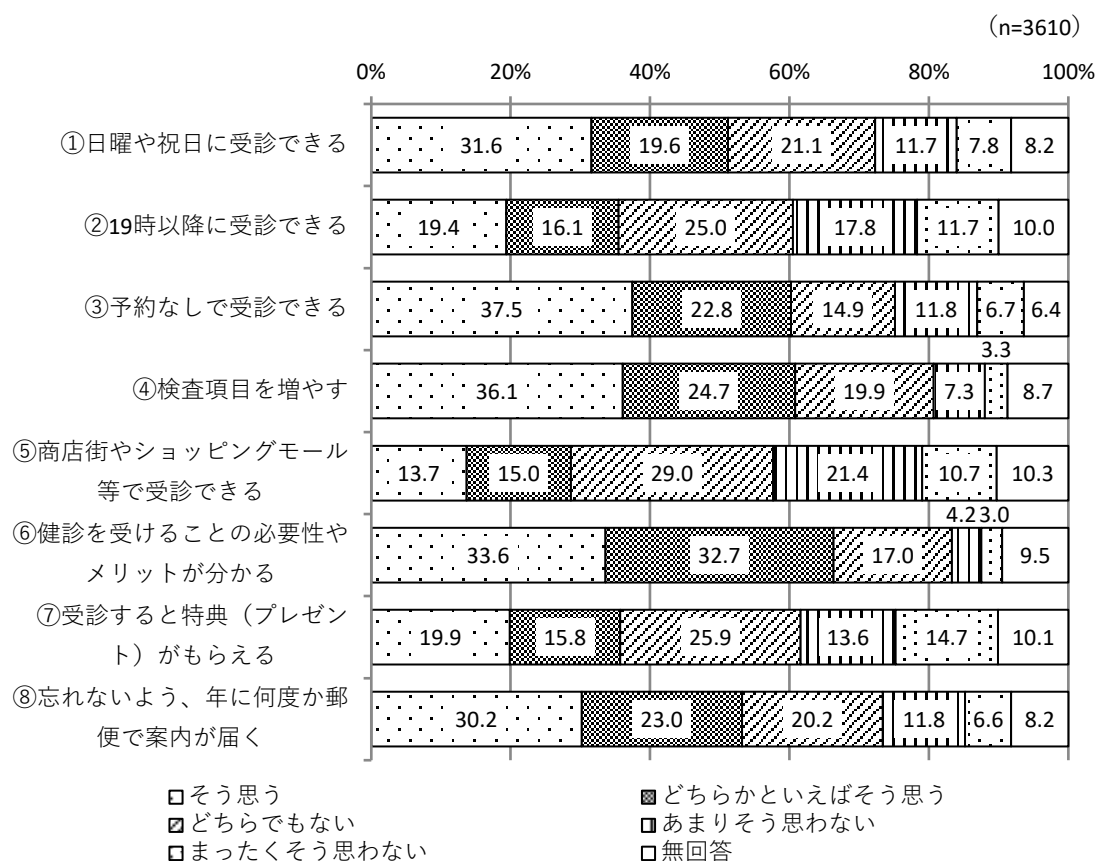
問21 健診受診を促進するための条件への賛否

すべての方におたずねします。

問21. 以下の条件であれば、国保の健診を受診したいと思いますか。また、受診しやすくなると思えますか。あなたの考えに最も近い番号に○をつけてください。（それぞれ1つだけに○）

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計が最も高いのは「⑥健診を受けることの必要性やメリットが分かる」が66.3%、「④検査項目を増やす」が60.8%、次いで、「③予約なしで受診できる」で60.3%と続いており、これらが受診促進に効果的と考えられる施策といえます。「⑧忘れないよう、年に何度か郵便で案内が届く」も53.2%と過半数を超えています。「②19時以降に受診できる」は35.5%と他の項目に比べてやや低く、夜間受診のニーズは限定的といえます。受診促進にあたっては、予約の簡便化や健診の必要性・メリットの周知、検査項目の充実を優先的に取り組むことが効果的と考えられます。

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらかといえばそう	どちらでもない	あまりそう 思わない	まったく 思わない	無回答
①日曜や祝日に受診できる	3610 100.0	1140 31.6	707 19.6	763 21.1	424 11.7	280 7.8	296 8.2
②19時以降に受診できる	3610 100.0	700 19.4	581 16.1	901 25.0	644 17.8	422 11.7	362 10.0
③予約なしで受診できる	3610 100.0	1353 37.5	822 22.8	537 14.9	425 11.8	242 6.7	231 6.4
④検査項目を増やす	3610 100.0	1305 36.1	891 24.7	719 19.9	262 7.3	118 3.3	315 8.7
⑤商店街やショッピングモール等で 受診できる	3610 100.0	493 13.7	542 15.0	1048 29.0	771 21.4	385 10.7	371 10.3
⑥健診を受けることの必要性やメ リットが分かる	3610 100.0	1214 33.6	1180 32.7	612 17.0	152 4.2	108 3.0	344 9.5
⑦受診すると特典（プレゼント）が もらえる	3610 100.0	718 19.9	571 15.8	935 25.9	491 13.6	530 14.7	365 10.1
⑧忘れないよう、年に何度か郵便で 案内が届く	3610 100.0	1092 30.2	830 23.0	728 20.2	425 11.8	240 6.6	295 8.2

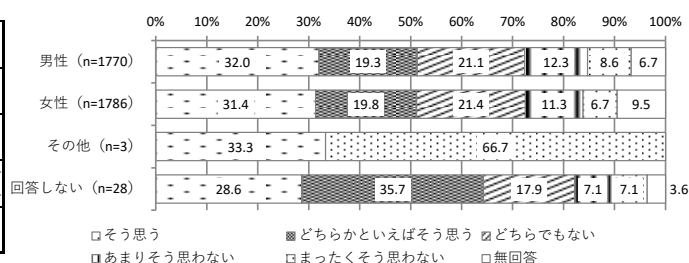


■ 性別

性別にみると、男女間で大きな差は見られませんが、いくつかの項目で傾向の違いがあります。「③予約なしで受診できる」と「⑥健診の必要性やメリットが分かる」は男女ともに支持が高い施策です。「③予約なしで受診できる」は男性が57.9%、女性が62.5%と女性がやや高く、「⑥健診の必要性やメリットが分かる」は男性が66.3%、女性が67.0%と男女ともに6割を超えています。「②19時以降に受診できる」は男性が37.7%、女性が33.2%と男性がやや高く、夜間受診のニーズは女性より男性でやや強い傾向があります。「⑦受診すると特典がもらえる」は女性が37.5%、男性が34.2%と女性がやや高く、「⑧郵便で案内が届く」は男性が56.2%、女性が51.1%と男性がやや高くなっています。「⑤商店街やショッピングモール等で受診できる」は男性が28.3%、女性が29.4%と、男女ともに他の項目と比べて支持が低い結果となっています。

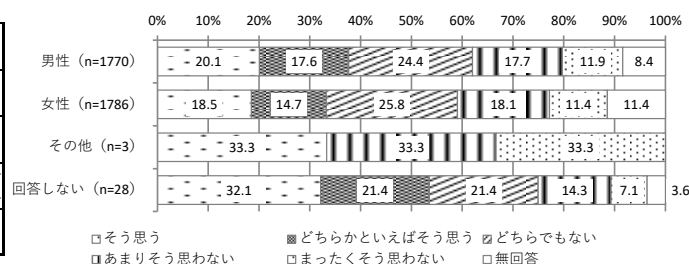
①日曜や祝日に受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	1770	566	342	374	217	153	118
	100.0	32.0	19.3	21.1	12.3	8.6	6.7
女性	1786	560	354	382	202	119	169
	100.0	31.4	19.8	21.4	11.3	6.7	9.5
その他	3	1	-	-	-	2	-
	100.0	33.3	-	-	-	66.7	-
回答しない	28	8	10	5	2	2	1
	100.0	28.6	35.7	17.9	7.1	7.1	3.6



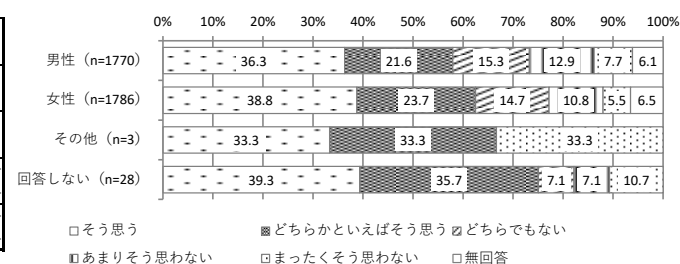
②19時以降に受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	1770	355	311	432	313	211	148
	100.0	20.1	17.6	24.4	17.7	11.9	8.4
女性	1786	331	262	461	324	204	204
	100.0	18.5	14.7	25.8	18.1	11.4	11.4
その他	3	1	-	-	1	1	-
	100.0	33.3	-	-	33.3	33.3	-
回答しない	28	9	6	6	4	2	1
	100.0	32.1	21.4	21.4	14.3	7.1	3.6



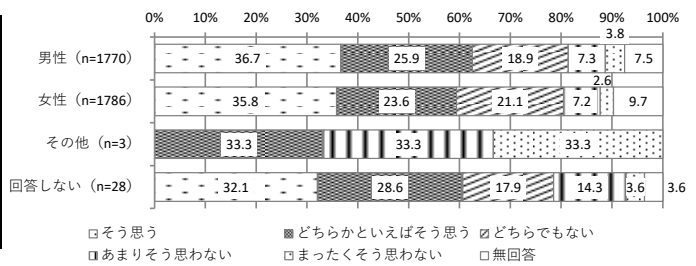
③予約なしで受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	1770	643	383	271	229	136	108
	100.0	36.3	21.6	15.3	12.9	7.7	6.1
女性	1786	693	423	263	192	99	116
	100.0	38.8	23.7	14.7	10.8	5.5	6.5
その他	3	1	1	-	-	1	-
	100.0	33.3	33.3	-	-	33.3	-
回答しない	28	11	10	2	2	3	-
	100.0	39.3	35.7	7.1	7.1	10.7	-



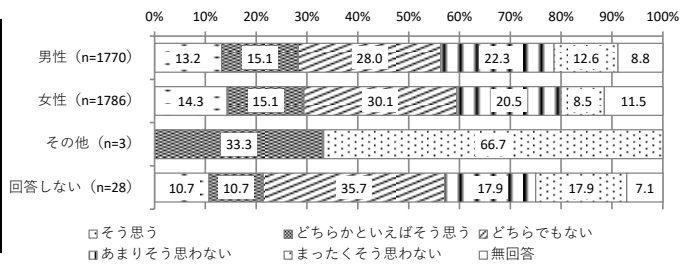
④検査項目を増やす

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	1770	649	459	334	129	67	132
女性	1786	640	421	377	128	47	173
その他	3	-	1	-	1	1	-
回答しない	28	9	8	5	4	1	1
	100.0	36.7	25.9	18.9	7.3	3.8	7.5
	100.0	35.8	23.6	21.1	7.2	2.6	9.7
	100.0	-	33.3	-	33.3	33.3	-
	100.0	-	33.3	-	33.3	33.3	-
	100.0	32.1	28.6	17.9	14.3	3.6	3.6



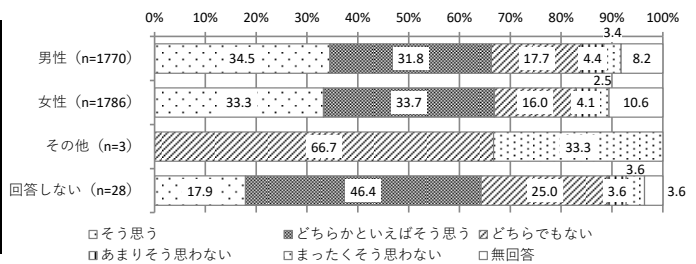
⑤商店街やショッピングモール等で受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	1770	234	268	495	395	223	155
女性	1786	256	269	537	367	152	205
その他	3	-	1	-	-	2	-
回答しない	28	3	3	10	5	5	2
	100.0	13.2	15.1	28.0	22.3	12.6	8.8
	100.0	14.3	15.1	30.1	20.5	8.5	11.5
	100.0	-	33.3	-	-	66.7	-
	100.0	-	33.3	-	-	66.7	-
	100.0	10.7	10.7	35.7	17.9	17.9	7.1



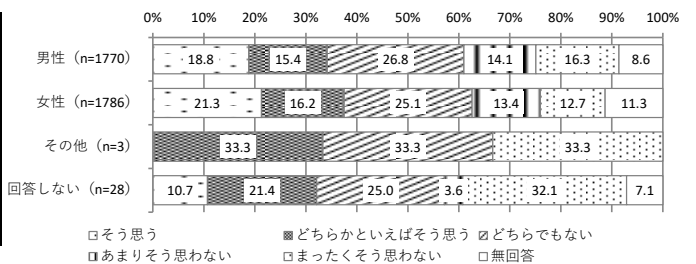
⑥健診を受けることの必要性やメリットが分かる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	1770	611	563	313	78	60	145
女性	1786	594	601	285	73	44	189
その他	3	-	-	2	-	1	-
回答しない	28	5	13	7	1	1	1
	100.0	34.5	31.8	17.7	4.4	3.4	8.2
	100.0	33.3	33.7	16.0	4.1	2.5	10.6
	100.0	-	-	66.7	-	33.3	-
	100.0	-	-	66.7	-	33.3	-
	100.0	17.9	46.4	25.0	3.6	3.6	3.6



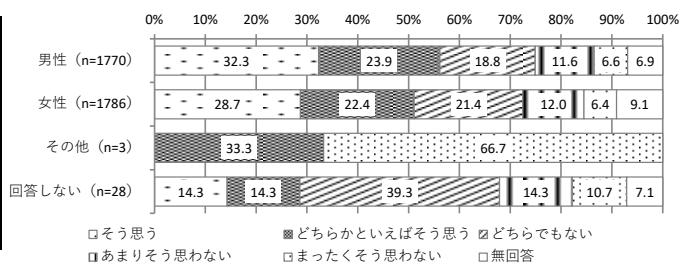
⑦受診すると（プレゼント）がもらえる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	1770	333	273	475	249	288	152
女性	1786	381	290	449	239	226	201
その他	3	-	1	1	-	1	-
回答しない	28	3	6	7	1	9	2
	100.0	18.8	15.4	26.8	14.1	16.3	8.6
	100.0	21.3	16.2	25.1	13.4	12.7	11.3
	100.0	-	33.3	33.3	-	33.3	-
	100.0	-	33.3	33.3	-	33.3	-
	100.0	10.7	21.4	25.0	3.6	32.1	7.1



⑧忘れないよう、年に何回か郵便で案内が届く

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	1770	571	423	332	205	117	122
女性	1786	512	400	382	215	115	162
その他	3	-	1	-	-	2	-
回答しない	28	4	4	11	4	3	2
	100.0	32.3	23.9	18.8	11.6	6.6	6.9
	100.0	28.7	22.4	21.4	12.0	6.4	9.1
	100.0	-	33.3	-	-	66.7	-
	100.0	-	33.3	-	-	66.7	-
	100.0	14.3	14.3	39.3	14.3	10.7	7.1

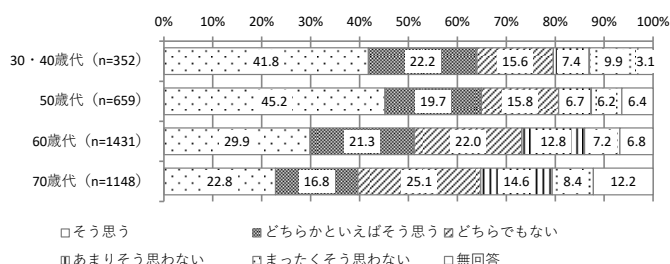


■ 年代別

年代別にみると、『①日曜や祝日に受診できる』と『②19時以降に受診できる』は若い年代ほど効果的と評価する割合が高く、『①日曜や祝日に受診できる』の肯定的回答は30・40歳代が64.0%、50歳代が64.9%に対し、70歳代では39.6%と大きく低下しています。②19時以降の受診も30・40歳代が52.9%、50歳代が50.4%に対し、60歳代が33.8%、70歳代が23.9%と年代差が顕著であり、時間延長のニーズは就労世代に特に強い施策であることがわかります。『③予約なしで受診できる』は全年代で支持が高く、30・40歳代が68.5%、50歳代が66.1%、60歳代が58.6%、70歳代が56.8%と、年代差はあるものの幅広い年代に有効な施策といえます。『⑥健診を受けることの必要性やメリットが分かる』と『⑧忘れないよう、年に何度か郵便で案内が届く』も年代間の差が比較的小さく、全年代を通じた取り組みとして重要です。『⑤商店街やショッピングモール等で受診できる』と『⑦受診すると特典（プレゼント）がもらえる』は若い年代ほど支持が高く、『⑤商店街やショッピングモール等で受診できる』は30・40歳代が43.5%に対し70歳代が20.0%、『⑦受診すると特典（プレゼント）がもらえる』は30・40歳代が51.7%に対し70歳代が23.7%と年代差が大きくなっています。これらの施策は若・中年層への受診促進策として特に有効と考えられます。『④検査項目を増やす』は全年代で60%前後と比較的安定した支持を得ており、年代を問わず幅広く有効な施策といえます。

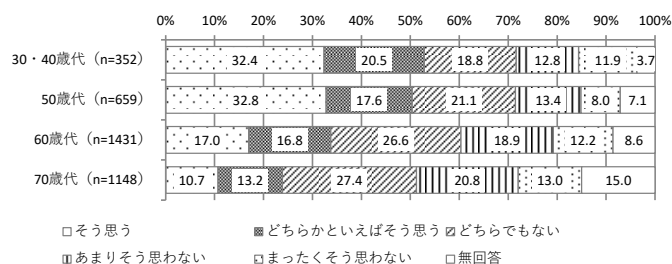
①日曜や祝日に受診できる

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	352	147	78	55	26	35	11
	100.0	41.8	22.2	15.6	7.4	9.9	3.1
50歳代	659	298	130	104	44	41	42
	100.0	45.2	19.7	15.8	6.7	6.2	6.4
60歳代	1431	428	305	315	183	103	97
	100.0	29.9	21.3	22.0	12.8	7.2	6.8
70歳代	1148	262	193	288	168	97	140
	100.0	22.8	16.8	25.1	14.6	8.4	12.2



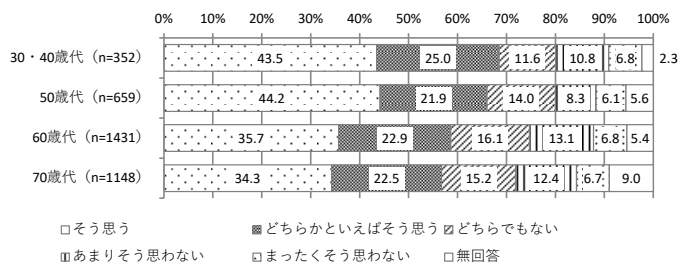
②19時以降に受診できる

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	352	114	72	66	45	42	13
	100.0	32.4	20.5	18.8	12.8	11.9	3.7
50歳代	659	216	116	139	88	53	47
	100.0	32.8	17.6	21.1	13.4	8.0	7.1
60歳代	1431	243	240	381	270	174	123
	100.0	17.0	16.8	26.6	18.9	12.2	8.6
70歳代	1148	123	151	314	239	149	172
	100.0	10.7	13.2	27.4	20.8	13.0	15.0



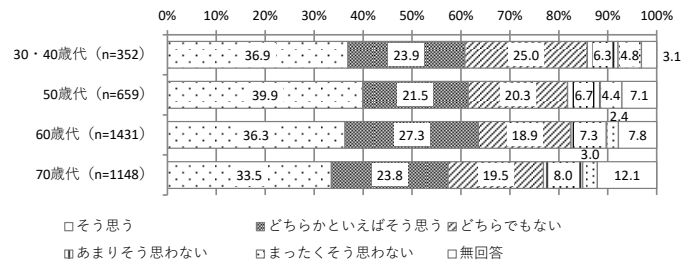
③予約なしで受診できる

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	352	153	88	41	38	24	8
	100.0	43.5	25.0	11.6	10.8	6.8	2.3
50歳代	659	291	144	92	55	40	37
	100.0	44.2	21.9	14.0	8.3	6.1	5.6
60歳代	1431	511	327	230	188	98	77
	100.0	35.7	22.9	16.1	13.1	6.8	5.4
70歳代	1148	394	258	174	142	77	103
	100.0	34.3	22.5	15.2	12.4	6.7	9.0



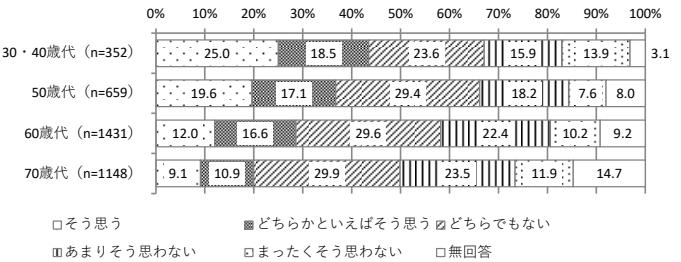
④検査項目を増やす

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	352	130	84	88	22	17	11
	100.0	36.9	23.9	25.0	6.3	4.8	3.1
50歳代	659	263	142	134	44	29	47
	100.0	39.9	21.5	20.3	6.7	4.4	7.1
60歳代	1431	520	390	271	104	35	111
	100.0	36.3	27.3	18.9	7.3	2.4	7.8
70歳代	1148	385	273	224	92	35	139
	100.0	33.5	23.8	19.5	8.0	3.0	12.1



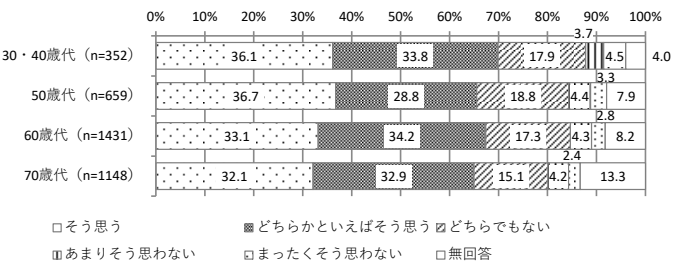
⑤商店街やショッピングモール等で受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	352	88	65	83	56	49	11
	100.0	25.0	18.5	23.6	15.9	13.9	3.1
50歳代	659	129	113	194	120	50	53
	100.0	19.6	17.1	29.4	18.2	7.6	8.0
60歳代	1431	172	238	423	321	146	131
	100.0	12.0	16.6	29.6	22.4	10.2	9.2
70歳代	1148	104	125	343	270	137	169
	100.0	9.1	10.9	29.9	23.5	11.9	14.7



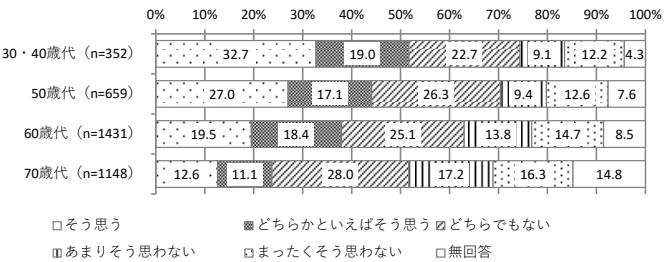
⑥健診を受けることの必要性やメリットが分かる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	352	127	119	63	13	16	14
	100.0	36.1	33.8	17.9	3.7	4.5	4.0
50歳代	659	242	190	124	29	22	52
	100.0	36.7	28.8	18.8	4.4	3.3	7.9
60歳代	1431	473	490	248	62	40	118
	100.0	33.1	34.2	17.3	4.3	2.8	8.2
70歳代	1148	368	378	173	48	28	153
	100.0	32.1	32.9	15.1	4.2	2.4	13.3



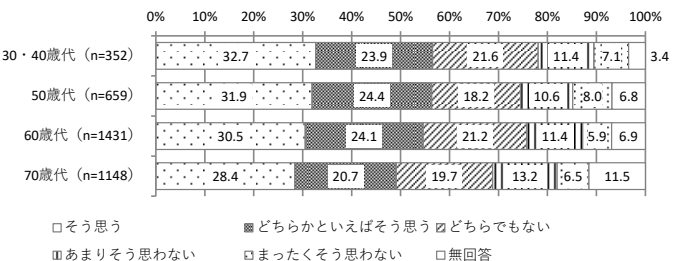
⑦受診すると（プレゼント）がもらえる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	352	115	67	80	32	43	15
	100.0	32.7	19.0	22.7	9.1	12.2	4.3
50歳代	659	178	113	173	62	83	50
	100.0	27.0	17.1	26.3	9.4	12.6	7.6
60歳代	1431	279	263	359	197	211	122
	100.0	19.5	18.4	25.1	13.8	14.7	8.5
70歳代	1148	145	127	321	198	187	170
	100.0	12.6	11.1	28.0	17.2	16.3	14.8



⑧忘れないよう、年に何度が郵便で案内が届く

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	352	115	84	76	40	25	12
	100.0	32.7	23.9	21.6	11.4	7.1	3.4
50歳代	659	210	161	120	70	53	45
	100.0	31.9	24.4	18.2	10.6	8.0	6.8
60歳代	1431	436	345	304	163	84	99
	100.0	30.5	24.1	21.2	11.4	5.9	6.9
70歳代	1148	326	238	226	151	75	132
	100.0	28.4	20.7	19.7	13.2	6.5	11.5

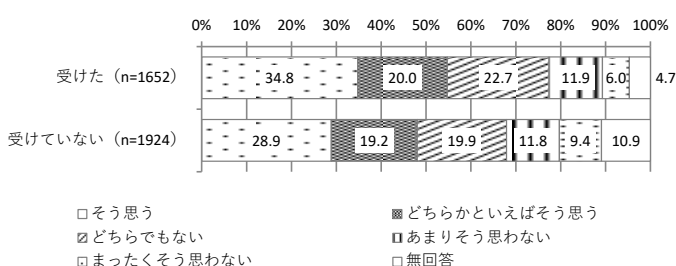


■ 令和6年度の受診状況

令和6年度の受診状況別にみると、肯定的回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）は、『④検査項目を増やす』は受けた人が74.7%、受けていない人が48.9%、『⑥健診の必要性やメリットが分かる』は受けた人が77.1%、受けていない人が57.4%、『⑦受診すると特典がもらえる』は受けた人が44.3%、受けていない人が28.5%、『⑧郵便で案内が届く』は受けた人が60.7%、受けていない人が46.9%と、受診した人の方が効果的と評価する割合が高くなっています。一方、『③予約なしで受診できる』は「受けていない」人が62.8%と「受けた」人の57.6%を上回っており、未受診者にとって予約の手間が受診の障壁になっている実態がうかがえます。受診した人には健診内容の充実や情報提供が有効である一方、未受診者には手続きの簡便化が受診促進の鍵となると考えられます。

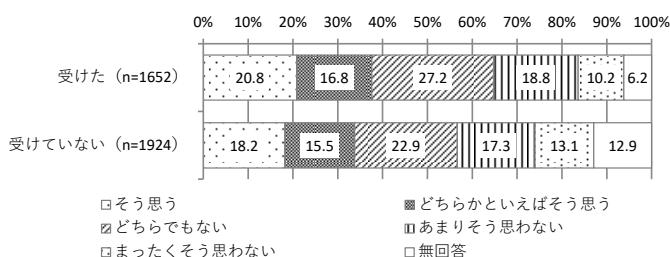
①日曜や祝日に受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
受けた	1652	575	330	375	196	99	77
受けていない	1924	556	370	382	227	180	209
	100.0	34.8	20.0	22.7	11.9	6.0	4.7
	100.0	28.9	19.2	19.9	11.8	9.4	10.9



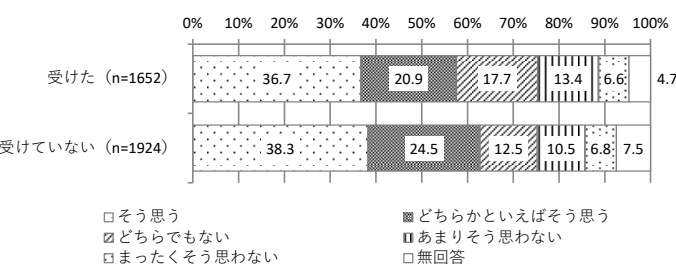
②19時以降に受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
受けた	1652	343	278	450	310	168	103
受けていない	1924	350	298	441	333	253	249
	100.0	20.8	16.8	27.2	18.8	10.2	6.2
	100.0	18.2	15.5	22.9	17.3	13.1	12.9



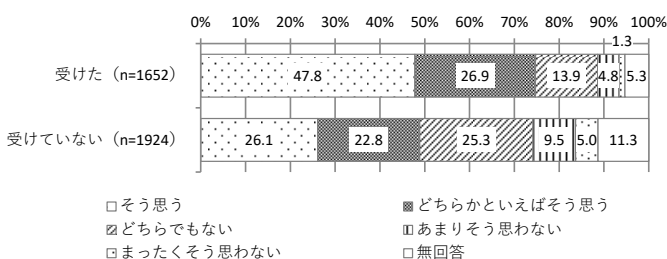
③予約なしで受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
受けた	1652	606	345	293	222	109	77
受けていない	1924	736	471	241	202	130	144
	100.0	36.7	20.9	17.7	13.4	6.6	4.7
	100.0	38.3	24.5	12.5	10.5	6.8	7.5



④検査項目を増やす

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
受けた	1652	790	445	229	79	21	88
受けていない	1924	503	438	487	182	96	218
	100.0	47.8	26.9	13.9	4.8	1.3	5.3
	100.0	26.1	22.8	25.3	9.5	5.0	11.3

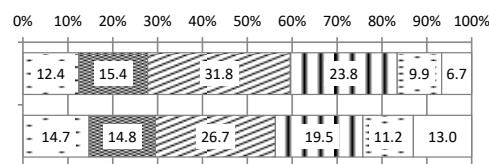


⑤商店街やショッピングモール等で受診できる

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
受けた	1652	205	254	526	393	164	110
受けていない	1924	283	284	514	376	216	251
	100.0	12.4	15.4	31.8	23.8	9.9	6.7
	100.0	14.7	14.8	26.7	19.5	11.2	13.0

受けた (n=1652)

受けていない (n=1924)



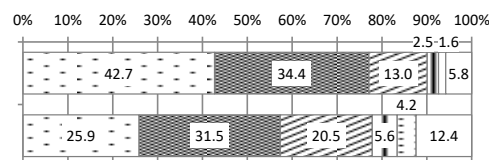
- ☐ そう思う
- ☒ どちらかといえばそう思う
- ☒ どちらでもない
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ まったくそう思わない
- ☐ 無回答

⑥健診を受けることの必要性やメリットが分かる

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
受けた	1652	706	568	214	42	26	96
受けていない	1924	498	606	394	108	80	238
	100.0	42.7	34.4	13.0	2.5	1.6	5.8
	100.0	25.9	31.5	20.5	5.6	4.2	12.4

受けた (n=1652)

受けていない (n=1924)



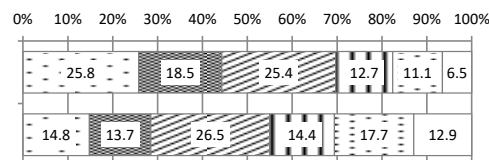
- ☐ そう思う
- ☒ どちらかといえばそう思う
- ☒ どちらでもない
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ まったくそう思わない
- ☐ 無回答

⑦受診すると（プレゼント）がもらえる

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
受けた	1652	427	305	419	210	184	107
受けていない	1924	285	263	510	278	340	248
	100.0	25.8	18.5	25.4	12.7	11.1	6.5
	100.0	14.8	13.7	26.5	14.4	17.7	12.9

受けた (n=1652)

受けていない (n=1924)



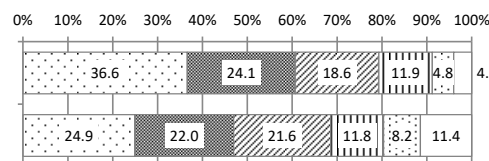
- ☐ そう思う
- ☒ どちらかといえばそう思う
- ☒ どちらでもない
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ まったくそう思わない
- ☐ 無回答

⑧忘れないよう、年に何回か郵便で案内が届く

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
受けた	1652	604	398	307	197	80	66
受けていない	1924	479	424	416	227	158	220
	100.0	36.6	24.1	18.6	11.9	4.8	4.0
	100.0	24.9	22.0	21.6	11.8	8.2	11.4

受けた (n=1652)

受けていない (n=1924)



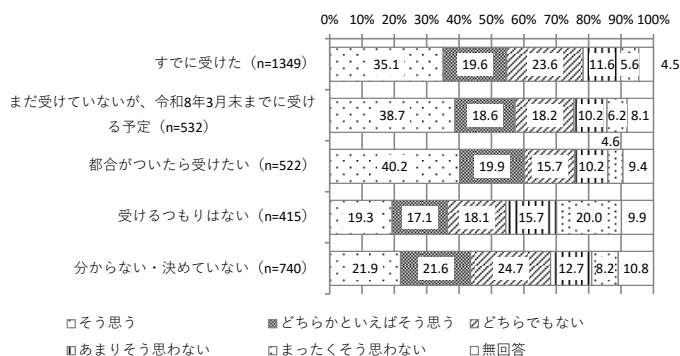
- ☐ そう思う
- ☒ どちらかといえばそう思う
- ☒ どちらでもない
- ☐ あまりそう思わない
- ☐ まったくそう思わない
- ☐ 無回答

■ 令和7年度受診状況

令和7年度の受診予定別にみると、肯定的回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の合計）は、『④検査項目を増やす』は「すでに受けた」が77.3%、「受けるつもりはない」が38.8%、『⑥健診の必要性やメリットが分かる』は「すでに受けた」が77.1%、「受けるつもりはない」が40.7%、『⑧郵便で案内が届く』は「すでに受けた」が60.4%、「受けるつもりはない」が29.7%と、受診意向の高い人ほど効果的と評価する割合が高くなっています。一方、『③予約なしで受診できる』は「都合がついたら受けたい」が70.3%、「分からない・決めていない」が63.7%と高く、「受診を迷っている」に比べて予約の手間が障壁になっている実態がうかがえます。受診意向が定まっていな層には『⑥健診の必要性やメリットが分かる』への支持が比較的高く、健診の意義や効果の情報発信が受診促進につながると考えられます。

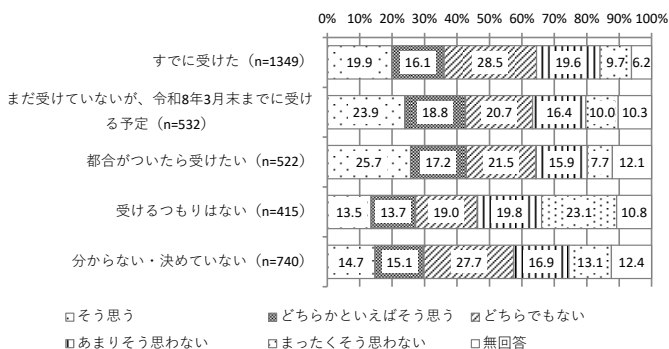
①日曜や祝日に受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
すでに受けた	1349	473	265	318	156	76	61
	100.0	35.1	19.6	23.6	11.6	5.6	4.5
まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	532	206	99	97	54	33	43
	100.0	38.7	18.6	18.2	10.2	6.2	8.1
都合がついたら受けたい	522	210	104	82	53	24	49
	100.0	40.2	19.9	15.7	10.2	4.6	9.4
受けるつもりはない	415	80	71	75	65	83	41
	100.0	19.3	17.1	18.1	15.7	20.0	9.9
分からない・決めていない	740	162	160	183	94	61	80
	100.0	21.9	21.6	24.7	12.7	8.2	10.8



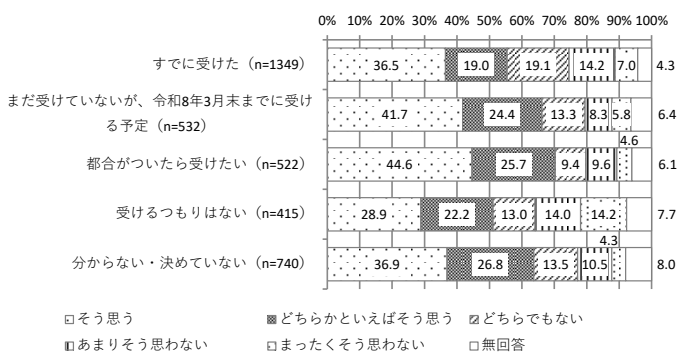
②19時以降に受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
すでに受けた	1349	268	217	384	265	131	84
	100.0	19.9	16.1	28.5	19.6	9.7	6.2
まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	532	127	100	110	87	53	55
	100.0	23.9	18.8	20.7	16.4	10.0	10.3
都合がついたら受けたい	522	134	90	112	83	40	63
	100.0	25.7	17.2	21.5	15.9	7.7	12.1
受けるつもりはない	415	56	57	79	82	96	45
	100.0	13.5	13.7	19.0	19.8	23.1	10.8
分からない・決めていない	740	109	112	205	125	97	92
	100.0	14.7	15.1	27.7	16.9	13.1	12.4



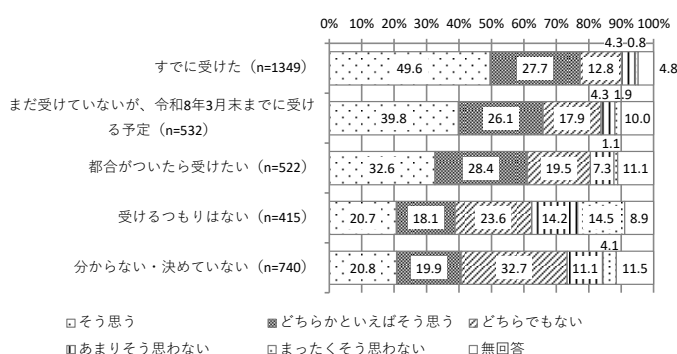
③予約なしで受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
すでに受けた	1349	492	256	257	192	94	58
	100.0	36.5	19.0	19.1	14.2	7.0	4.3
まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	532	222	130	71	44	31	34
	100.0	41.7	24.4	13.3	8.3	5.8	6.4
都合がついたら受けたい	522	233	134	49	50	24	32
	100.0	44.6	25.7	9.4	9.6	4.6	6.1
受けるつもりはない	415	120	92	54	58	59	32
	100.0	28.9	22.2	13.0	14.0	14.2	7.7
分からない・決めていない	740	273	198	100	78	32	59
	100.0	36.9	26.8	13.5	10.5	4.3	8.0



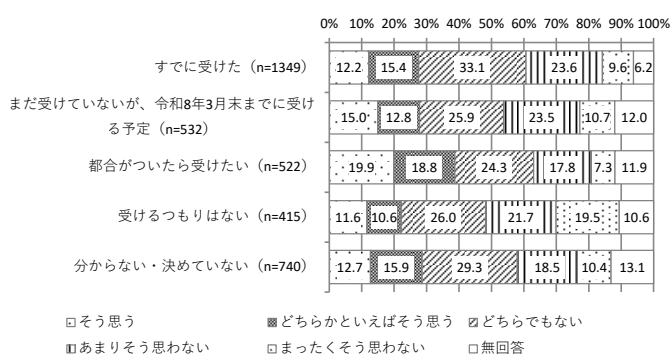
④検査項目を増やす

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
すでに受けた	1349	669	374	172	58	11	65
	100.0	49.6	27.7	12.8	4.3	0.8	4.8
まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	532	212	139	95	23	10	53
	100.0	39.8	26.1	17.9	4.3	1.9	10.0
都合がいたら受けたい	522	170	148	102	38	6	58
	100.0	32.6	28.4	19.5	7.3	1.1	11.1
受けるつもりはない	415	86	75	98	59	60	37
	100.0	20.7	18.1	23.6	14.2	14.5	8.9
分からない・決めていない	740	154	147	242	82	30	85
	100.0	20.8	19.9	32.7	11.1	4.1	11.5



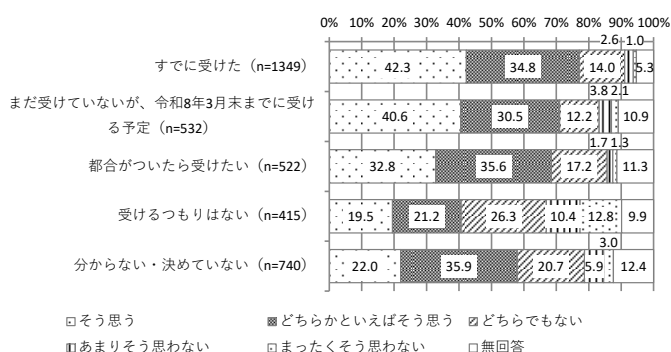
⑤商店街やショッピングモール等で受診できる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
すでに受けた	1349	164	208	447	318	129	83
	100.0	12.2	15.4	33.1	23.6	9.6	6.2
まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	532	80	68	138	125	57	64
	100.0	15.0	12.8	25.9	23.5	10.7	12.0
都合がいたら受けたい	522	104	98	127	93	38	62
	100.0	19.9	18.8	24.3	17.8	7.3	11.9
受けるつもりはない	415	48	44	108	90	81	44
	100.0	11.6	10.6	26.0	21.7	19.5	10.6
分からない・決めていない	740	94	118	217	137	77	97
	100.0	12.7	15.9	29.3	18.5	10.4	13.1



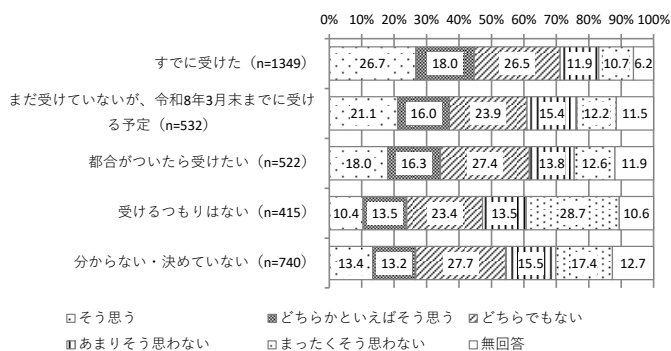
⑥健診を受けることの必要性やメリットが分かる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
すでに受けた	1349	571	469	189	35	14	71
	100.0	42.3	34.8	14.0	2.6	1.0	5.3
まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	532	216	162	65	20	11	58
	100.0	40.6	30.5	12.2	3.8	2.1	10.9
都合がいたら受けたい	522	171	186	90	9	7	59
	100.0	32.8	35.6	17.2	1.7	1.3	11.3
受けるつもりはない	415	81	88	109	43	53	41
	100.0	19.5	21.2	26.3	10.4	12.8	9.9
分からない・決めていない	740	163	266	153	44	22	92
	100.0	22.0	35.9	20.7	5.9	3.0	12.4



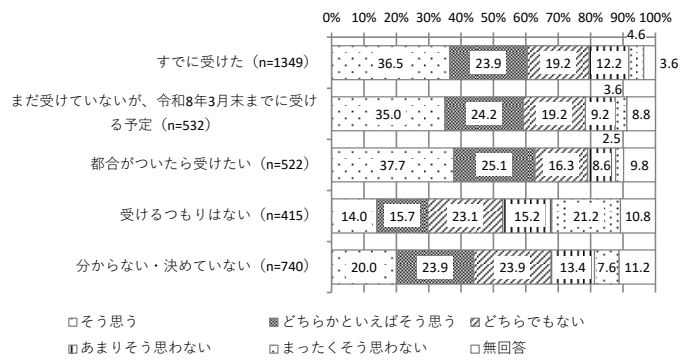
⑦受診すると（プレゼント）がもらえる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
すでに受けた	1349	360	243	358	160	145	83
	100.0	26.7	18.0	26.5	11.9	10.7	6.2
まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	532	112	85	127	82	65	61
	100.0	21.1	16.0	23.9	15.4	12.2	11.5
都合がいたら受けたい	522	94	85	143	72	66	62
	100.0	18.0	16.3	27.4	13.8	12.6	11.9
受けるつもりはない	415	43	56	97	56	119	44
	100.0	10.4	13.5	23.4	13.5	28.7	10.6
分からない・決めていない	740	99	98	205	115	129	94
	100.0	13.4	13.2	27.7	15.5	17.4	12.7



⑧忘れないよう、年に何度か郵便で案内が届く

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
すでに受けた	1349	493	322	259	164	62	49
	100.0	36.5	23.9	19.2	12.2	4.6	3.6
まだ受けていないが、令和8年3月末までに受ける予定	532	186	129	102	49	19	47
	100.0	35.0	24.2	19.2	9.2	3.6	8.8
都合がいついたら受けたい	522	197	131	85	45	13	51
	100.0	37.7	25.1	16.3	8.6	2.5	9.8
受けるつもりはない	415	58	65	96	63	88	45
	100.0	14.0	15.7	23.1	15.2	21.2	10.8
分からない・決めていない	740	148	177	177	99	56	83
	100.0	20.0	23.9	23.9	13.4	7.6	11.2



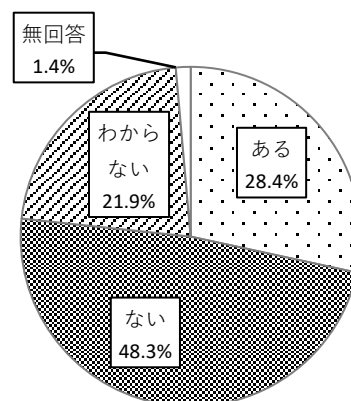
2-4. IV. 特定保健指導について

問22 特定保健指導の案内を受け取ったことがあるか

問22. 特定保健指導の対象者に案内を送付していますが、あなたは今までに特定保健指導の案内を受け取ったことがありますか。(1つに○)

特定保健指導の案内を受け取ったことが「ある」と回答した人は28.4%、「ない」が48.3%、「わからない」が21.9%となっています。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	1026	28.4
2	ない	1742	48.3
3	わからない	791	21.9
	無回答	51	1.4
	N (% [^] -ス)	3610	100

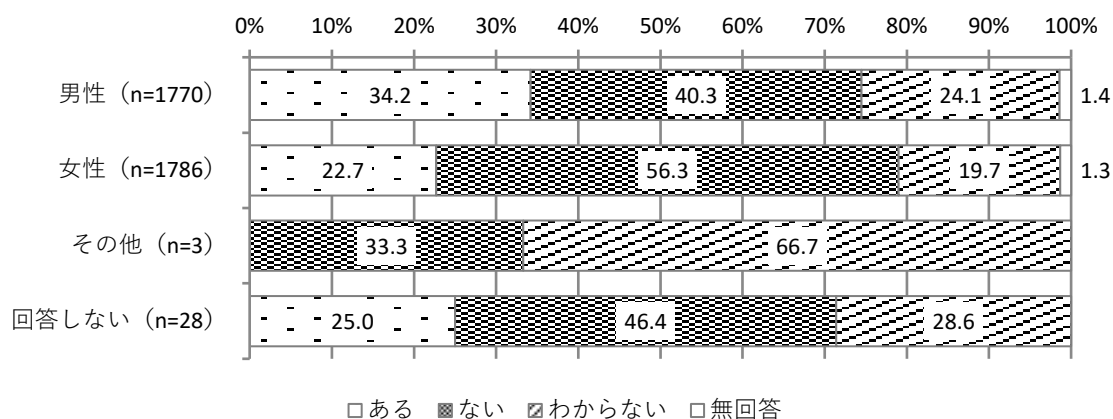


n=3610

■ 性別

性別にみると、「ある」の割合は男性が34.2%、女性が22.7%、「ない」は男性が40.3%、女性が56.3%、「わからない」は男性が24.1%、女性が19.7%となっています。

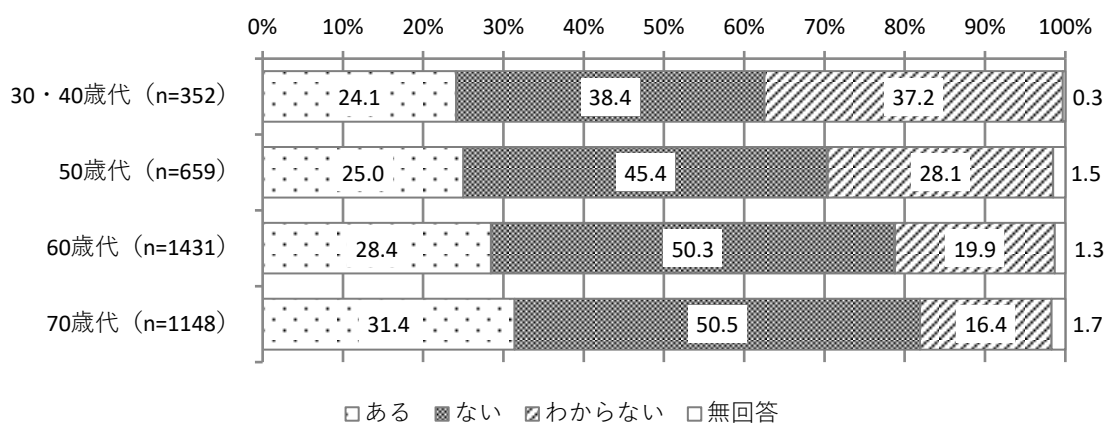
上段:度数 下段:%	合計	ある	ない	わからない	無回答
男性	1770 100.0	605 34.2	713 40.3	427 24.1	25 1.4
女性	1786 100.0	405 22.7	1005 56.3	352 19.7	24 1.3
その他	3 100.0	-	1 33.3	2 66.7	-
回答しない	28 100.0	7 25.0	13 46.4	8 28.6	-



■ 年代別

年代別にみると、「ある」の割合は30・40歳代が24.1%、50歳代は25.0%、60歳代は28.4%、70歳代は31.4%、「ない」は30・40歳代が38.4%、50歳代は45.4%、60歳代は50.3%、70歳代は50.5%、「わからない」は30・40歳代が37.2%、50歳代は28.1%、60歳代は19.9%、70歳代は16.4%となっています。

上段:度数 下段:%	合計	ある	ない	わからない	無回答
30・40歳代	352 100.0	85 24.1	135 38.4	131 37.2	1 0.3
50歳代	659 100.0	165 25.0	299 45.4	185 28.1	10 1.5
60歳代	1431 100.0	407 28.4	720 50.3	285 19.9	19 1.3
70歳代	1148 100.0	361 31.4	580 50.5	188 16.4	19 1.7



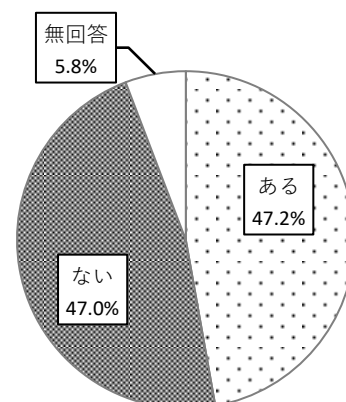
問23 特定保健指導を受けたことがあるか

問22で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。

問23. 特定保健指導を受けたことがありますか。(1つに○)

特定保健指導の案内を受け取った方のうち、「受けたことがある」は47.2%、「受けたことがない」は47.0%とほぼ同率でした。案内を受け取った方の約半数が実際の指導につながっていないことから、利用勧奨や動機づけなど、案内後のフォローアップが引き続き重要です。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	ある	484	47.2
2	ない	482	47.0
	無回答	60	5.8
	N (%ベース)	1026	100

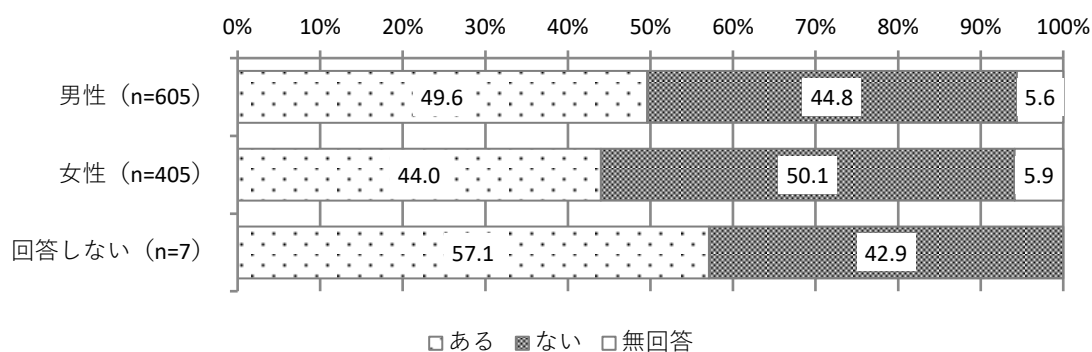


n=1026

■ 性別

性別にみると、案内を受け取った経験がある方のうち、「受けたことがある」の割合は男性が49.6%、女性が44.0%と、ともに約半数にとどまっています。「ない」は男性が44.8%、女性が50.1%と女性で高く、案内を受けても実際の指導につながっていないケースが多い状況です。

上段:度数 下段:%	合計	ある	ない	無回答
男性	605 100.0	300 49.6	271 44.8	34 5.6
女性	405 100.0	178 44.0	203 50.1	24 5.9
その他	- -	- -	- -	- -
回答しない	7 100.0	4 57.1	3 42.9	- -

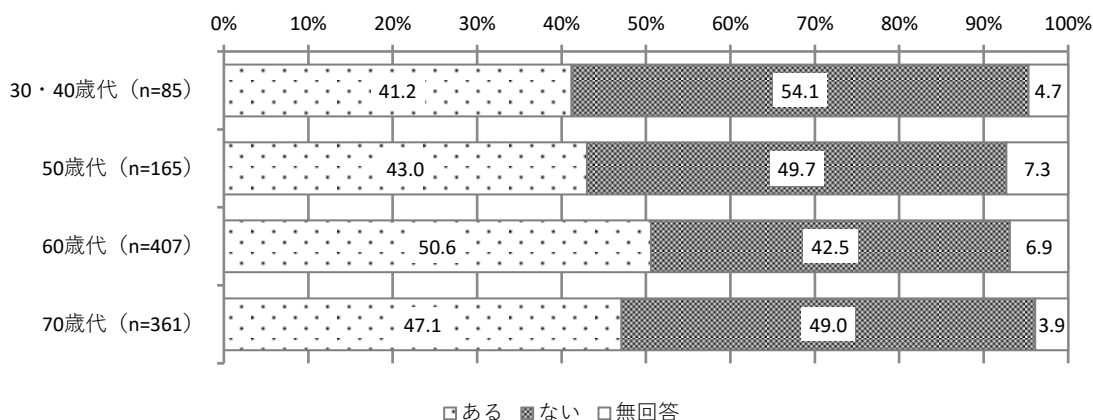


※「その他」は、回答者が0%のため、グラフへの表示を省略しています。

■ 年代別

年代別にみると、案内を受け取った方のうち指導を受けたことがある割合は、60歳代が50.6%と最も高く、次いで70歳代47.1%、50歳代43.0%、30・40歳代41.2%の順でした。30・40歳代では「受けたことがない」が54.1%と過半数を占めており、若い年代ほど指導への参加率が低い傾向がみられます。生活習慣病予防の観点からも、若年層への積極的な働きかけが重要な課題です。

上段:度数 下段:%	合計	ある	ない	無回答
30・40歳代	85 100.0	35 41.2	46 54.1	4 4.7
50歳代	165 100.0	71 43.0	82 49.7	12 7.3
60歳代	407 100.0	206 50.6	173 42.5	28 6.9
70歳代	361 100.0	170 47.1	177 49.0	14 3.9



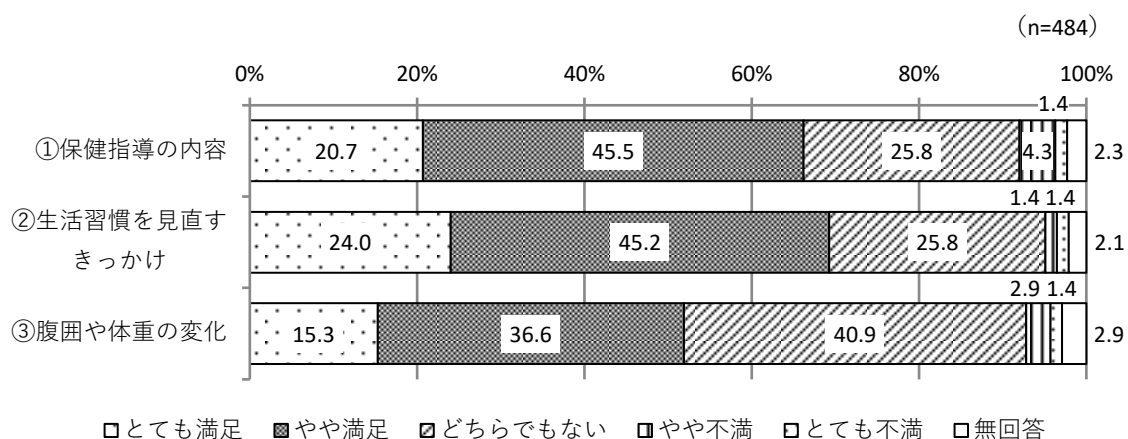
問24 保健指導の満足度

問23で「1. ある」に○をつけた方におたずねします。

問24. 保健指導を受けて、以下の項目についてどのくらい満足したかを教えてください。（それぞれ1つに○）

特定保健指導を受けたことがある人の満足度をみると、「とても満足」「やや満足」を合わせた肯定的回答は、『②生活習慣を見直すきっかけ』が69.2%と最も高く、次いで『①保健指導の内容』が66.2%となっており、保健指導が生活習慣改善の意識づけに一定の効果をもたらしていることがわかります。一方、『③腹囲や体重の変化』については肯定的回答が51.9%にとどまり、「どちらでもない」が40.9%と3項目の中で最も高くなっています。指導を受けながらも身体的な変化を実感しにくい状況がうかがえることから、保健指導後の継続的なフォローアップや、変化を可視化できる仕組みの充実が求められます。

上段:度数 下段: %	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
①保健指導の内容	484 100.0	100 20.7	220 45.5	125 25.8	21 4.3	7 1.4	11 2.3
②生活習慣を見直すきっかけ	484 100.0	116 24.0	219 45.2	125 25.8	7 1.4	7 1.4	10 2.1
③腹囲や体重の変化	484 100.0	74 15.3	177 36.6	198 40.9	14 2.9	7 1.4	14 2.9



■ 性別

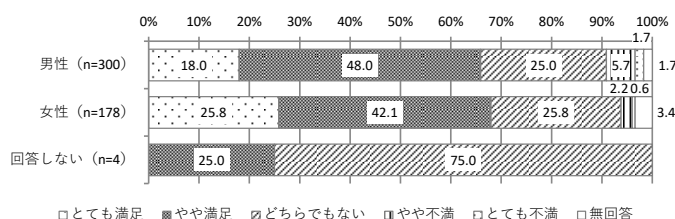
性別にみると、3項目すべてで男女ともに「とても満足」「やや満足」の合計が5割を超えており、概ね良好な評価となっています。『①保健指導の内容』と『②生活習慣を見直すきっかけ』の2項目は、女性の方が「とても満足」の割合がやや高くなっています。『①保健指導の内容』では女性が25.8%であるのに対し男性が18.0%、『②生活習慣を見直すきっかけ』では女性が27.5%であるのに対し男性が22.3%と、女性の方が保健指導に対してより強い満足感を示しています。

一方、不満の割合は『①保健指導の内容』で男性が7.4%、女性が2.8%と男性でやや高く、指導内容の改善が男性への対応として有効と考えられます。

『③腹囲や体重の変化』については、「とても満足」「やや満足」の合計は男性が54.0%、女性が49.4%と他の2項目に比べて低く、保健指導後の継続的なフォローアップの充実が引き続き求められます。

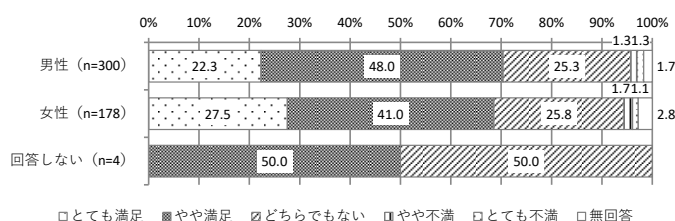
①保健指導の内容

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
男性	300	54	144	75	17	5	5
	100.0	18.0	48.0	25.0	5.7	1.7	1.7
女性	178	46	75	46	4	1	6
	100.0	25.8	42.1	25.8	2.2	0.6	3.4
その他	-	-	-	-	-	-	-
回答しない	4	-	1	3	-	-	-
	100.0	-	25.0	75.0	-	-	-



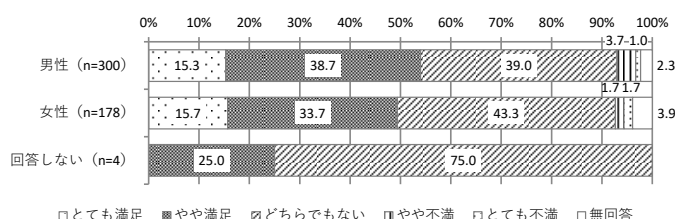
②生活習慣を見直すきっかけ

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
男性	300	67	144	76	4	4	5
	100.0	22.3	48.0	25.3	1.3	1.3	1.7
女性	178	49	73	46	3	2	5
	100.0	27.5	41.0	25.8	1.7	1.1	2.8
その他	-	-	-	-	-	-	-
回答しない	4	-	2	2	-	-	-
	100.0	-	50.0	50.0	-	-	-



③腹囲や体重の変化

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
男性	300	46	116	117	11	3	7
	100.0	15.3	38.7	39.0	3.7	1.0	2.3
女性	178	28	60	77	3	3	7
	100.0	15.7	33.7	43.3	1.7	1.7	3.9
その他	-	-	-	-	-	-	-
回答しない	4	-	1	3	-	-	-
	100.0	-	25.0	75.0	-	-	-



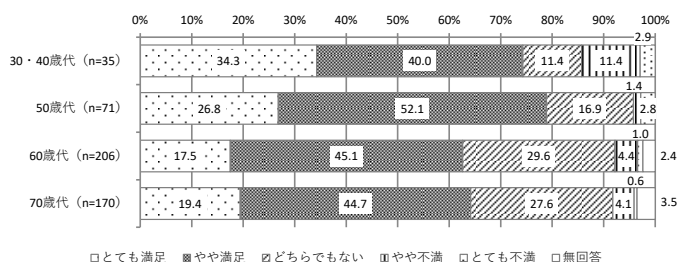
※「その他」について、回答者がいない（0%）のため、グラフへの表示を省略しています。

■ 年代別

年代別にみると、『①保健指導の内容』と『②生活習慣を見直すきっかけ』の2項目は、若い年代ほど「とても満足」の割合が高い傾向があります。『①保健指導の内容』では30・40歳代が74.3%、50歳代が78.9%と高く、60歳代が62.6%、70歳代が64.1%と高齢層でやや低下しますが、全年代で6割以上が満足しています。『②生活習慣を見直すきっかけ』も30・40歳代が80.0%、50歳代が83.1%と若・中年層で特に高く、保健指導が生活改善の動機づけとして強く機能していることがわかります。『③腹囲や体重の変化』については、年代によって傾向が異なります。50歳代は「とても満足」「やや満足」の合計が66.2%と全年代で最も高く、身体変化の実感が比較的得られやすい結果となっています。一方、30・40歳代が54.3%、60歳代が48.5%、70歳代が50.0%と低めで、「どちらでもない」が、30・40歳代が42.9%、60歳代が41.7%、70歳代が42.9%と4割を超えています。特に30・40歳代では指導期間中の身体変化が実感しにくい可能性があり、短期間でも変化を可視化できるような工夫が有効と考えられます。

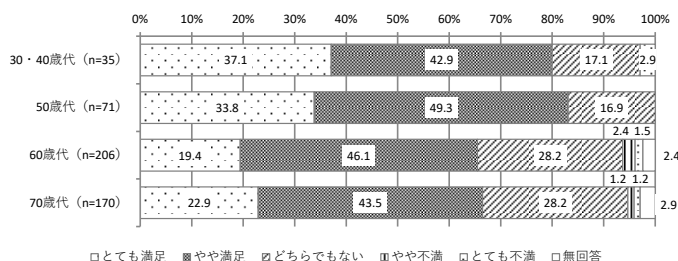
①保健指導の内容

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
30・40歳代	35	12	14	4	4	1	-
	100.0	34.3	40.0	11.4	11.4	2.9	-
50歳代	71	19	37	12	1	2	-
	100.0	26.8	52.1	16.9	1.4	2.8	-
60歳代	206	36	93	61	9	2	5
	100.0	17.5	45.1	29.6	4.4	1.0	2.4
70歳代	170	33	76	47	7	1	6
	100.0	19.4	44.7	27.6	4.1	0.6	3.5



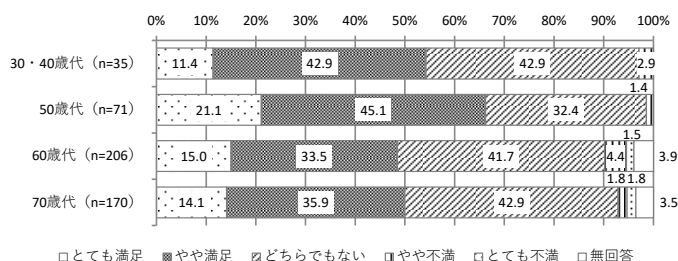
②生活習慣を見直すきっかけ

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
30・40歳代	35	13	15	6	-	1	-
	100.0	37.1	42.9	17.1	-	2.9	-
50歳代	71	24	35	12	-	-	-
	100.0	33.8	49.3	16.9	-	-	-
60歳代	206	40	95	58	5	3	5
	100.0	19.4	46.1	28.2	2.4	1.5	2.4
70歳代	170	39	74	48	2	2	5
	100.0	22.9	43.5	28.2	1.2	1.2	2.9



③腹囲や体重の変化

上段:度数 下段:%	合計	とても満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	とても不満	無回答
30・40歳代	35	4	15	15	1	-	-
	100.0	11.4	42.9	42.9	2.9	-	-
50歳代	71	15	32	23	1	-	-
	100.0	21.1	45.1	32.4	1.4	-	-
60歳代	206	31	69	86	9	3	8
	100.0	15.0	33.5	41.7	4.4	1.5	3.9
70歳代	170	24	61	73	3	3	6
	100.0	14.1	35.9	42.9	1.8	1.8	3.5



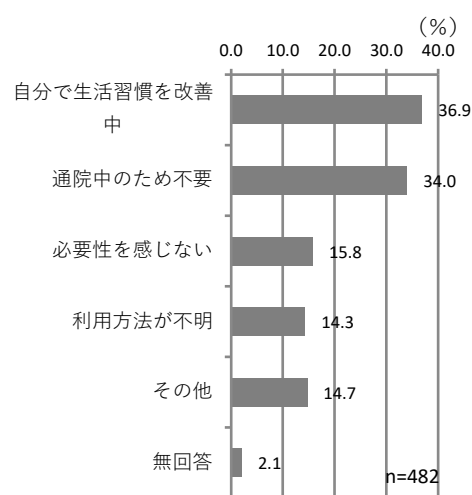
問25 特定保健指導を受けなかった理由

問23で「2. ない」に○をつけた方におたずねします。

問25. 特定保健指導を受けなかった理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

最も多い理由は「自分で生活習慣の改善に取り組んでいる」が36.9%で、自己管理の意識が回避の主な理由となっています。次いで「定期通院中だから必要ない」が34.0%と高く、通院中の方に対して保健指導の意義をどう伝えるかが課題といえます。「必要性を感じない」が15.8%、「利用方法が分からない」が14.3%、「その他」が14.7%はいずれも15%前後と近い水準となっており、制度の周知と保健指導のハードル低下に向けた取組みが幅広く求められます。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	自分で生活習慣の改善に取り組んでいる	178	36.9
2	定期通院中だから必要ない	164	34.0
3	必要性を感じない	76	15.8
4	利用方法が分からない	69	14.3
5	その他	71	14.7
	無回答	10	2.1
	N (％ベース)	482	100



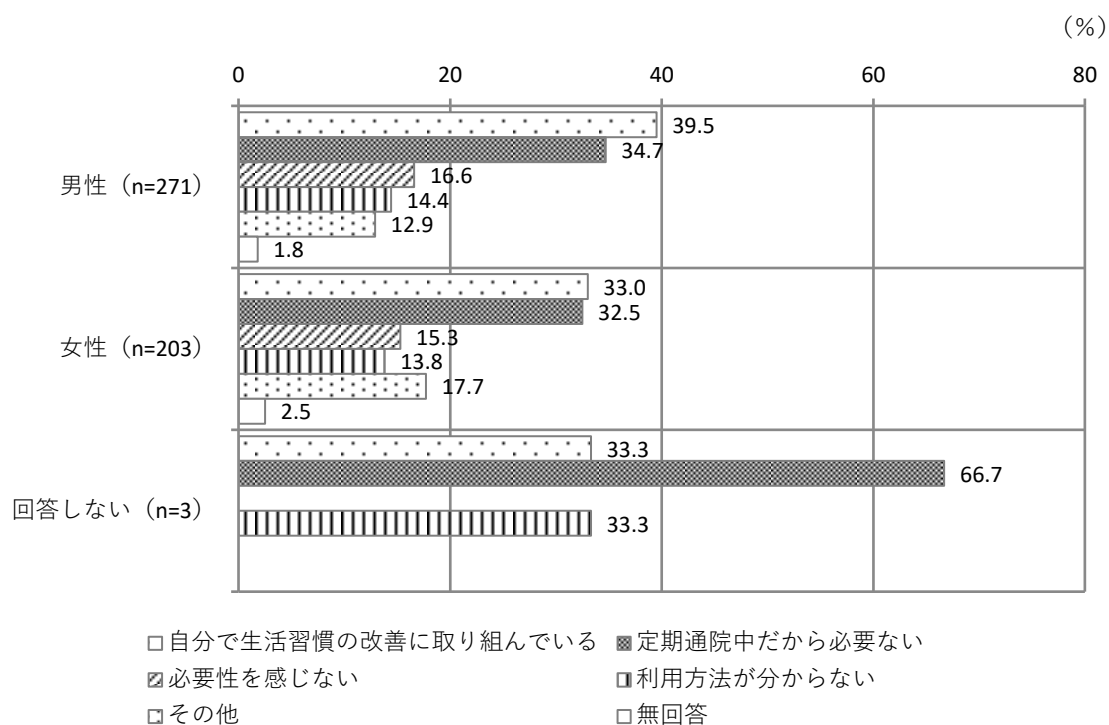
●「その他」自由回答

カテゴリ	件数	主な内容
仕事・多忙で時間が取れない	24 件	仕事優先で行けない、平日休めない、日程・時間が合わない、調整が難しい、自営業で抜けられない
手続き/案内/制度が不明・利用しづらい	13 件	制度を知らない、案内が来ない・受け取っていない、受け方や流れが分からない、窓口/電話対応が不十分、利用が難しい
不要・対象外	13 件	悪いところがない、数値が改善して対象外になった（改善した）、指摘がなく自己管理できている、対象者ではないため不要
面倒・気が乗らない・継続できない	12 件	面倒、気が乗らない、わずらわしい、ズボラ、途中で挫折・続かなかった
他で対応済	12 件	主治医や通院先で診察・再検査・指導を受けた、訪問診療・定期通院中、区役所の健康相談窓口の利用、人間ドック等で別途フォロー、家族に管理栄養士がいる
不安・抵抗感	6 件	身長体重測定などが嫌、指導内容が想像できて嫌、異常が見つかるのが怖い
忘れた・後回し	5 件	忘れていた、つい忘れる、受けるつもりだったが途中で忘れていた
不信・効果疑問	5 件	受けても意味がない、対応しようのないことを求められる、医師・分析者への不信（見逃し経験・医師不信など）
アクセス問題	3 件	実施施設が遠い、近くにない
介護・家庭事情	3 件	親・家族の介護等で自分のための時間が確保できない
その他	3 件	入院中・施設入所中（認知症）で受けられない、がん治療中など個別の事情

■ 性別

性別にみると、男女ともに「自分で生活習慣の改善に取り組んでいる」（男性が39.5%、女性が33.0%）が最多で、自己対応の意識が保健指導を受けなかった主な理由となっています。「定期通院中だから必要ない」も男性が34.7%、女性が32.5%と高く、通院中の方への対応が課題です。「利用方法が分からない」は男性が14.4%、女性が13.8%とほぼ同水準であり、制度の周知徹底が引き続き必要です。

上段:度数 下段:%	合計	自分で生活 習慣の改善 に取り組ん	定期通院中 だから必要 ない	必要性を感じ ない	利用方法が 分からない	その他	無回答
男性	271 100.0	107 39.5	94 34.7	45 16.6	39 14.4	35 12.9	5 1.8
女性	203 100.0	67 33.0	66 32.5	31 15.3	28 13.8	36 17.7	5 2.5
その他	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
回答しない	3 100.0	1 33.3	2 66.7	- -	1 33.3	- -	- -

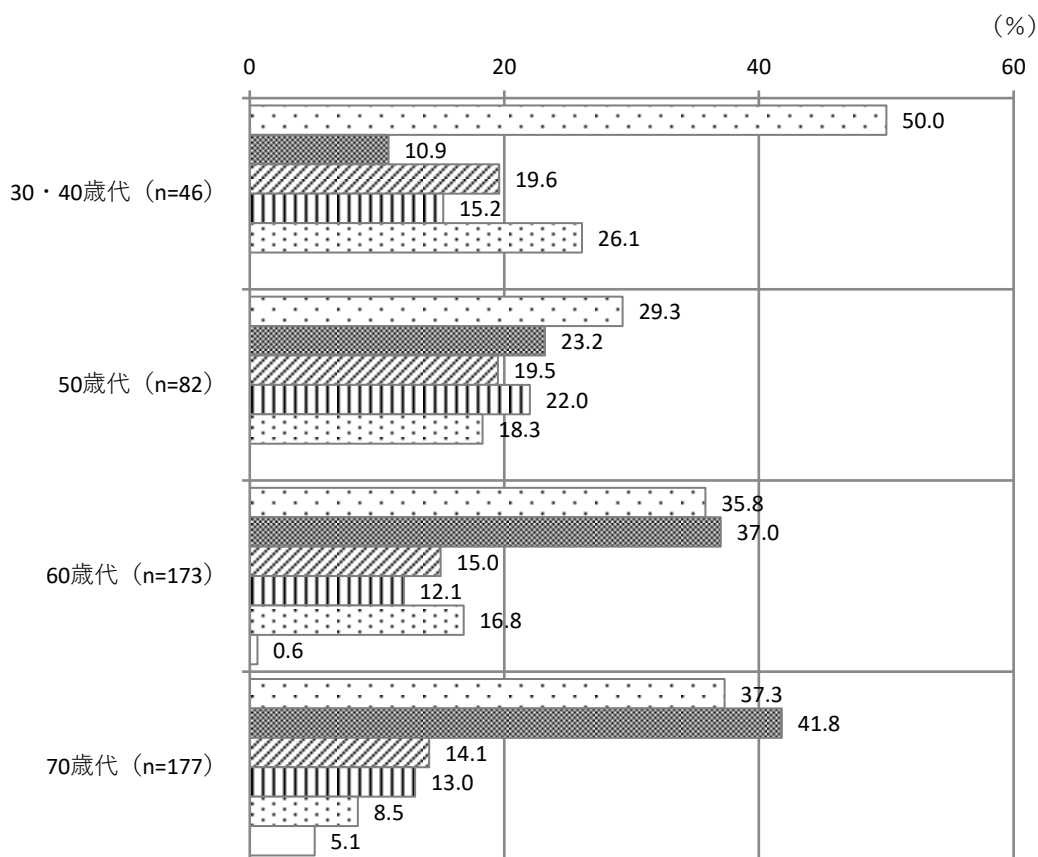


※「その他」は、回答者が0%のため、グラフへの表示を省略しています。

■ 年代別

年代別にみると、「自分で生活習慣の改善に取り組んでいる」は30・40歳代が50.0%と特に高く、若い年代では自己管理の意識が保健指導を受けなかった主な理由となっています。「定期通院中だから必要ない」は年代が上がるにつれて高くなり、60歳代が37.0%、70歳代が41.8%と高齢層で顕著です。「利用方法が分からない」は50歳代が22.0%と最も高く、中年層への制度周知が特に求められます。

上段:度数 下段:%	合計	自分で生活 習慣の改善 に取り組ん	定期通院中 だから必要 ない	必要性を感じ ない	利用方法が 分からない	その他	無回答
30・40歳代	46 100.0	23 50.0	5 10.9	9 19.6	7 15.2	12 26.1	— —
50歳代	82 100.0	24 29.3	19 23.2	16 19.5	18 22.0	15 18.3	— —
60歳代	173 100.0	62 35.8	64 37.0	26 15.0	21 12.1	29 16.8	1 0.6
70歳代	177 100.0	66 37.3	74 41.8	25 14.1	23 13.0	15 8.5	9 5.1



- ☐ 自分で生活習慣の改善に取り組んでいる
 ☒ 定期通院中だから必要ない
☒ 必要性を感じない
 ☐ 利用方法が分からない
☐ その他
 ☐ 無回答

問26 特定保健指導を受けやすくなる条件への賛否

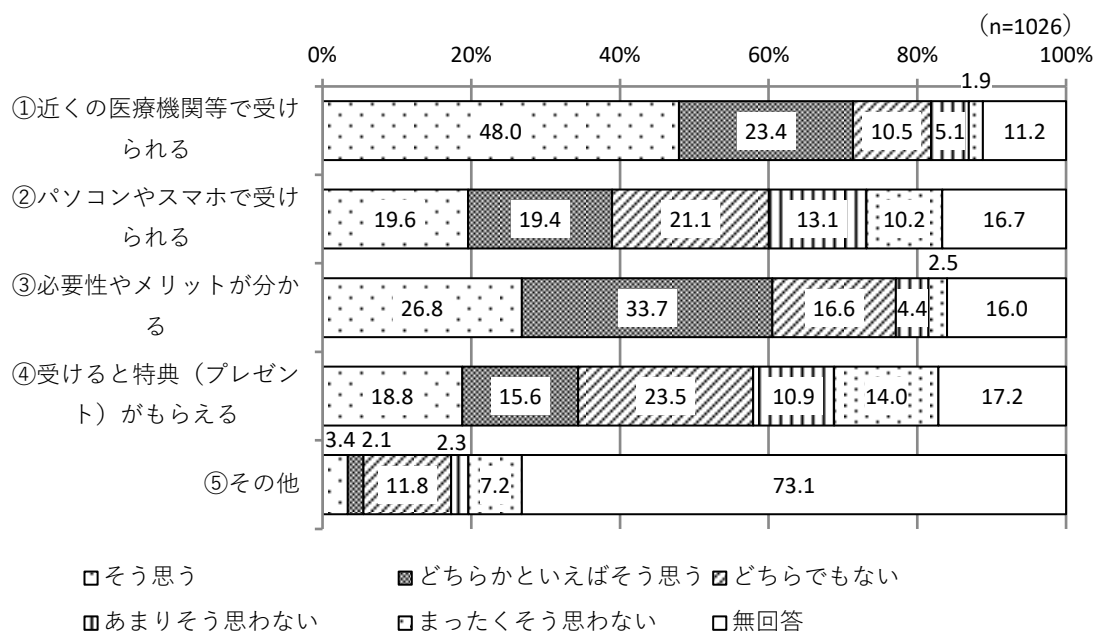
問22で、「1. ある」（特定保健指導の案内を受け取った）に○をつけた方におたずねします。

問26. 以下の条件であれば、特定保健指導を受けたいと思いますか。また、受けやすくなると思いますか。あなたの考えに最も近い番号に○をつけてください。（それぞれ1つだけに○）

「受けやすくなる条件」として肯定的回答が最も高かったのは『①近くの医療機関等で受けられる』（71.4%）であり、身近な場所でのアクセスのしやすさが参加促進に最も効果的な条件であることが示されました。次いで『③必要性やメリットが分かる』が60.5%と高く、制度の意義や効果をわかりやすく伝える情報提供の充実が参加につながると考えられます。

一方、『②パソコンやスマホで受けられる』（39.0%）、『④受けると特典（プレゼント）がもらえる』（34.4%）は前の2項目と比べてやや低い水準でした。特に『④特典』については「まったくそう思わない」が14.0%と全項目中最も高く、インセンティブの有効性については評価が分かれています。

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらでもない	あまりそう思わない	まったくそう思わない	無回答
①近くの医療機関等で受けられる	1026 100.0	492 48.0	240 23.4	108 10.5	52 5.1	19 1.9	115 11.2
②パソコンやスマホで受けられる	1026 100.0	201 19.6	199 19.4	216 21.1	134 13.1	105 10.2	171 16.7
③必要性やメリットが分かる	1026 100.0	275 26.8	346 33.7	170 16.6	45 4.4	26 2.5	164 16.0
④受けると特典（プレゼント）がもらえる	1026 100.0	193 18.8	160 15.6	241 23.5	112 10.9	144 14.0	176 17.2
⑤その他	1026 100.0	35 3.4	22 2.1	121 11.8	24 2.3	74 7.2	750 73.1



●「その他」自由回答

カテゴリ	件数	主な内容
内容の充実・魅力化	6 件	検査項目を増やしてほしい（がん検査・大腸がん等）、運動支援を施設で受けたい（パーソナルジムの）、健康講座など「ためになる」内容にしてほしい
かかりつけ医で実施	5 件	かかりつけ医・受診病院で受けたい、通院時に合わせて一緒にできると便利
オンライン化・ICT 活用	5 件	スマホから簡単に受けられたら便利、メール/SNS で通知してほしい、体重計・血圧計の貸出とデータ自動送信
費用・期間	5 件	無料で受けたい、無料で受けられる期間を延ばしてほしい、実施期間（6～8 か月等）を長くしてほしい、追加費用を払ってでも全身検査・精密検査をしたい
予約・運用の改善	4 件	予約が取りにくい、健診と同時に実施してほしい、検査のみ先行して、指導はそれを元に必要項目や相談を予約制、仕事上の連絡は避けてほしい
実施場所・アクセス改善	4 件	受けられる医療機関が近くにない／徒歩圏や1～2 駅程度の場所（病院・区役所等）で受けたい、実施医療機関を増やしてほしい
理解不足・不明点	4 件	保健指導の中身や「指導医院」の内容が分からない、わからない
心理・モチベーション	3 件	積極的になる気持ちがない、変えられない/結果が出ない罪悪感、言われることは分かっている
インセンティブ	2 件	アスマイル等のポイントを増やしてほしい、アプリよりその場で商品券など実利のある特典がほしい
質の担保・専門職	2 件	指導者の質を厳選してほしい、寄り添えるカウンセラー等の配置が必要
自由選択・誘導回避	1 件	特定の病院やジム等に誘導されるのは避けたい、自分で選びたい
対象者の適正化	1 件	本当に指導が必要な人に実施すべきという考え

■ 性別

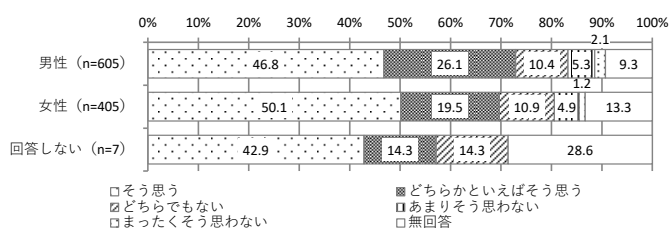
性別にみると、全項目を通じて『①近くの医療機関等で受けられる』が男女ともに最も高く、男性72.9%、女性69.6%でした。「そう思う」の割合は女性(50.1%)が男性(46.8%)をやや上回る一方、「どちらかといえばそう思う」は男性(26.1%)が女性(19.5%)より高く、肯定の強さに違いがみられます。

『③必要性やメリットが分かる』は男性63.3%、女性57.1%と男性がやや高く、情報提供の充実が特に男性の参加促進に有効と考えられます。『②パソコンやスマホで受けられる』も男性43.1%に対し女性33.1%と約10ポイントの差があり、オンライン対応への期待に男女差がみられます。女性では「あまりそう思わない」が17.0%と男性(10.7%)より高く、対面での参加を好む傾向がうかがえます。

『④特典がもらえる』は男女ともに34%前後とほぼ同水準ですが、「まったくそう思わない」は男性(16.4%)が女性(10.1%)を上回っており、特典によるインセンティブへの抵抗感は男性でやや強い傾向にあります。

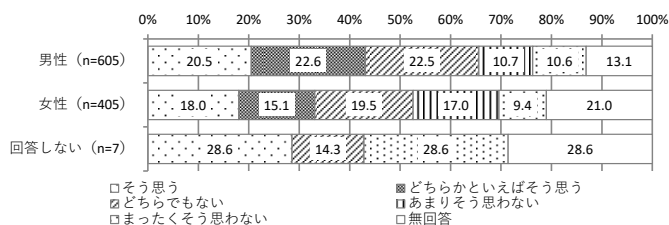
①近くの医療機関等で受けられる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	605	283	158	63	32	13	56
	100.0	46.8	26.1	10.4	5.3	2.1	9.3
女性	405	203	79	44	20	5	54
	100.0	50.1	19.5	10.9	4.9	1.2	13.3
その他	-	-	-	-	-	-	-
回答しない	7	3	1	1	-	-	2
	100.0	42.9	14.3	14.3	-	-	28.6



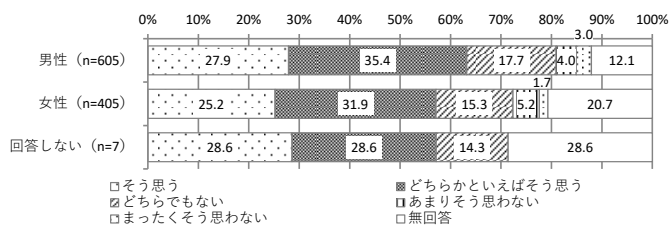
②パソコンやスマホで受けられる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	605	124	137	136	65	64	79
	100.0	20.5	22.6	22.5	10.7	10.6	13.1
女性	405	73	61	79	69	38	85
	100.0	18.0	15.1	19.5	17.0	9.4	21.0
その他	-	-	-	-	-	-	-
回答しない	7	2	-	1	-	2	2
	100.0	28.6	-	14.3	-	28.6	28.6



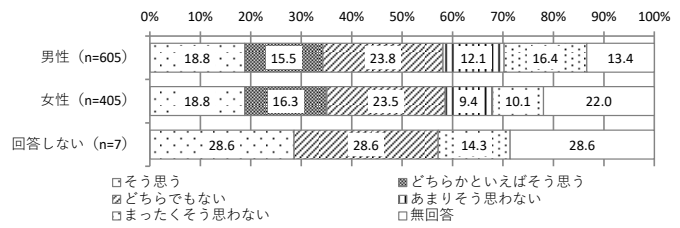
③必要性やメリットが分かる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	605	169	214	107	24	18	73
	100.0	27.9	35.4	17.7	4.0	3.0	12.1
女性	405	102	129	62	21	7	84
	100.0	25.2	31.9	15.3	5.2	1.7	20.7
その他	-	-	-	-	-	-	-
回答しない	7	2	2	1	-	-	2
	100.0	28.6	28.6	14.3	-	-	28.6



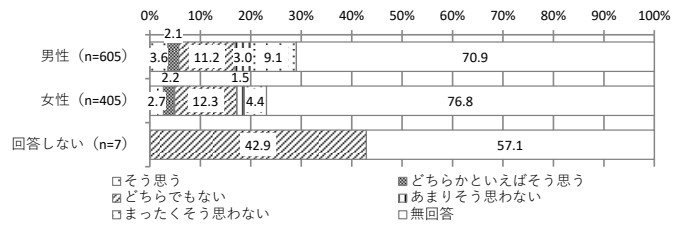
④受けると特典（プレゼント）がもらえる

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	605 100.0	114 18.8	94 15.5	144 23.8	73 12.1	99 16.4	81 13.4
女性	405 100.0	76 18.8	66 16.3	95 23.5	38 9.4	41 10.1	89 22.0
その他	-	-	-	-	-	-	-
回答しない	7 100.0	2 28.6	-	2 28.6	-	1 14.3	2 28.6



⑤その他

上段：度数 下段：%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
男性	605 100.0	22 3.6	13 2.1	68 11.2	18 3.0	55 9.1	429 70.9
女性	405 100.0	11 2.7	9 2.2	50 12.3	6 1.5	18 4.4	311 76.8
その他	-	-	-	-	-	-	-
回答しない	7 100.0	-	-	3 42.9	-	-	4 57.1



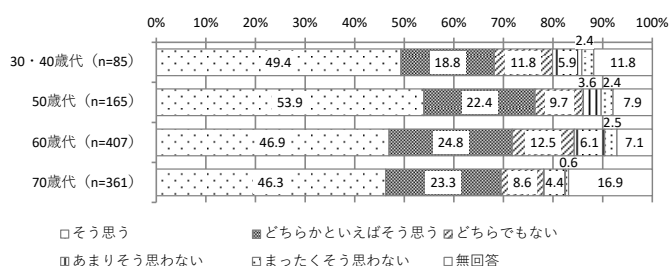
※「その他」は、回答者が0%のため、グラフへの表示を省略しています。

■ 年代別

年代別にみると、『①近くの医療機関等で受けられる』は全年代で最も高い支持を得ており、30・40歳代68.2%、50歳代76.3%、60歳代71.7%、70歳代69.6%と、年代を問わず7割前後が効果的と評価しています。身近な場所での受診環境の整備は、幅広い年代の参加促進につながる最も重要な条件といえます。年代差が最も顕著だったのは『②パソコンやスマホで受けられる』で、30・40歳代(64.7%)・50歳代(59.4%)では高い支持を得ている一方、60歳代(38.8%)・70歳代(23.9%)では大きく低下しています。オンライン対応は若・中年層への有効策である一方、高齢層には対面を中心とした別のアプローチが求められます。『③必要性やメリットが分かる』は50歳代(70.3%)・30・40歳代(64.7%)で特に高く、若・中年層への丁寧な情報発信が参加促進に有効と考えられます。60歳代(61.2%)・70歳代(54.9%)でも半数以上が効果的と評価しており、全年代を通じた継続的な情報提供が重要です。『④特典がもらえる』は30・40歳代(51.8%)・50歳代(54.5%)で過半数が効果的と評価している一方、60歳代(35.4%)・70歳代(20.4%)では低く、特典によるインセンティブは若・中年層に特に有効な施策といえます。

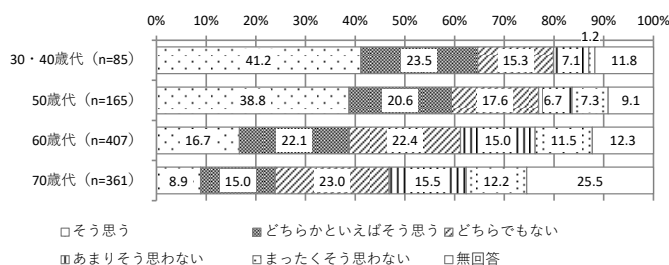
①近くの医療機関等で受けられる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	85	42	16	10	5	2	10
	100.0	49.4	18.8	11.8	5.9	2.4	11.8
50歳代	165	89	37	16	6	4	13
	100.0	53.9	22.4	9.7	3.6	2.4	7.9
60歳代	407	191	101	51	25	10	29
	100.0	46.9	24.8	12.5	6.1	2.5	7.1
70歳代	361	167	84	31	16	2	61
	100.0	46.3	23.3	8.6	4.4	0.6	16.9



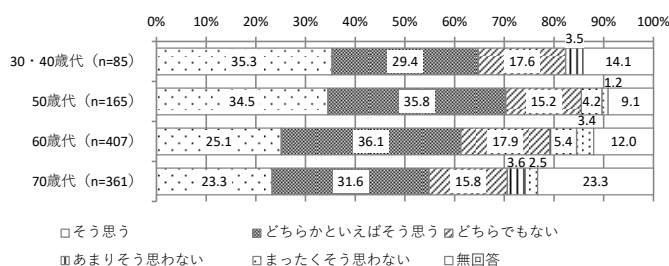
②パソコンやスマホで受けられる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	85	35	20	13	6	1	10
	100.0	41.2	23.5	15.3	7.1	1.2	11.8
50歳代	165	64	34	29	11	12	15
	100.0	38.8	20.6	17.6	6.7	7.3	9.1
60歳代	407	68	90	91	61	47	50
	100.0	16.7	22.1	22.4	15.0	11.5	12.3
70歳代	361	32	54	83	56	44	92
	100.0	8.9	15.0	23.0	15.5	12.2	25.5



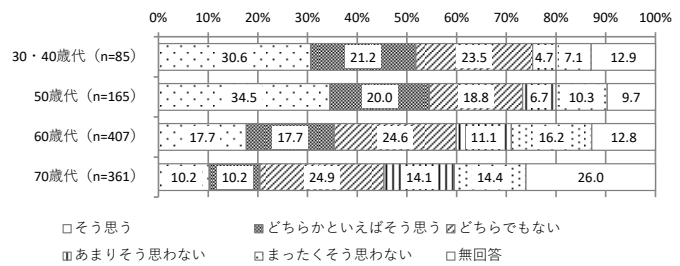
③必要性やメリットが分かる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	85	30	25	15	3	-	12
	100.0	35.3	29.4	17.6	3.5	-	14.1
50歳代	165	57	59	25	7	2	15
	100.0	34.5	35.8	15.2	4.2	1.2	9.1
60歳代	407	102	147	73	22	14	49
	100.0	25.1	36.1	17.9	5.4	3.4	12.0
70歳代	361	84	114	57	13	9	84
	100.0	23.3	31.6	15.8	3.6	2.5	23.3



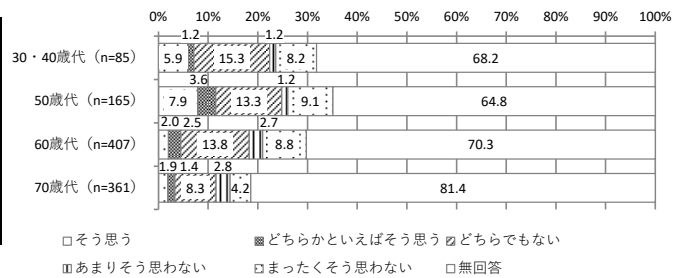
④受けると特典（プレゼント）がもらえる

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	85 100.0	26 30.6	18 21.2	20 23.5	4 4.7	6 7.1	11 12.9
50歳代	165 100.0	57 34.5	33 20.0	31 18.8	11 6.7	17 10.3	16 9.7
60歳代	407 100.0	72 17.7	72 17.7	100 24.6	45 11.1	66 16.2	52 12.8
70歳代	361 100.0	37 10.2	37 10.2	90 24.9	51 14.1	52 14.4	94 26.0



⑤その他

上段:度数 下段:%	合計	そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらで もない	あまりそ う思わな い	まったく そう思わ ない	無回答
30・40歳代	85 100.0	5 5.9	1 1.2	13 15.3	1 1.2	7 8.2	58 68.2
50歳代	165 100.0	13 7.9	6 3.6	22 13.3	2 1.2	15 9.1	107 64.8
60歳代	407 100.0	8 2.0	10 2.5	56 13.8	11 2.7	36 8.8	286 70.3
70歳代	361 100.0	7 1.9	5 1.4	30 8.3	10 2.8	15 4.2	294 81.4



問27 大阪市の国保保健事業に関する自由意見・感想

すべての方におたずねします。

問27. その他、大阪市の国民健康保険の保健事業について、ご意見・ご感想がありましたらご自由にお書きください。

大阪市の国民健康保険の保険事業についての意見・感想について、1,070人の回答者から自由意見をいただき、意見の内容は1,153件となりました。意見内容を整理すると、以下のとおりとなります。

カテゴリ	件数	コメント（抜粋）
満足・感謝	273 件	・無料で受診させてもらえるので有難いです。これからも毎年受けたいと思います。 ・緑の封筒が届くと、「予約を入れないと!」とキッカケになります。ありがとうございます。
費用負担・保険料・助成	233 件	・国民健康保険料が高い。 ・国保や介護保をもっと安くしてほしい。私たちのわからない所で、保険料金が上がっていくのが不安。これ以上上がったリ、負担が大きくなると生活できなくなる。
検査項目・頻度の充実	213 件	・個人希望の検査項目を付けることができるとよい。 ・検査項目を増やして欲しい。 ・胃検診を胃カメラでできるところを増やしてほしい
アクセス・利便性	147 件	・受けれる曜日(日祝)を増やしてくれたら助かります。 ・予約がネットでできたらもっと簡単でよいです。 ・健診結果がもう少し早く出ると嬉しい。 ・半日ドックを受けられる医療機関をもっと増やしてほしい。
情報提供・わかりやすさ	54 件	・国保人間ドック無料等が受けられる事が分からなかったり、いつから受けれるか分かりやすく知らせが欲しいです。 ・保健事業という事態がわかりません。あまり、保険事業が何をしているのか、事業としての内容が浸透してないと思います。
健康づくり・予防/社会参加の提案	46 件	・区役所や保健所で定期的な保健指導や健康指導が必要だと思う。 ・広報での情報も目に届きやすく、地域でのイベントを増やして下さい。 ・認知症予防対策に、これまで以上に力を入れていただきたいと思っています。
健診の質・運営	44 件	・スタッフの方が丁寧に对应してくれて良かったです。 ・クリニックによって受けれる検査にばらつきがあり、かかりつけのクリニックには検査内容が少なく残念だ。
アプリ・デジタル	38 件	・パソコンやスマホを使えないものへのご配慮を忘れないでほしい。 ・アスマイルのアプリがわかりにくい。
医療制度全般・医療提供体制への不満	28 件	・薬局でのジェネリック医薬品の『押しつけ』が酷いと思う。 ・医者に責任感がないのが多い。いい加減な診察をする医者が多い。医療への市民からの苦情を受け付ける課を設置すべき。医院の請求金額が不透明。
制度・政治/行政への意見	25 件	・国保料をクレジットカードで払えるようにしてください。 ・マイナ保険証の移行過程が不透明で理解できません。以前の紙の保険証が使える横にして頂きたいです。
障害・配慮が必要な方の声	13 件	・私が耳不自由ですので、手話通訳の手配が必要して欲しいです。 ・車イスを使用しております。受診しやすいよう整えて頂けるならば、受けたいと思います。
介護・福祉・生活の困りごと	12 件	・病気で入院しても身の回りの世話をしてくれる人がいないので入院が出来ない。 ・病気になった時、経済的に不安があって、病院に行くことをためらうような社会にならない様をお願い致したい。(切実に)
その他	27 件	・12月は忙しいのに、しかも15日過ぎてアンケートを出すのはおかしい! ・アンケート調査よりも、実際に窓口にくられた方の意見等を取りあげるのが実態を把握できるのではないのでしょうか?

大阪市国民健康保険 保健事業に関するアンケート

【調査についてのお願い】

所要時間 10 分程度

日頃より、大阪市国民健康保険事業にご理解とご協力をいただきありがとうございます。大阪市国民健康保険では、保健事業実施計画（データヘルス計画）・特定健康診査実施計画に基づき保健事業を実施しております。

この調査は、大阪市国民健康保険に加入している 40 歳から 74 歳の方の中から 10,000 人を無作為に選ばせていただきご意見をお伺いするもので、今後の保健事業の改善に反映させるための参考資料とさせていただきます。

なお、ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理し、個人の秘密が他人に漏れたり、ご迷惑をおかけすることはございません。

多忙の折、誠にお手数ではございますが調査の趣旨をご理解いただき、お考えを率直にご回答くださいますようお願いいたします。

令和 7 年 12 月 大阪市福祉局

【ご回答についてのお願い】

アンケートは、封筒のあて名の方がご回答ください。ご本人が直接回答することが難しい場合には、ご家族などがご本人の意向を尊重してご回答ください。

(1) 回答方法

【インターネットでの回答】

右記の QR コードまたは下記 URL よりご回答ください。

<https://> 



回答ページにて左記の番号を入力してご回答ください。

なお、この番号は統計処理のためランダムに付与しているもので、番号から個人を特定することはできません。

【郵送での回答】

アンケート用紙に回答をご記入の上、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストにご投函ください。

(2) 回答期限 令和 7 年 12 月 31 日 (水) (当日消印有効)

【問い合わせ先】

大阪市福祉局 生活福祉部 保険年金課（保健事業グループ）
電話 06-6208-9876 FAX 06-6202-4156

119

(それぞれ1つだけに○)

すべての方におたずねします。

--

プレゼント抽選実施（希望者のみ）

ご当選者様の発表は厳正なる抽選の上、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

8